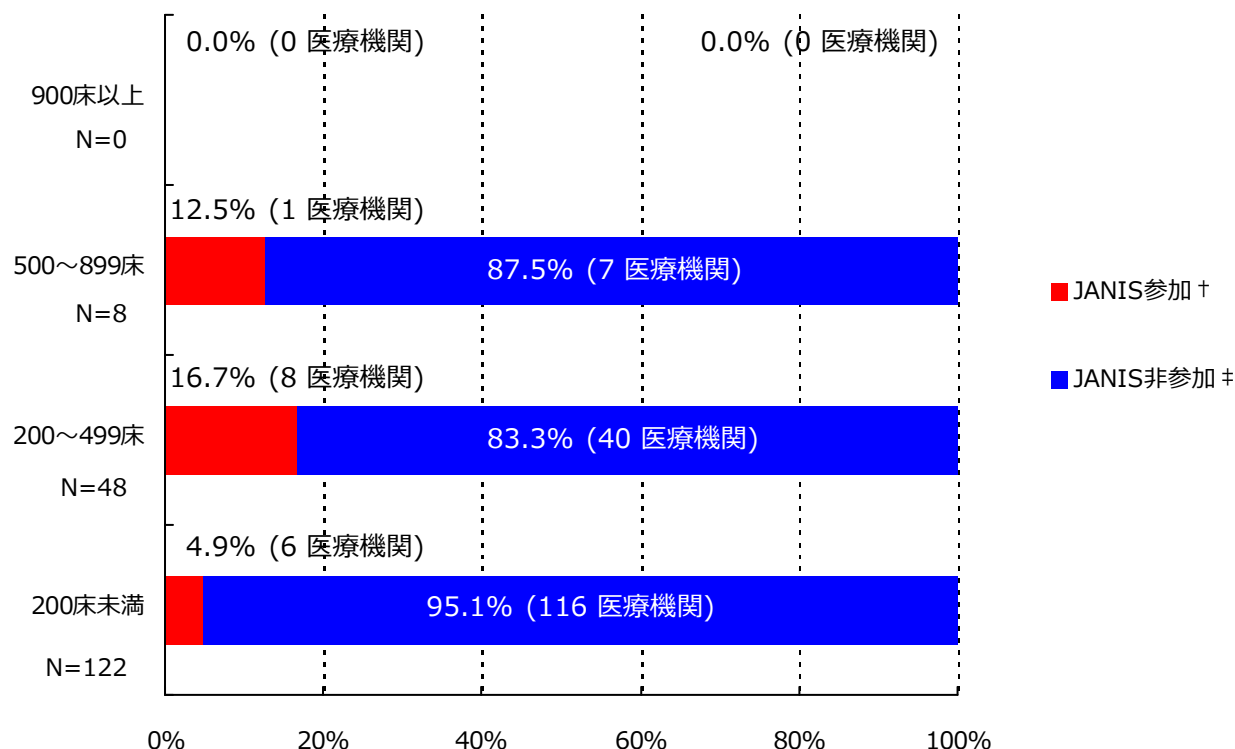


## 1. データ提出医療機関\*数(15医療機関)



\*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2017年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2016年 都道府県別医療機関数¶) - (2017年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2016年 都道府県別医療機関数¶	2017年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 ( - )
500～899床	8	1 ( 12.5%)
200～499床	48	8 ( 16.7%)
200床未満	122	6 ( 4.9%)
病床数不明	-	0 ( - )
合計	178	15 ( 8.4%)

¶平成28年医療施設（動態）調査を参照した。

(茨城県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)  
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

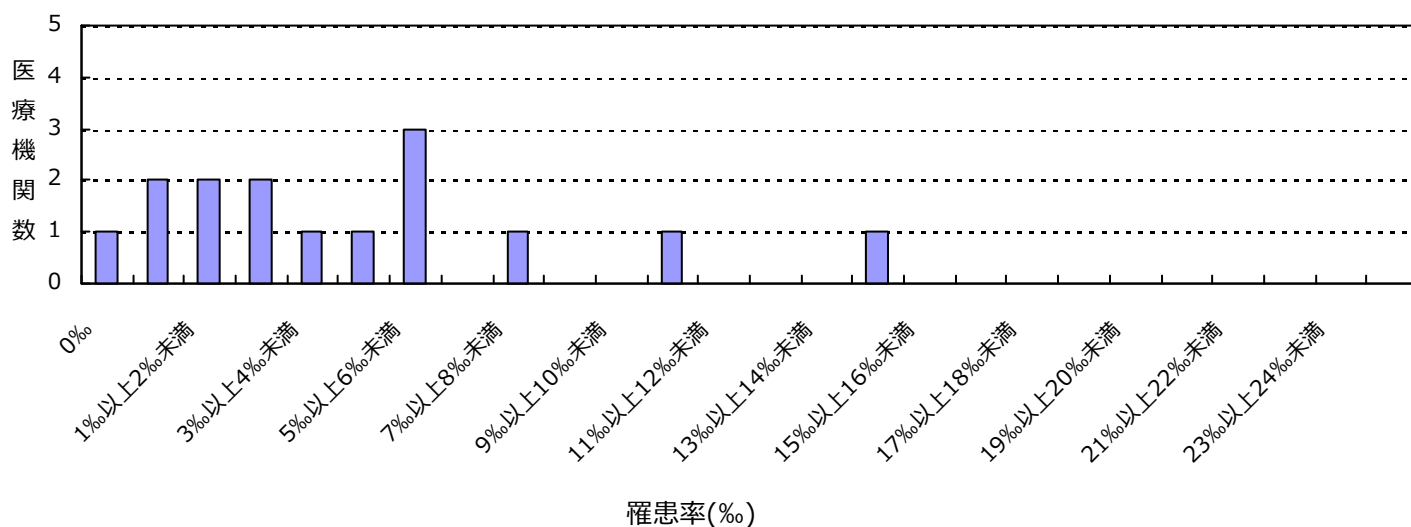


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
MRSA	70,336	2	205	2.91‰	0.00 3.49 14.12  -----

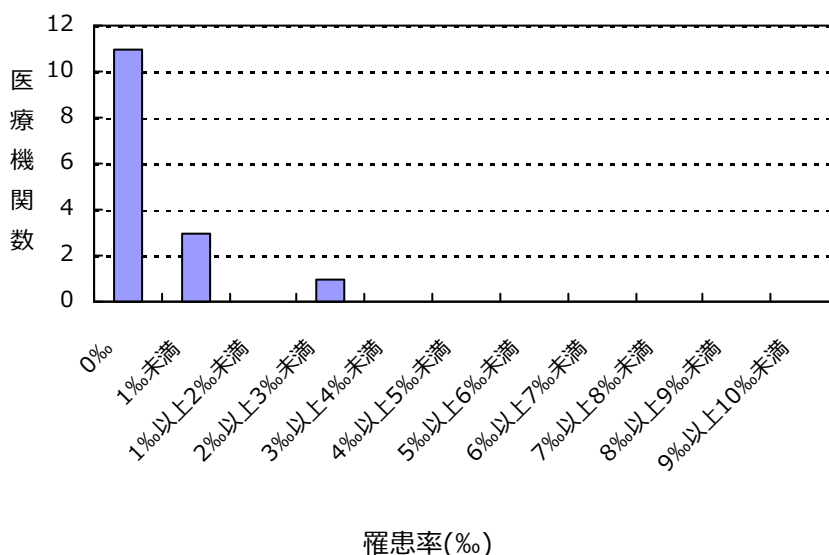
集計対象医療機関の罹患率(N=15)



### ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
PRSP	70,336	0	13	0.18‰	0.00 0.00 2.25  -----

集計対象医療機関の罹患率(N=15)



(茨城県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)  
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

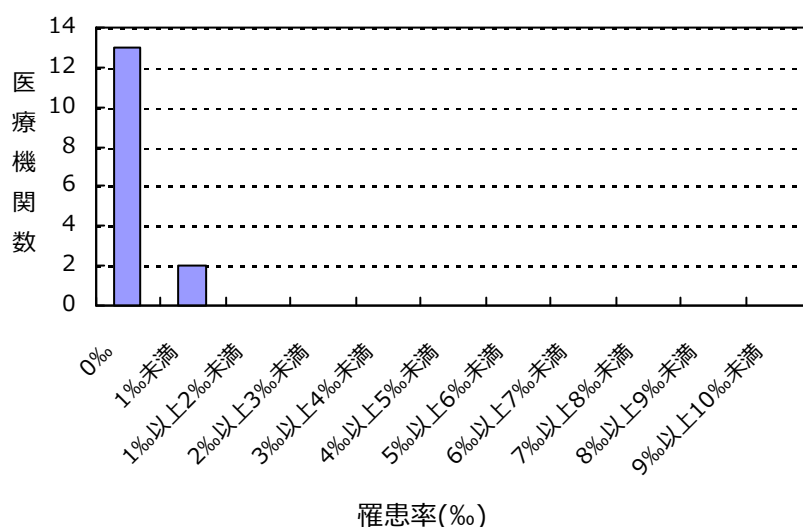


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### 多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
MDRP	70,336	0	2	0.03%	0.00 0.00 0.13

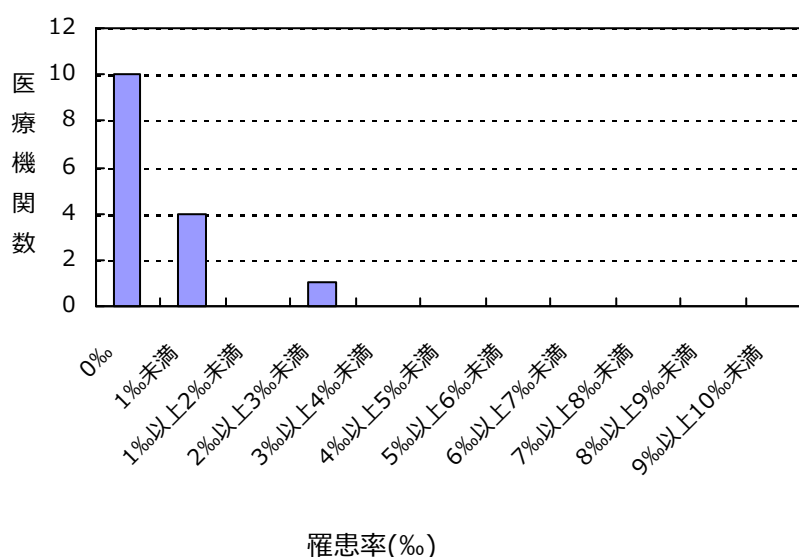
集計対象医療機関の罹患率(N=15)



### カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
CRE	70,336	0	9	0.13%	0.00 0.00 2.05

集計対象医療機関の罹患率(N=15)



(茨城県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



## 2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

### 総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

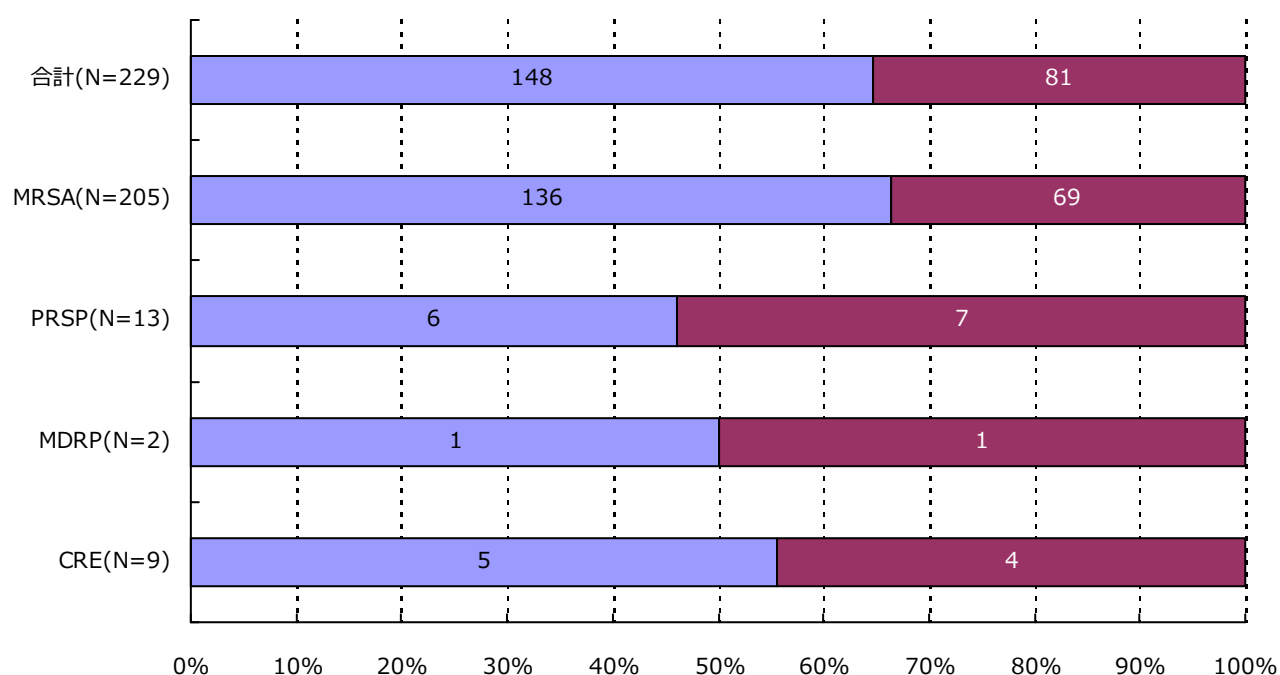
(茨城県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



### 3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	148 ( 64.6% )	136 ( 66.3% )	0 ( - )	0 ( - )	6 ( 46.2% )	1 ( 50.0% )	0 ( - )	5 ( 55.6% )
女	81 ( 35.4% )	69 ( 33.7% )	0 ( - )	0 ( - )	7 ( 53.8% )	1 ( 50.0% )	0 ( - )	4 ( 44.4% )
合計	229	205	0	0	13	2	0	9

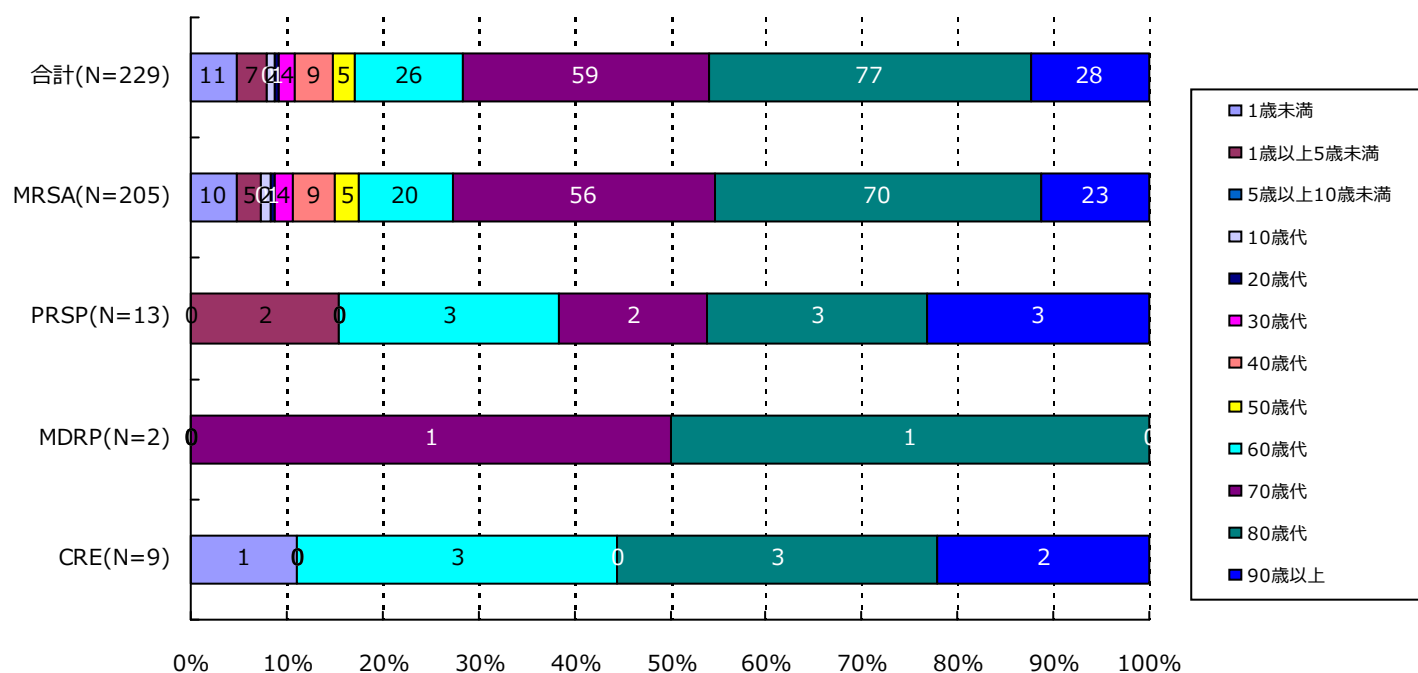
(茨城県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

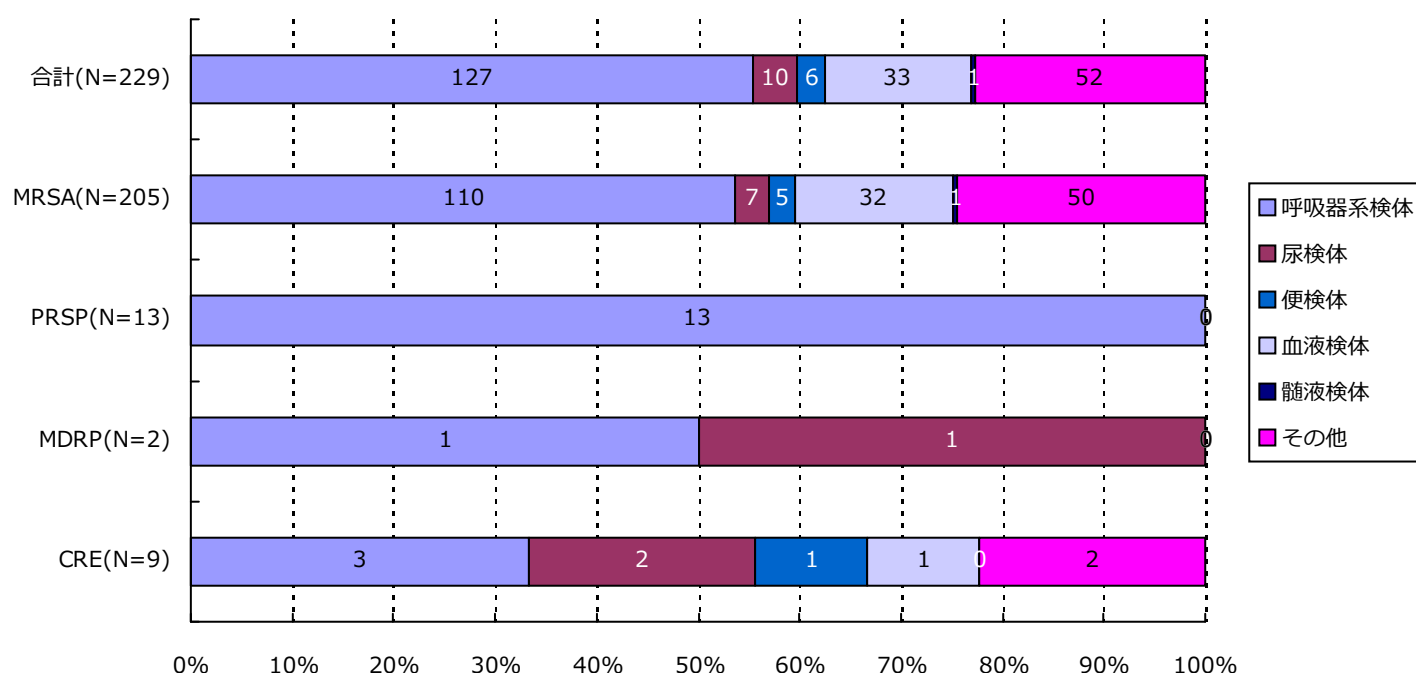


#### 4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	11( 4.8%)	10( 4.9%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 11.1%)
1歳以上5歳未満	7( 3.1%)	5( 2.4%)	0( -)	0( -)	2( 15.4%)	0( -)	0( -)	0( -)
5歳以上10歳未満	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
10歳代	2( 0.9%)	2( 1.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
20歳代	1( 0.4%)	1( 0.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
30歳代	4( 1.7%)	4( 2.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
40歳代	9( 3.9%)	9( 4.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
50歳代	5( 2.2%)	5( 2.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
60歳代	26( 11.4%)	20( 9.8%)	0( -)	0( -)	3( 23.1%)	0( -)	0( -)	3( 33.3%)
70歳代	59( 25.8%)	56( 27.3%)	0( -)	0( -)	2( 15.4%)	1( 50.0%)	0( -)	0( -)
80歳代	77( 33.6%)	70( 34.1%)	0( -)	0( -)	3( 23.1%)	1( 50.0%)	0( -)	3( 33.3%)
90歳以上	28( 12.2%)	23( 11.2%)	0( -)	0( -)	3( 23.1%)	0( -)	0( -)	2( 22.2%)
合計	229	205	0	0	13	2	0	9

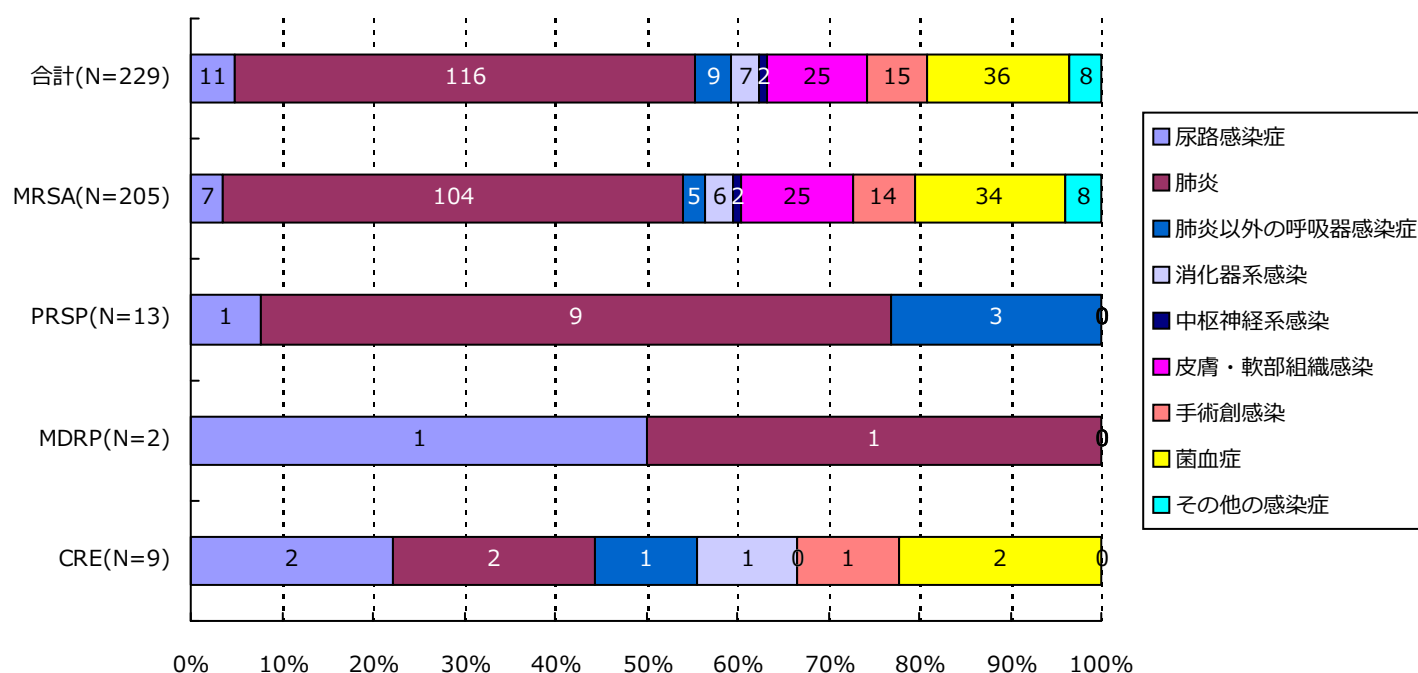
## 5. 耐性菌新規感染症患者の検体\*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	127( 55.5%)	110( 53.7%)	0( -)	0( -)	13( 100.0%)	1( 50.0%)	0( -)	3( 33.3%)
尿検体	10( 4.4%)	7( 3.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 50.0%)	0( -)	2( 22.2%)
便検体	6( 2.6%)	5( 2.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 11.1%)
血液検体	33( 14.4%)	32( 15.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 11.1%)
髄液検体	1( 0.4%)	1( 0.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	52( 22.7%)	50( 24.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 22.2%)
合計	229	205	0	0	13	2	0	9

\*検体区分については巻末の資料 1 を参照

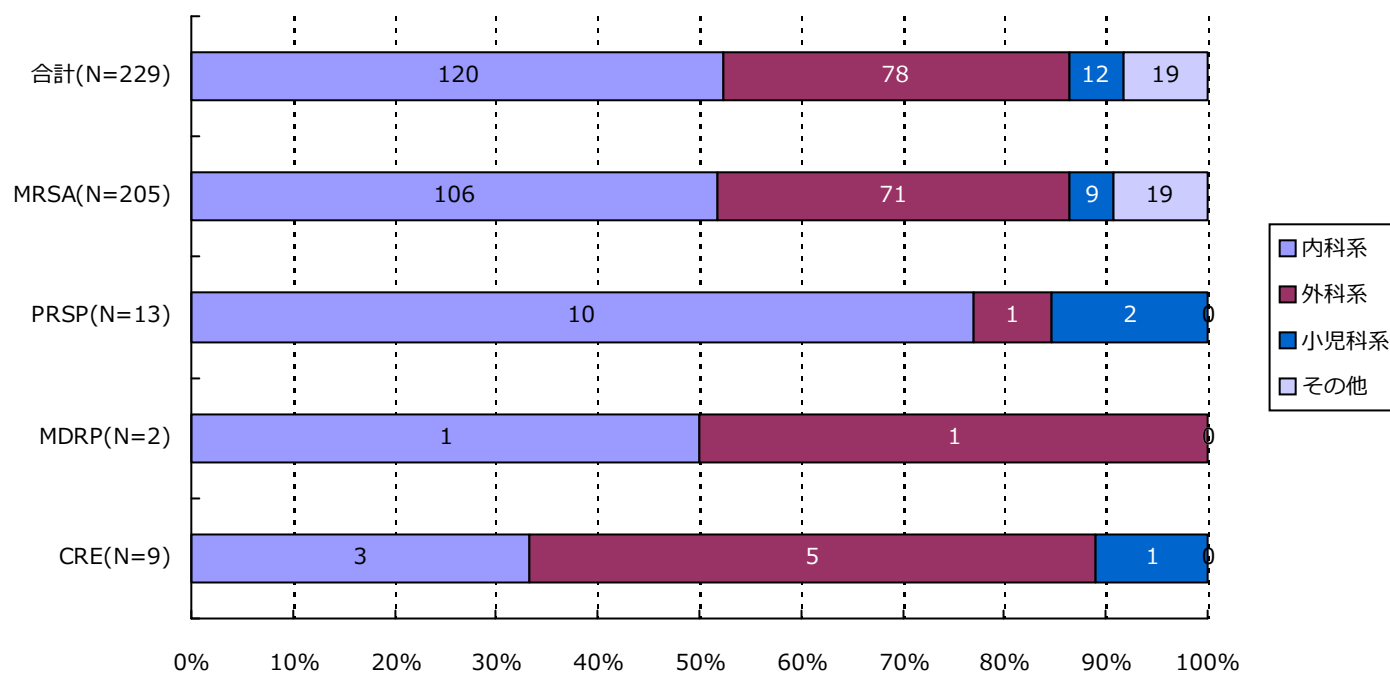
## 6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	11( 4.8%)	7( 3.4%)	0( -)	0( -)	1( 7.7%)	1( 50.0%)	0( -)	2( 22.2%)
肺炎	116( 50.7%)	104( 50.7%)	0( -)	0( -)	9( 69.2%)	1( 50.0%)	0( -)	2( 22.2%)
肺炎以外	9( 3.9%)	5( 2.4%)	0( -)	0( -)	3( 23.1%)	0( -)	0( -)	1( 11.1%)
消化器系	7( 3.1%)	6( 2.9%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 11.1%)
中枢神経系	2( 0.9%)	2( 1.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
皮膚・軟部	25( 10.9%)	25( 12.2%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
手術創	15( 6.6%)	14( 6.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 11.1%)
菌血症	36( 15.7%)	34( 16.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 22.2%)
その他	8( 3.5%)	8( 3.9%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	229	205	0	0	13	2	0	9



## 7. 耐性菌新規感染症患者の診療科\*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	120( 52.4%)	106( 51.7%)	0( -)	0( -)	10( 76.9%)	1( 50.0%)	0( -)	3( 33.3%)
外科系	78( 34.1%)	71( 34.6%)	0( -)	0( -)	1( 7.7%)	1( 50.0%)	0( -)	5( 55.6%)
小児科系	12( 5.2%)	9( 4.4%)	0( -)	0( -)	2( 15.4%)	0( -)	0( -)	1( 11.1%)
その他	19( 8.3%)	19( 9.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	229	205	0	0	13	2	0	9

\*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
	その他
神経科	
精神科	
放射線科	
総合診療部	
救急部	
救急・集中治療部	
集中治療部(ICU)	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)	
内視鏡科	
透析科	
理学療法・リハビリテーション科	
理学療法科	
リハビリテーション科	
麻酔科	
その他	

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心臓血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
皮膚科	
小児科系	脳神経外科
	形成外科
	歯科口腔外科
	歯科
	小児歯科
	矯正歯科
	口腔外科
	手術部
	移植・人工臓器科
	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
周産期センター	

# 資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

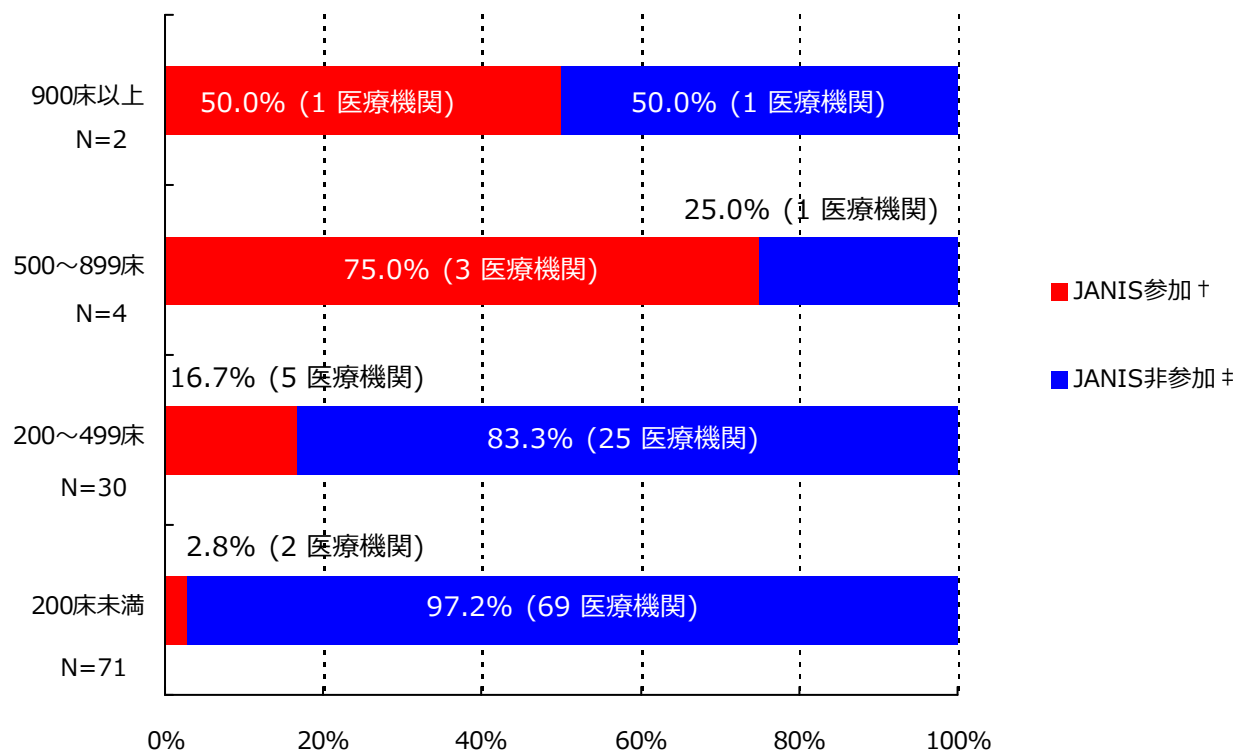
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	MPIPC $\leq$ 10mm または CFX $\leq$ 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml +	VCM $\leq$ 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 $\mu$ g/ml +	MPIPC $\leq$ 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 $\leq$ 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml + AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/ml + NFLX $\geq$ 16 $\mu$ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX $\geq$ 8 $\mu$ g/ml CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	IPM・MEPM $\leq$ 13mm + AMK $\leq$ 14mm NFLX・OFLX $\leq$ 12mm LVFX $\leq$ 13mm、LFLX $\leq$ 18mm CPFX $\leq$ 15mm、GFLX $\leq$ 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/ml + LVFX・GFLX $\geq$ 8 $\mu$ g/ml CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	IPM・MEPM $\leq$ 13mm AMK $\leq$ 14mm LVFX $\leq$ 13mm、GFLX $\leq$ 14mm CPFX $\leq$ 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 $\mu$ g/ml + IPM $\geq$ 2 $\mu$ g/ml + かつ CMZ $\geq$ 64 $\mu$ g/ml	MEPM $\leq$ 22mm IPM $\leq$ 22mm、かつ CMZ $\leq$ 12mm

\* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生動向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

## 1. データ提出医療機関\*数(11医療機関)



\*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2017年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2016年 都道府県別医療機関数¶) - (2017年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2016年 都道府県別医療機関数¶	2017年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	2	1 ( 50%)
500～899床	4	3 ( 75%)
200～499床	30	5 ( 16.7%)
200床未満	71	2 ( 2.8%)
病床数不明	-	0 ( -)
合計	107	11 ( 10.3%)

¶平成28年医療施設（動態）調査を参照した。

(栃木県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

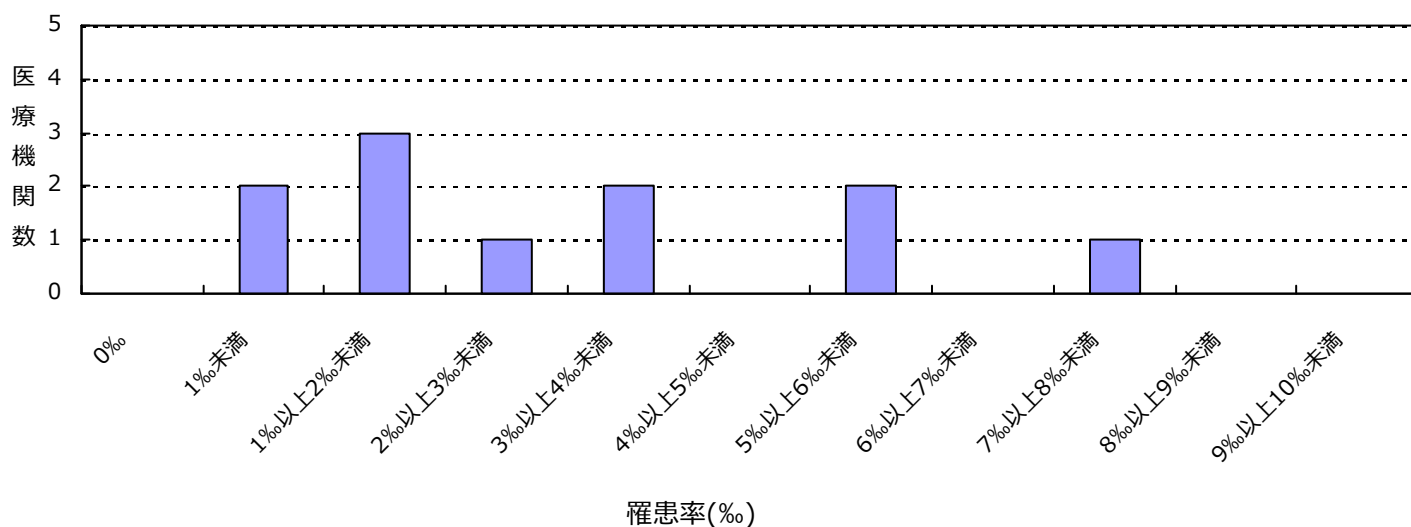


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
MRSA	108,156	1	294	2.72‰	0.64 2.36 7.24

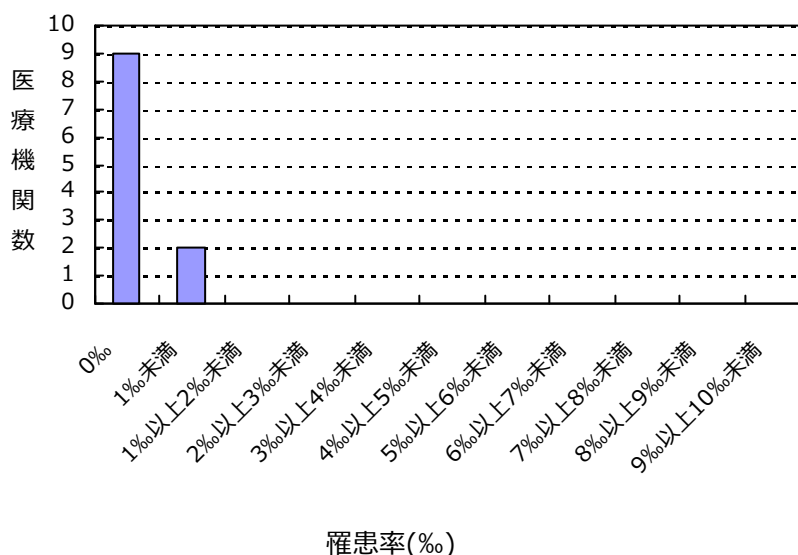
集計対象医療機関の罹患率(N=11)



### 多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
MDRP	108,156	0	2	0.02‰	0.00 0.00 0.11

集計対象医療機関の罹患率(N=11)



(栃木県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

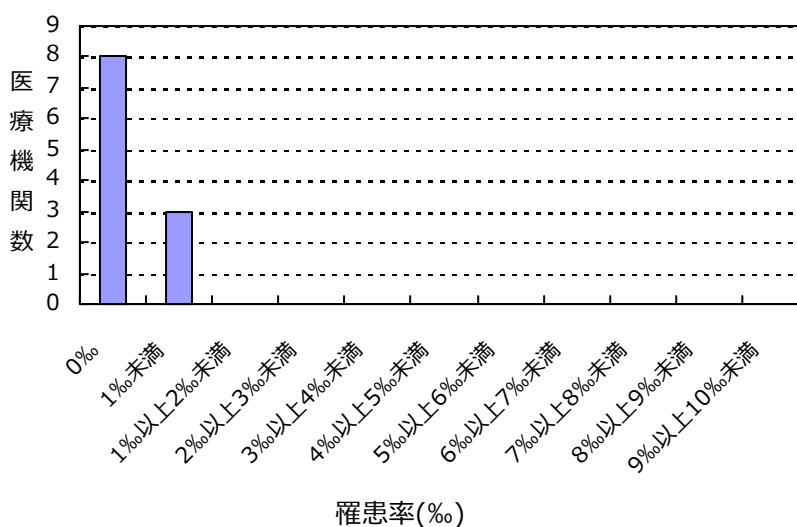


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
CRE	108,156	0	4	0.04‰	0.00 0.00 0.32

集計対象医療機関の罹患率(N=11)



(栃木県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



## 2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

### 総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

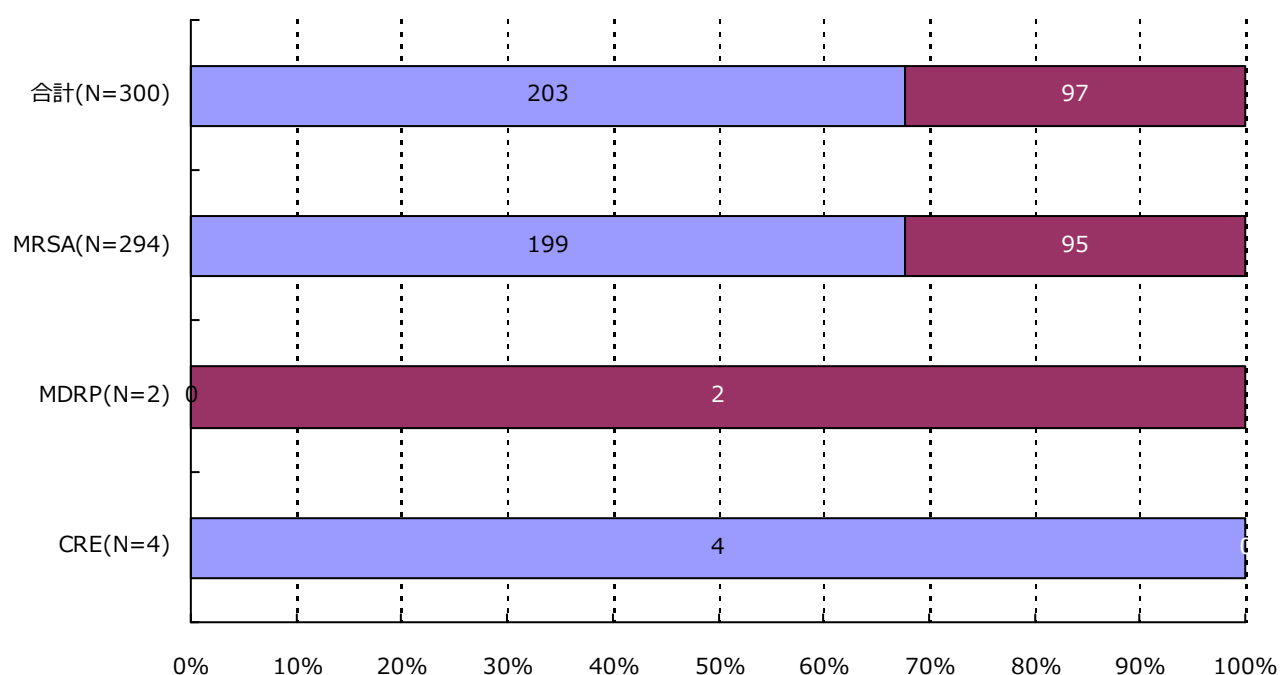
(栃木県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



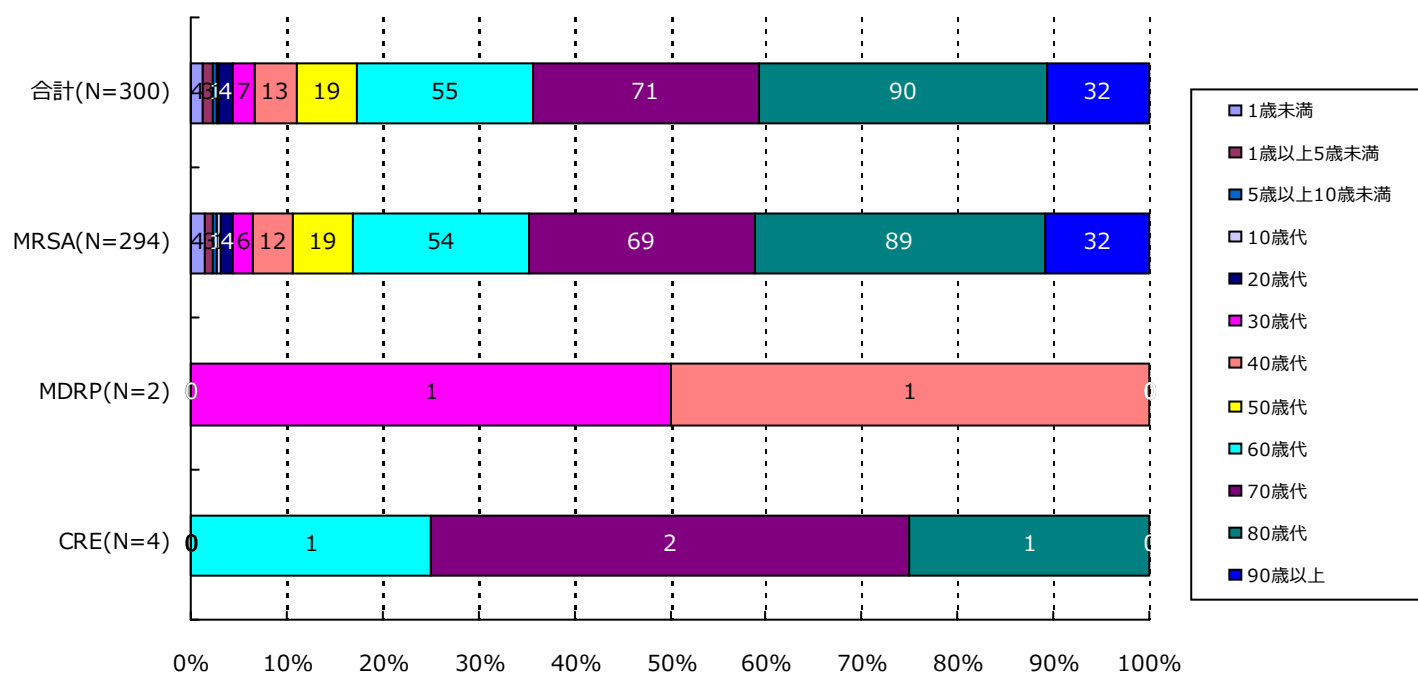
### 3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	203 ( 67.7% )	199 ( 67.7% )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	4 ( 100.0% )
女	97 ( 32.3% )	95 ( 32.3% )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	2 ( 100.0% )	0 ( - )	0 ( - )
合計	300	294	0	0	0	2	0	4

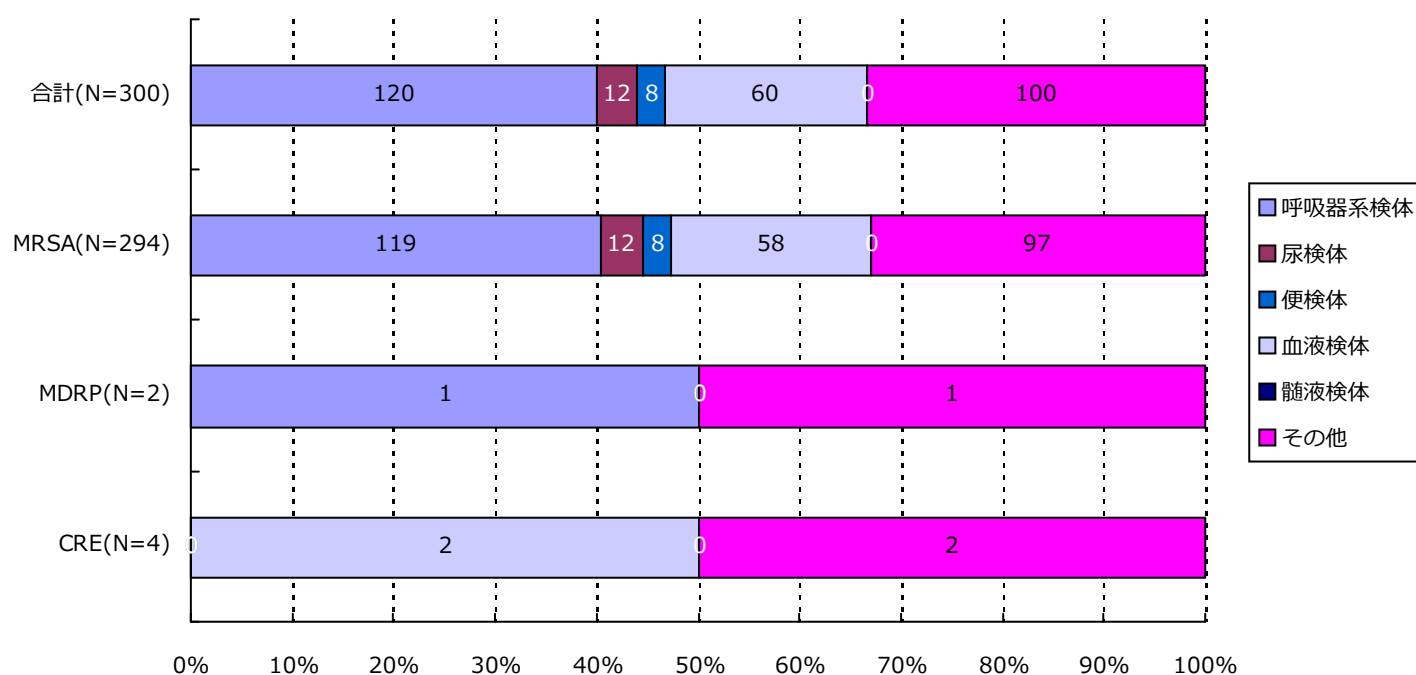


## 4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	4( 1.3%)	4( 1.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
1歳以上5歳未満	3( 1.0%)	3( 1.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
5歳以上10歳未満	1( 0.3%)	1( 0.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
10歳代	1( 0.3%)	1( 0.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
20歳代	4( 1.3%)	4( 1.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
30歳代	7( 2.3%)	6( 2.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 50.0%)	0( -)	0( -)
40歳代	13( 4.3%)	12( 4.1%)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 50.0%)	0( -)	0( -)
50歳代	19( 6.3%)	19( 6.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
60歳代	55( 18.3%)	54( 18.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 25.0%)
70歳代	71( 23.7%)	69( 23.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 50.0%)
80歳代	90( 30.0%)	89( 30.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 25.0%)
90歳以上	32( 10.7%)	32( 10.9%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	300	294	0	0	0	2	0	4

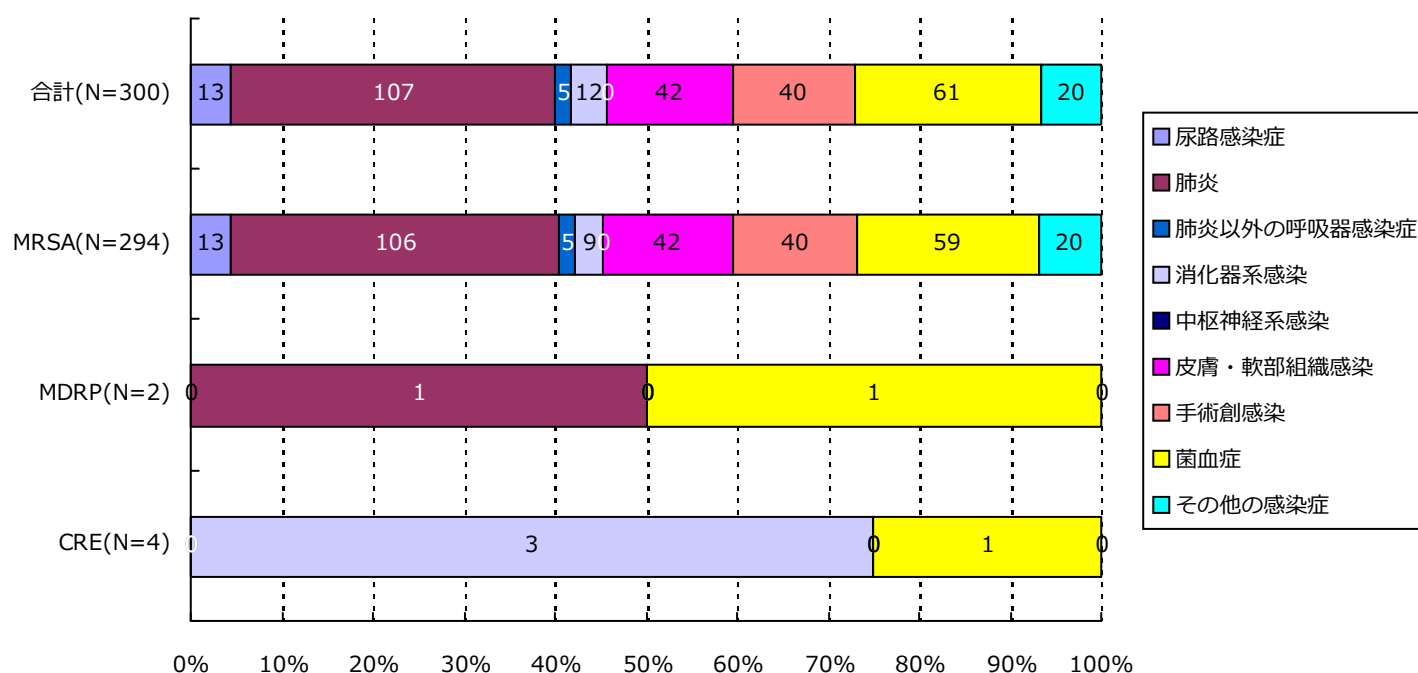
## 5. 耐性菌新規感染症患者の検体\*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	120( 40.0%)	119( 40.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 50.0%)	0( -)	0( -)
尿検体	12( 4.0%)	12( 4.1%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
便検体	8( 2.7%)	8( 2.7%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
血液検体	60( 20.0%)	58( 19.7%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 50.0%)
髄液検体	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	100( 33.3%)	97( 33.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 50.0%)	0( -)	2( 50.0%)
合計	300	294	0	0	0	2	0	4

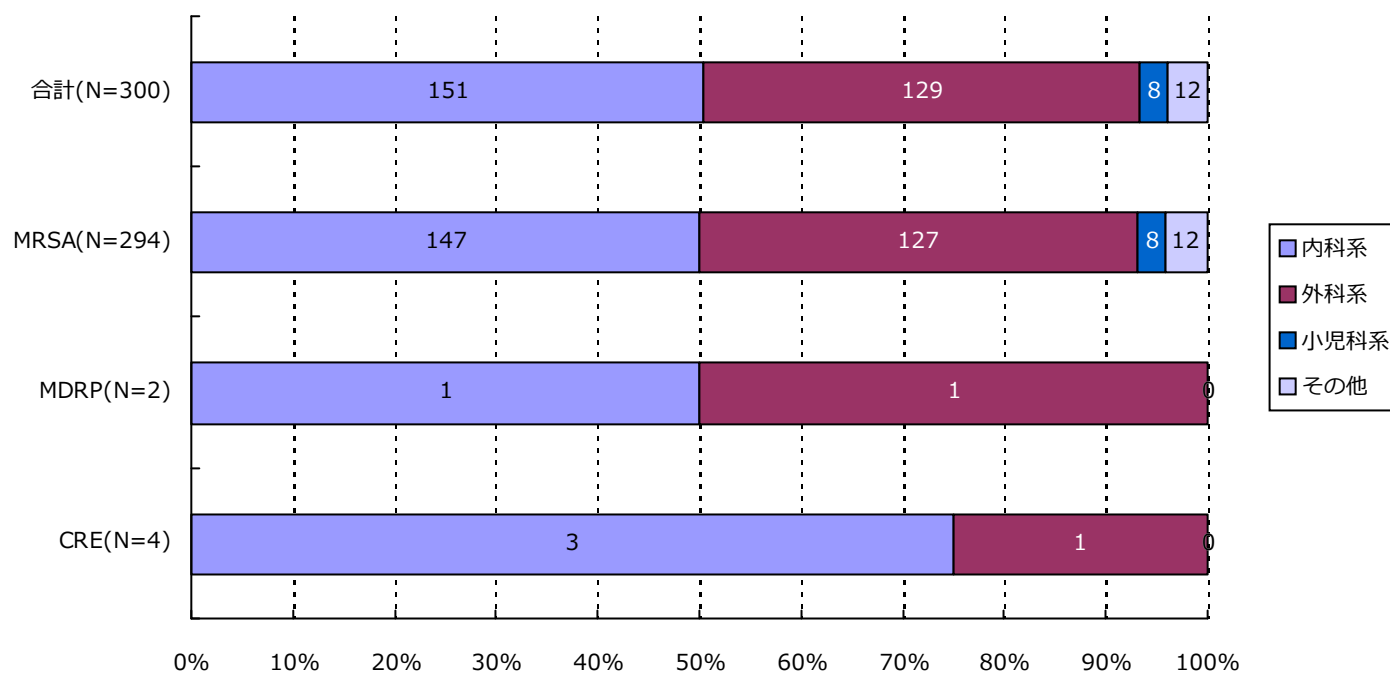
\*検体区分については巻末の資料 1 を参照

## 6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	13( 4.3%)	13( 4.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
肺炎	107( 35.7%)	106( 36.1%)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 50.0%)	0( -)	0( -)
肺炎以外	5( 1.7%)	5( 1.7%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
消化器系	12( 4.0%)	9( 3.1%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	3( 75.0%)
中枢神経系	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
皮膚・軟部	42( 14.0%)	42( 14.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
手術創	40( 13.3%)	40( 13.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
菌血症	61( 20.3%)	59( 20.1%)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 50.0%)	0( -)	1( 25.0%)
その他	20( 6.7%)	20( 6.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	300	294	0	0	0	2	0	4

## 7. 耐性菌新規感染症患者の診療科\*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	151( 50.3%)	147( 50.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 50.0%)	0( -)	3( 75.0%)
外科系	129( 43.0%)	127( 43.2%)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 50.0%)	0( -)	1( 25.0%)
小児科系	8( 2.7%)	8( 2.7%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	12( 4.0%)	12( 4.1%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	300	294	0	0	0	2	0	4

\*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

## ・資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
	その他
神経科	
精神科	
放射線科	
総合診療部	
救急部	
救急・集中治療部	
集中治療部(ICU)	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)	
内視鏡科	
透析科	
理学療法・リハビリテーション科	
理学療法科	
リハビリテーション科	
麻酔科	
その他	

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心臓血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	小児科系
皮膚科	
脳神経外科	
形成外科	
歯科口腔外科	
歯科	
小児歯科	
矯正歯科	
口腔外科	
手術部	
移植・人工臓器科	
小児科	
新生児科	
新生児集中治療部(NICU)	
周産期センター	

# 資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

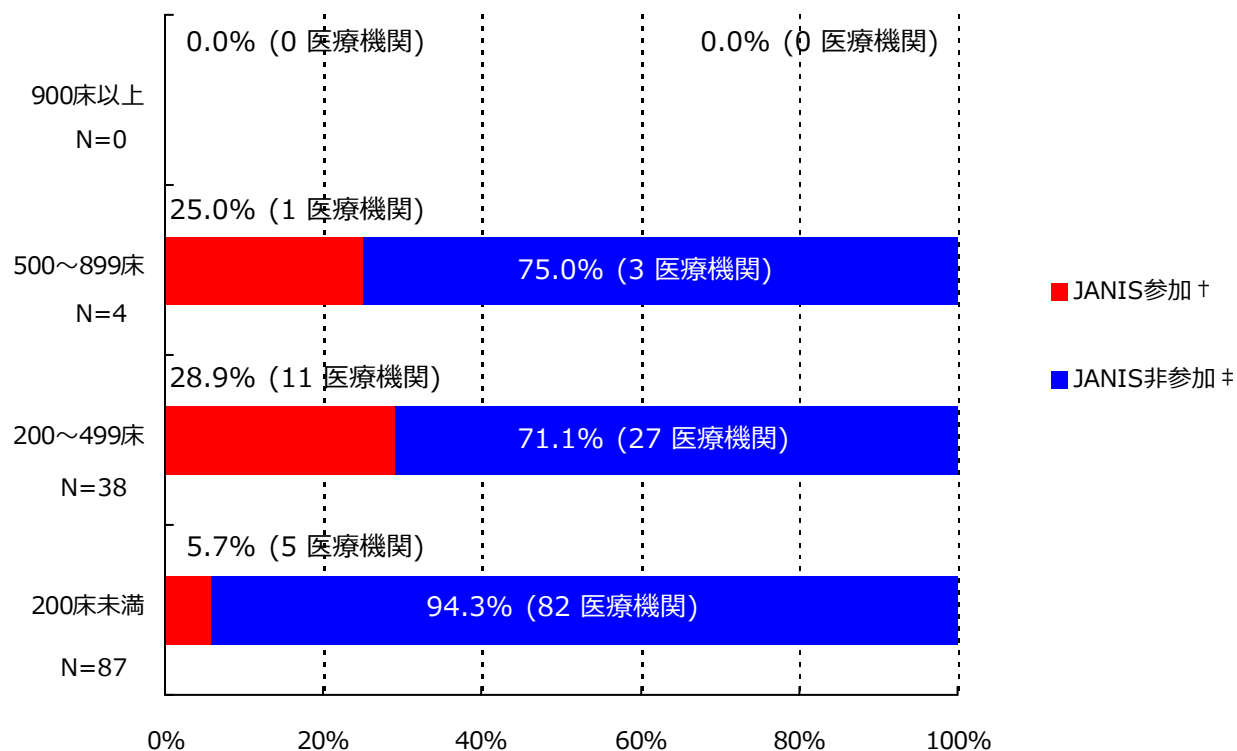
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	MPIPC $\leq$ 10mm または CFX $\leq$ 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml +	VCM $\leq$ 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 $\mu$ g/ml +	MPIPC $\leq$ 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 $\leq$ 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml + AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/ml + NFLX $\geq$ 16 $\mu$ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX $\geq$ 8 $\mu$ g/ml CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	IPM・MEPM $\leq$ 13mm + AMK $\leq$ 14mm NFLX・OFLX $\leq$ 12mm LVFX $\leq$ 13mm、LFLX $\leq$ 18mm CPFX $\leq$ 15mm、GFLX $\leq$ 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/ml + LVFX・GFLX $\geq$ 8 $\mu$ g/ml CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	IPM・MEPM $\leq$ 13mm AMK $\leq$ 14mm LVFX $\leq$ 13mm、GFLX $\leq$ 14mm CPFX $\leq$ 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 $\mu$ g/ml + IPM $\geq$ 2 $\mu$ g/ml + かつ CMZ $\geq$ 64 $\mu$ g/ml	MEPM $\leq$ 22mm IPM $\leq$ 22mm、かつ CMZ $\leq$ 12mm

\* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生动向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

## 1. データ提出医療機関\*数(17医療機関)



\*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2017年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2016年 都道府県別医療機関数¶) - (2017年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2016年 都道府県別医療機関数¶	2017年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 ( - )
500～899床	4	1 ( 25%)
200～499床	38	11 ( 28.9%)
200床未満	87	5 ( 5.7%)
病床数不明	-	0 ( - )
合計	129	17 ( 13.2%)

¶平成28年医療施設（動態）調査を参照した。

(群馬県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

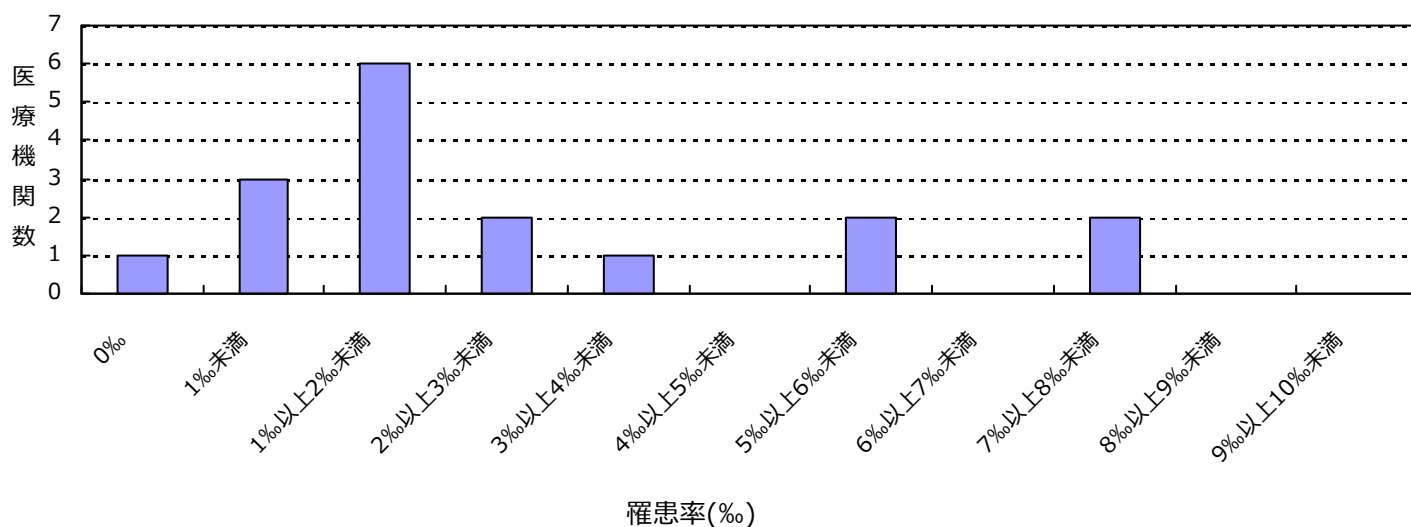


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	112,482	10	244	2.17%	0.00 1.82 7.95  -----

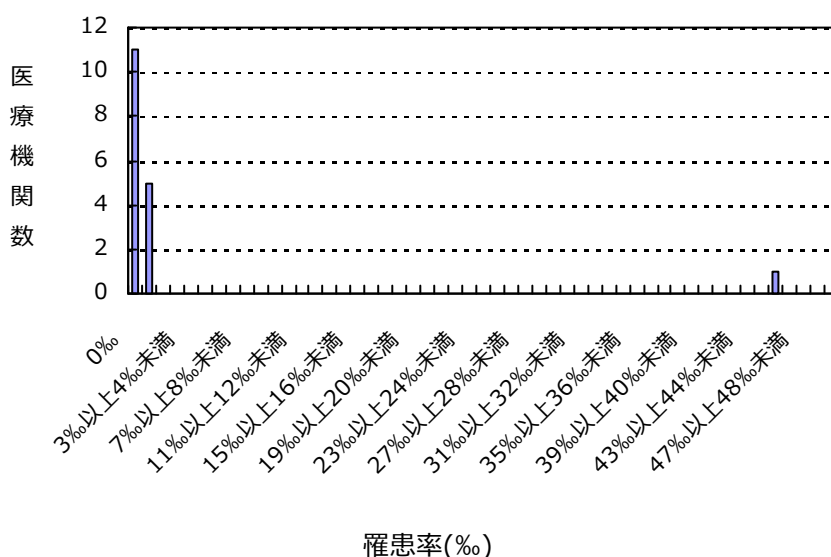
集計対象医療機関の罹患率(N=17)



### ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	112,482	0	16	0.14%	0.00 0.00 45.11  -----

集計対象医療機関の罹患率(N=17)





(群馬県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)  
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

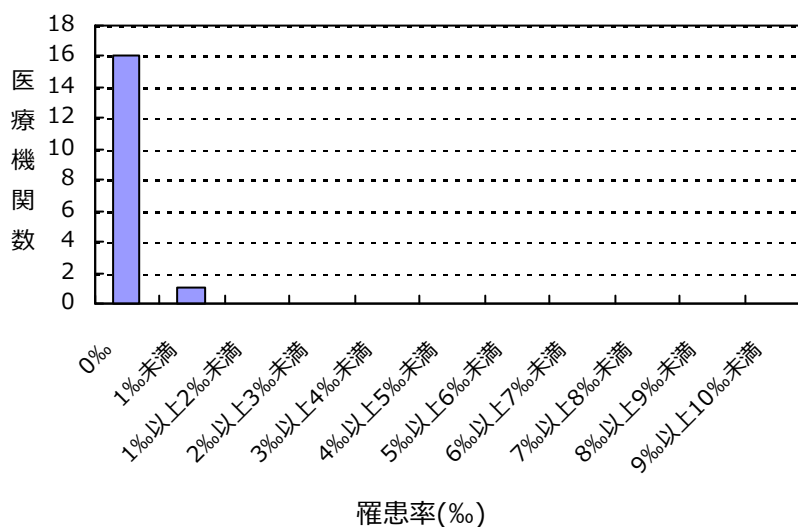


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### 多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
MDRP	112,482	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.07

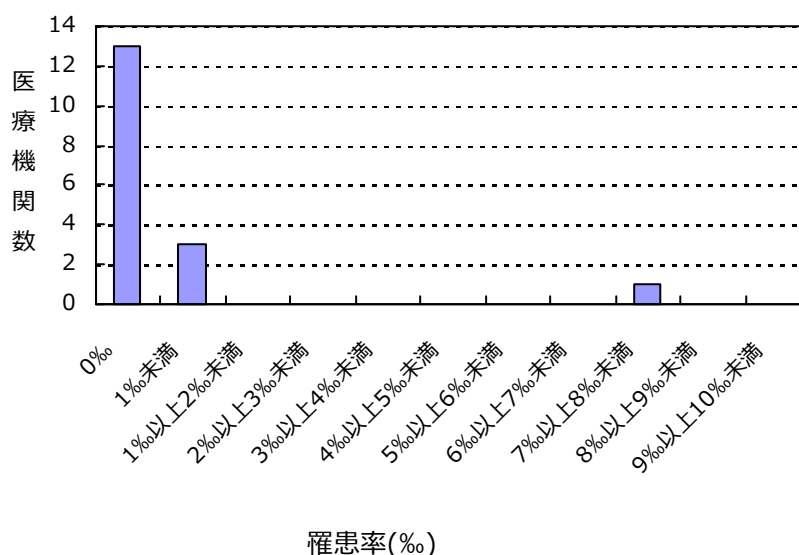
集計対象医療機関の罹患率(N=17)



### カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
CRE	112,482	0	4	0.04%	0.00 0.00 7.52

集計対象医療機関の罹患率(N=17)



(群馬県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



## 2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

### 総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

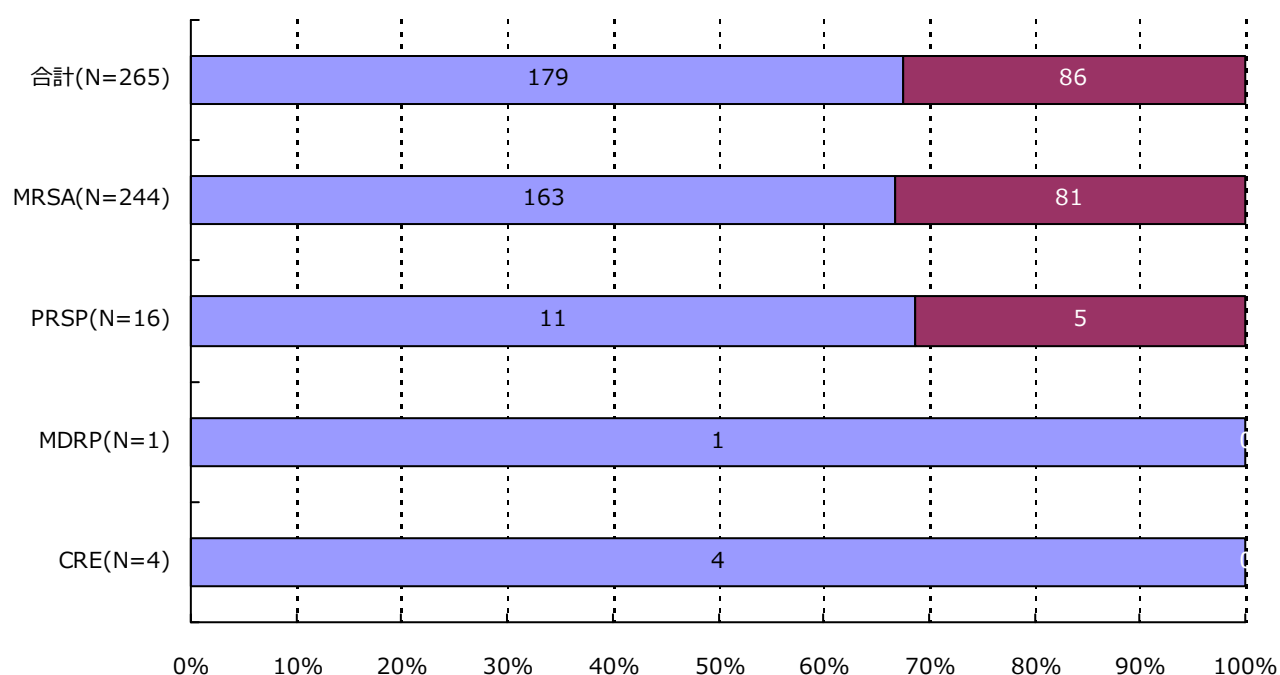
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

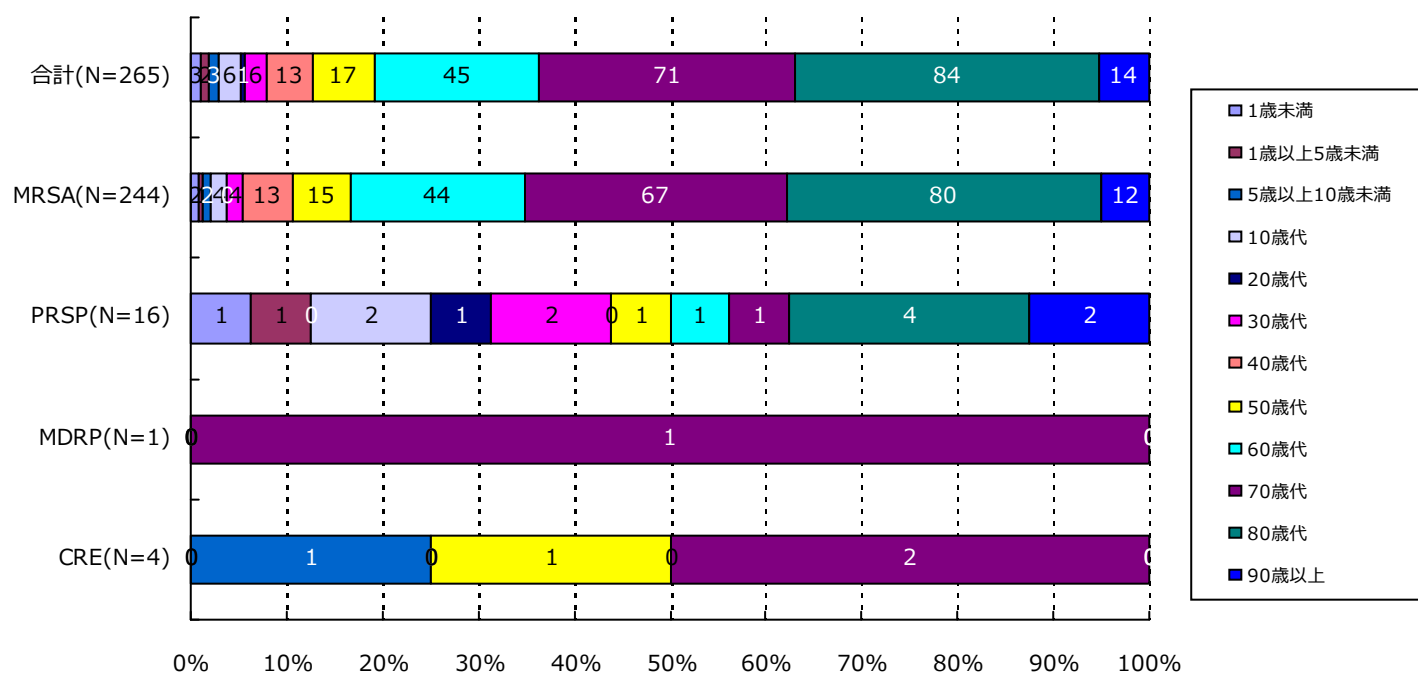
全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

## 3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



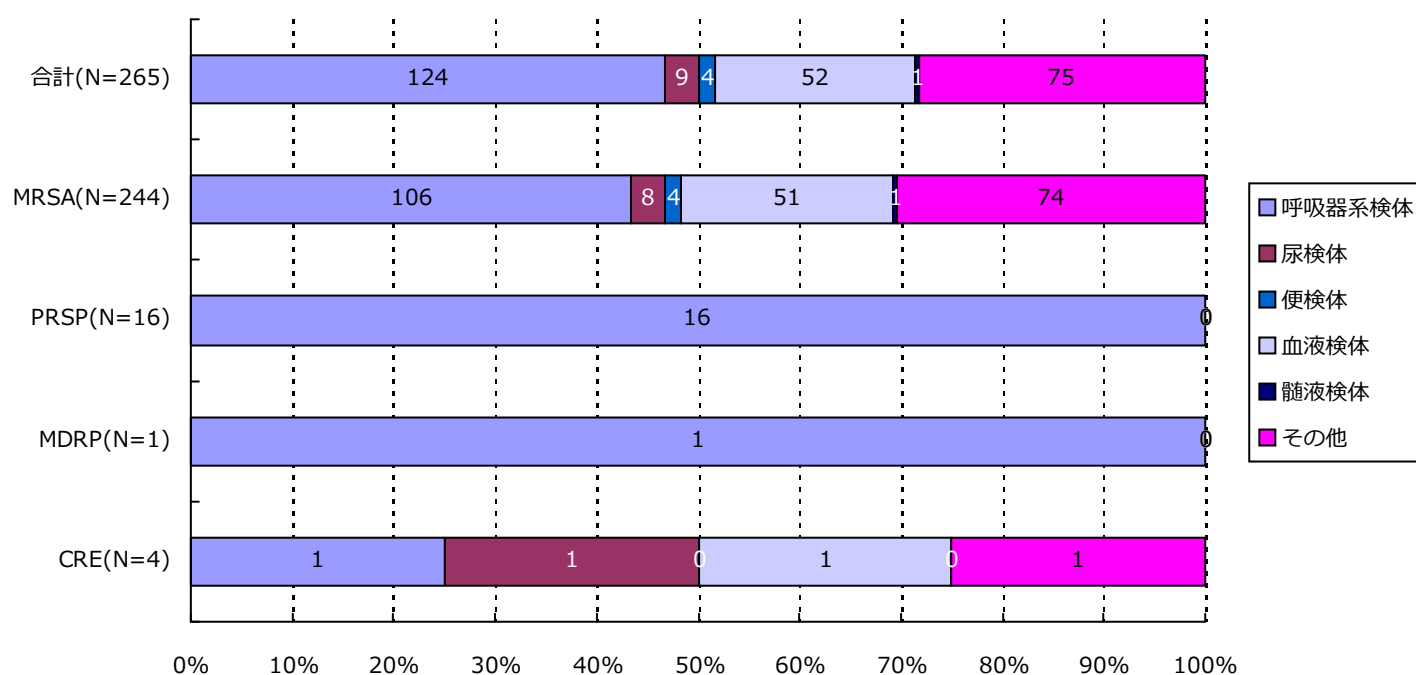
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	179 ( 67.5% )	163 ( 66.8% )	0 ( - )	0 ( - )	11 ( 68.8% )	1 ( 100.0% )	0 ( - )	4 ( 100.0% )
女	86 ( 32.5% )	81 ( 33.2% )	0 ( - )	0 ( - )	5 ( 31.3% )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )
合計	265	244	0	0	16	1	0	4

## 4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	3( 1.1%)	2( 0.8%)	0( -)	0( -)	1( 6.3%)	0( -)	0( -)	0( -)
1歳以上5歳未満	2( 0.8%)	1( 0.4%)	0( -)	0( -)	1( 6.3%)	0( -)	0( -)	0( -)
5歳以上10歳未満	3( 1.1%)	2( 0.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 25.0%)
10歳代	6( 2.3%)	4( 1.6%)	0( -)	0( -)	2( 12.5%)	0( -)	0( -)	0( -)
20歳代	1( 0.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 6.3%)	0( -)	0( -)	0( -)
30歳代	6( 2.3%)	4( 1.6%)	0( -)	0( -)	2( 12.5%)	0( -)	0( -)	0( -)
40歳代	13( 4.9%)	13( 5.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
50歳代	17( 6.4%)	15( 6.1%)	0( -)	0( -)	1( 6.3%)	0( -)	0( -)	1( 25.0%)
60歳代	45( 17.0%)	44( 18.0%)	0( -)	0( -)	1( 6.3%)	0( -)	0( -)	0( -)
70歳代	71( 26.8%)	67( 27.5%)	0( -)	0( -)	1( 6.3%)	1( 100.0%)	0( -)	2( 50.0%)
80歳代	84( 31.7%)	80( 32.8%)	0( -)	0( -)	4( 25.0%)	0( -)	0( -)	0( -)
90歳以上	14( 5.3%)	12( 4.9%)	0( -)	0( -)	2( 12.5%)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	265	244	0	0	16	1	0	4

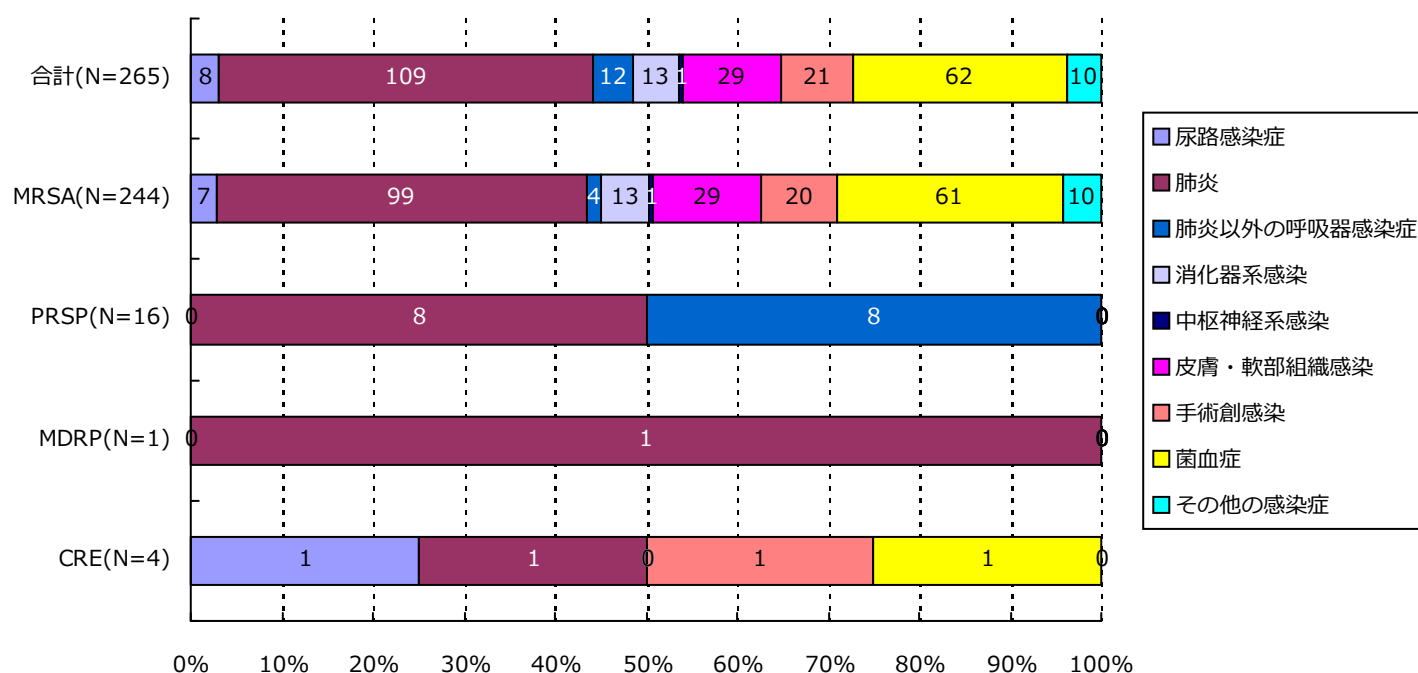
## 5. 耐性菌新規感染症患者の検体\*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	124( 46.8%)	106( 43.4%)	0( -)	0( -)	16( 100.0%)	1( 100.0%)	0( -)	1( 25.0%)
尿検体	9( 3.4%)	8( 3.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 25.0%)
便検体	4( 1.5%)	4( 1.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
血液検体	52( 19.6%)	51( 20.9%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 25.0%)
髄液検体	1( 0.4%)	1( 0.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	75( 28.3%)	74( 30.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 25.0%)
合計	265	244	0	0	16	1	0	4

\*検体区分については巻末の資料 1 を参照

## 6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	8( 3.0%)	7( 2.9%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 25.0%)
肺炎	109( 41.1%)	99( 40.6%)	0( -)	0( -)	8( 50.0%)	1( 100.0%)	0( -)	1( 25.0%)
肺炎以外	12( 4.5%)	4( 1.6%)	0( -)	0( -)	8( 50.0%)	0( -)	0( -)	0( -)
消化器系	13( 4.9%)	13( 5.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
中枢神経系	1( 0.4%)	1( 0.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
皮膚・軟部	29( 10.9%)	29( 11.9%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
手術創	21( 7.9%)	20( 8.2%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 25.0%)
菌血症	62( 23.4%)	61( 25.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 25.0%)
その他	10( 3.8%)	10( 4.1%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	265	244	0	0	16	1	0	4

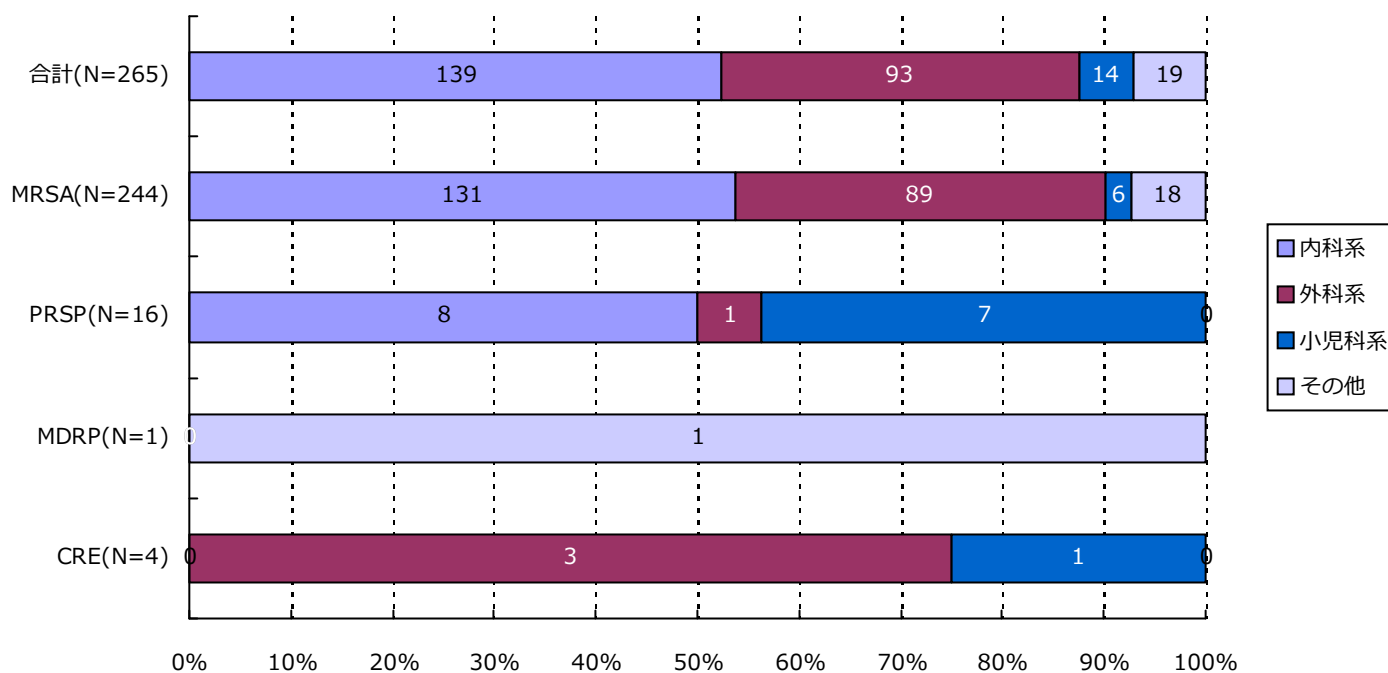
(群馬県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



## 7. 耐性菌新規感染症患者の診療科\*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	139( 52.5%)	131( 53.7%)	0( -)	0( -)	8( 50.0%)	0( -)	0( -)	0( -)
外科系	93( 35.1%)	89( 36.5%)	0( -)	0( -)	1( 6.3%)	0( -)	0( -)	3( 75.0%)
小児科系	14( 5.3%)	6( 2.5%)	0( -)	0( -)	7( 43.8%)	0( -)	0( -)	1( 25.0%)
その他	19( 7.2%)	18( 7.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 100.0%)	0( -)	0( -)
合計	265	244	0	0	16	1	0	4

\*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

## ・資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
	その他
神経科	
精神科	
放射線科	
総合診療部	
救急部	
救急・集中治療部	
集中治療部(ICU)	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)	
内視鏡科	
透析科	
理学療法・リハビリテーション科	
理学療法科	
リハビリテーション科	
麻酔科	
その他	

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心臓血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	小児科系
泌尿器科	
皮膚・泌尿器科	
皮膚科	
脳神経外科	
形成外科	
歯科口腔外科	
歯科	
小児歯科	
矯正歯科	
口腔外科	
手術部	
移植・人工臓器科	
小児科	
新生児科	
新生児集中治療部(NICU)	
周産期センター	



# 資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

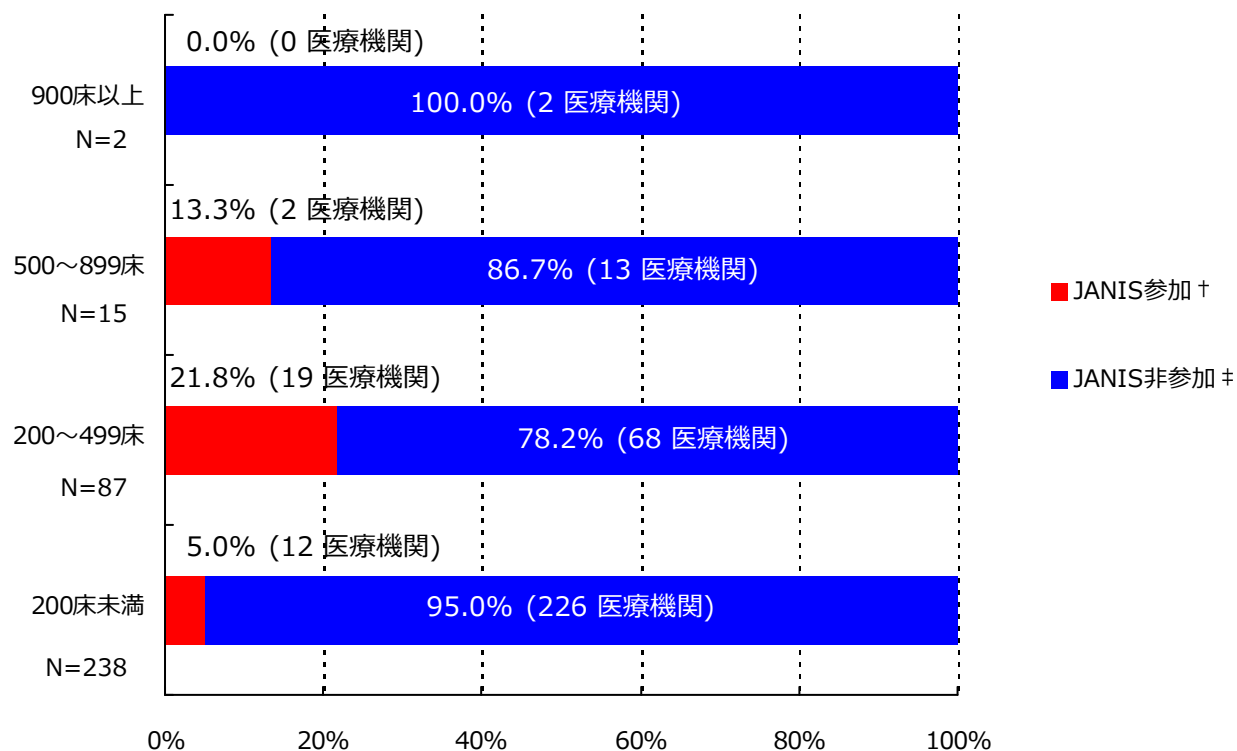
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	MPIPC $\leq$ 10mm または CFX $\leq$ 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml +	VCM $\leq$ 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 $\mu$ g/ml +	MPIPC $\leq$ 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 $\leq$ 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml + AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/ml + NFLX $\geq$ 16 $\mu$ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX $\geq$ 8 $\mu$ g/ml CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	IPM・MEPM $\leq$ 13mm + AMK $\leq$ 14mm NFLX・OFLX $\leq$ 12mm LVFX $\leq$ 13mm、LFLX $\leq$ 18mm CPFX $\leq$ 15mm、GFLX $\leq$ 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/ml + LVFX・GFLX $\geq$ 8 $\mu$ g/ml CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	IPM・MEPM $\leq$ 13mm AMK $\leq$ 14mm LVFX $\leq$ 13mm、GFLX $\leq$ 14mm CPFX $\leq$ 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 $\mu$ g/ml + IPM $\geq$ 2 $\mu$ g/ml + かつ CMZ $\geq$ 64 $\mu$ g/ml	MEPM $\leq$ 22mm IPM $\leq$ 22mm、かつ CMZ $\leq$ 12mm

\* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生动向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

## 1. データ提出医療機関\*数(33医療機関)



\*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2017年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2016年 都道府県別医療機関数¶) - (2017年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2016年 都道府県別医療機関数¶	2017年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	2	0 ( 0%)
500～899床	15	2 ( 13.3%)
200～499床	87	19 ( 21.8%)
200床未満	238	12 ( 5%)
病床数不明	-	0 ( -)
合計	342	33 ( 9.6%)

¶平成28年医療施設（動態）調査を参照した。

(埼玉県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

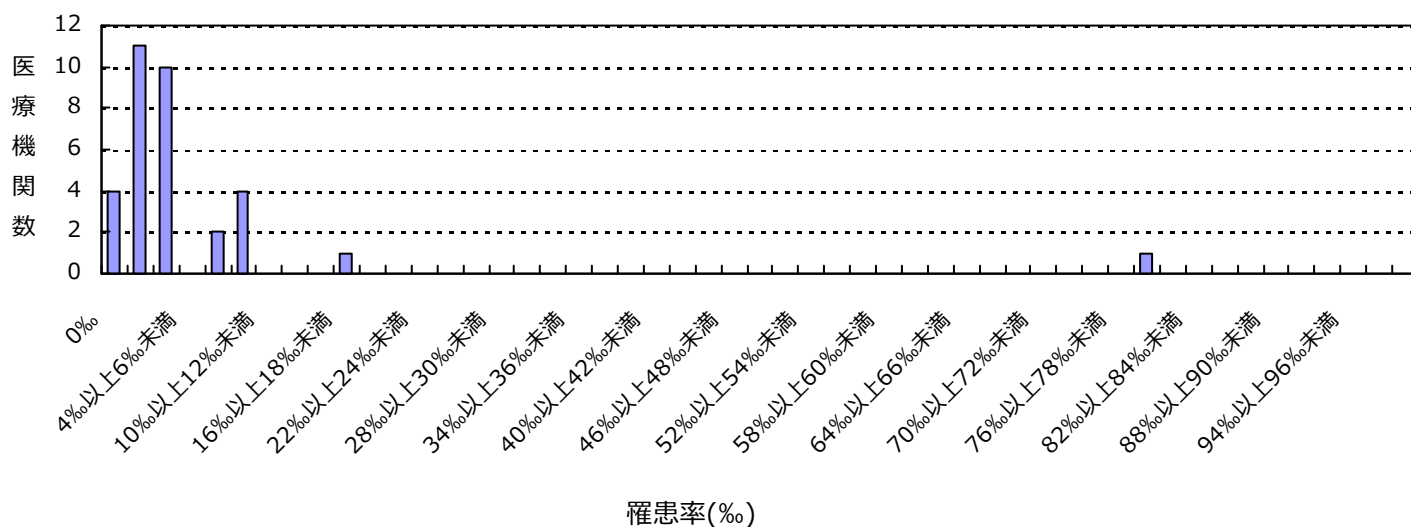


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	164,547	11	473	2.87%	0.00 2.63 79.21  -----

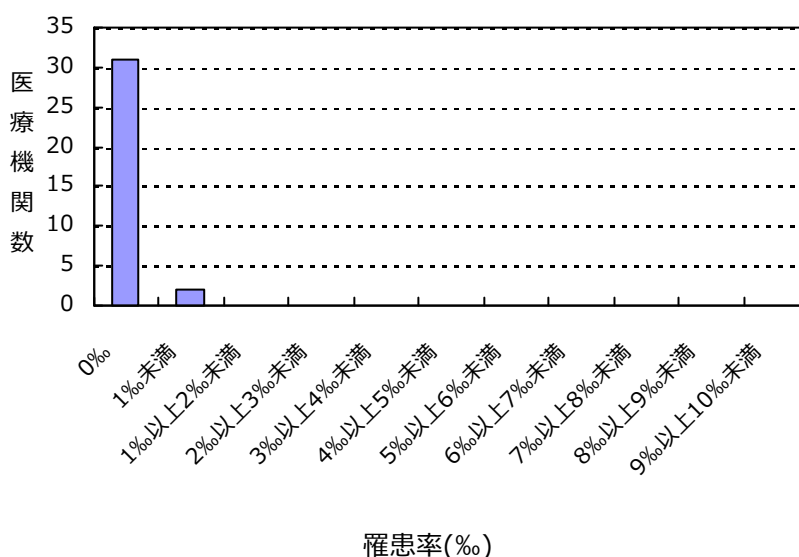
集計対象医療機関の罹患率(N=33)



### バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
VRE	164,547	0	2	0.01%	0.00 0.00 0.44  -----

集計対象医療機関の罹患率(N=33)



(埼玉県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)  
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

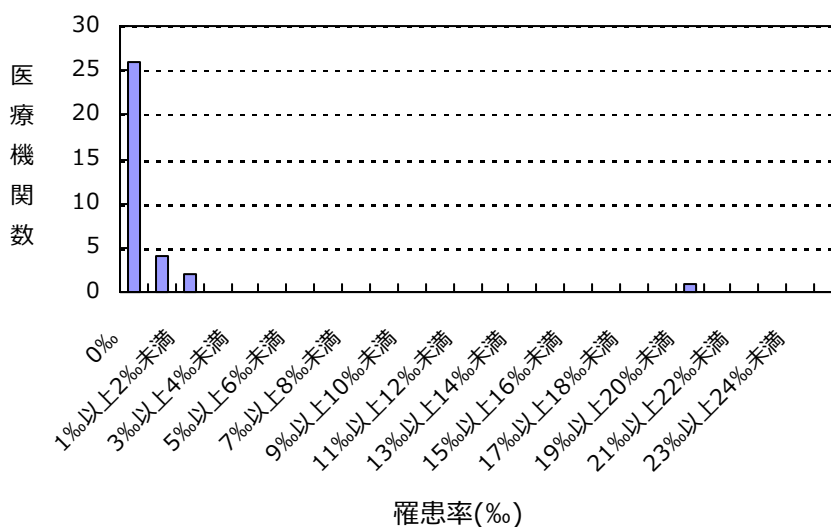


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	164,547	0	37	0.22%	0.00 0.00 19.51 H

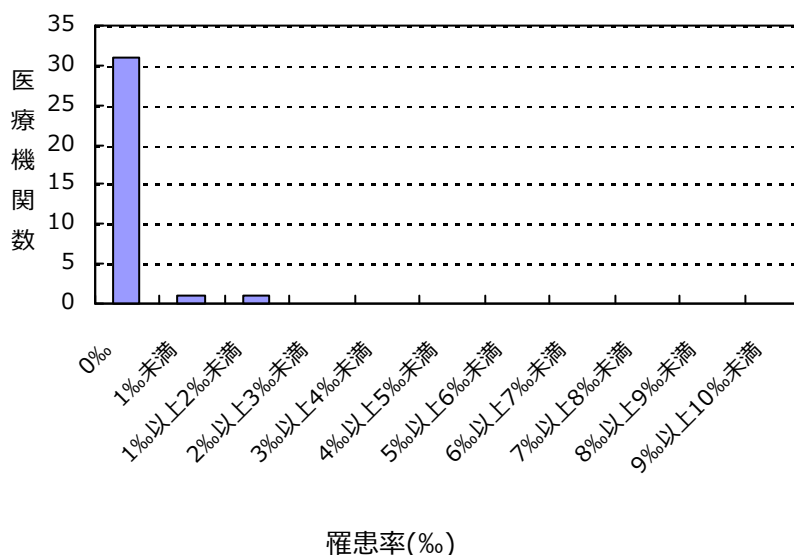
集計対象医療機関の罹患率(N=33)



### 多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MDRP	164,547	1	3	0.02%	0.00 0.00 1.93 

集計対象医療機関の罹患率(N=33)



(埼玉県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)  
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

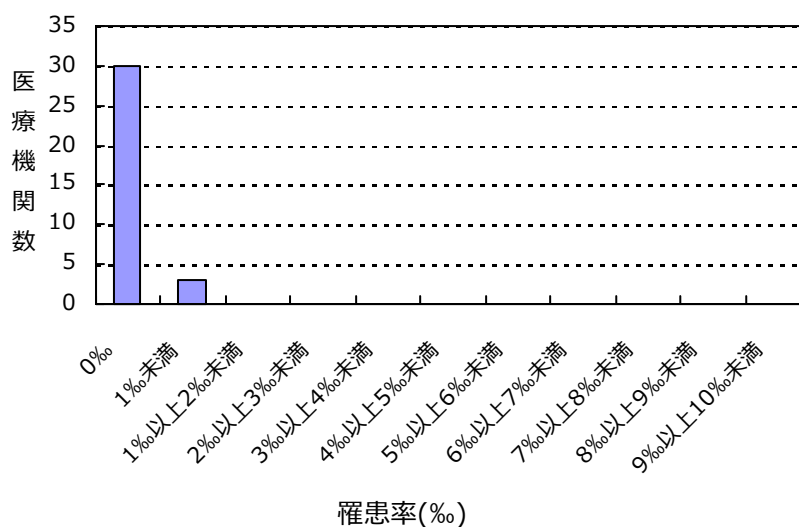


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
CRE	164,547	0	10	0.06‰	0.00 0.00 0.57

集計対象医療機関の罹患率(N=33)



(埼玉県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)  
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



## 2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

### 総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

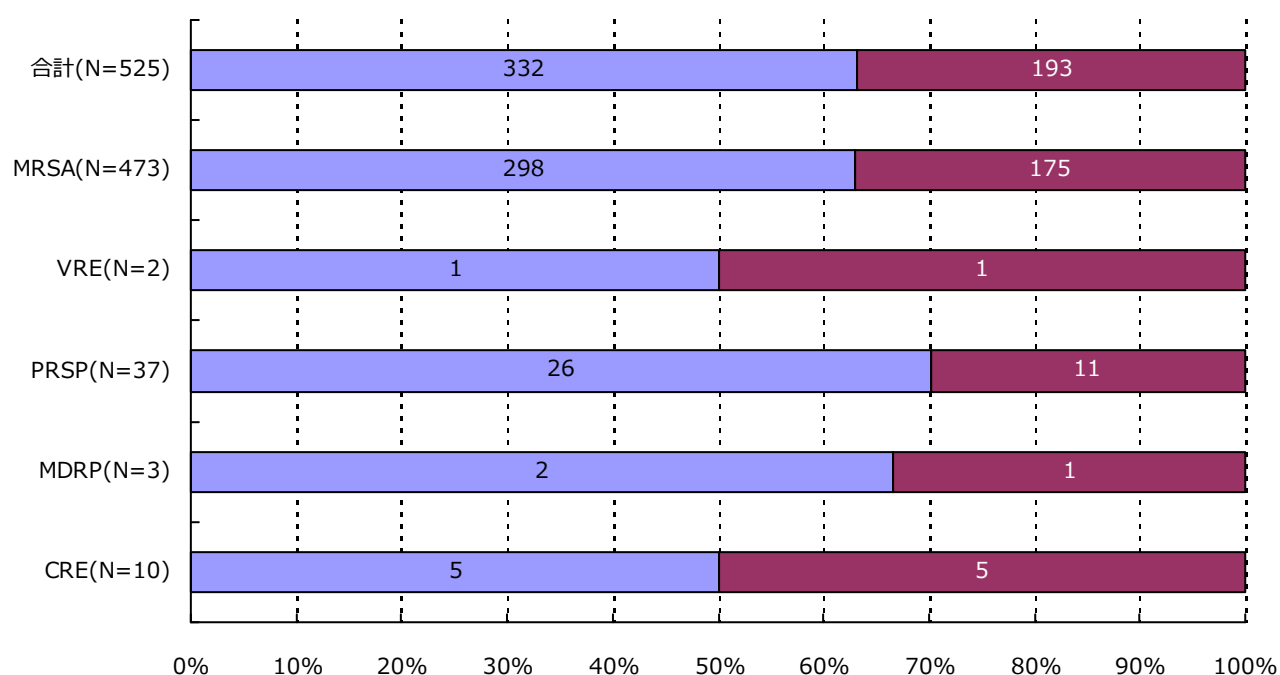
(埼玉県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

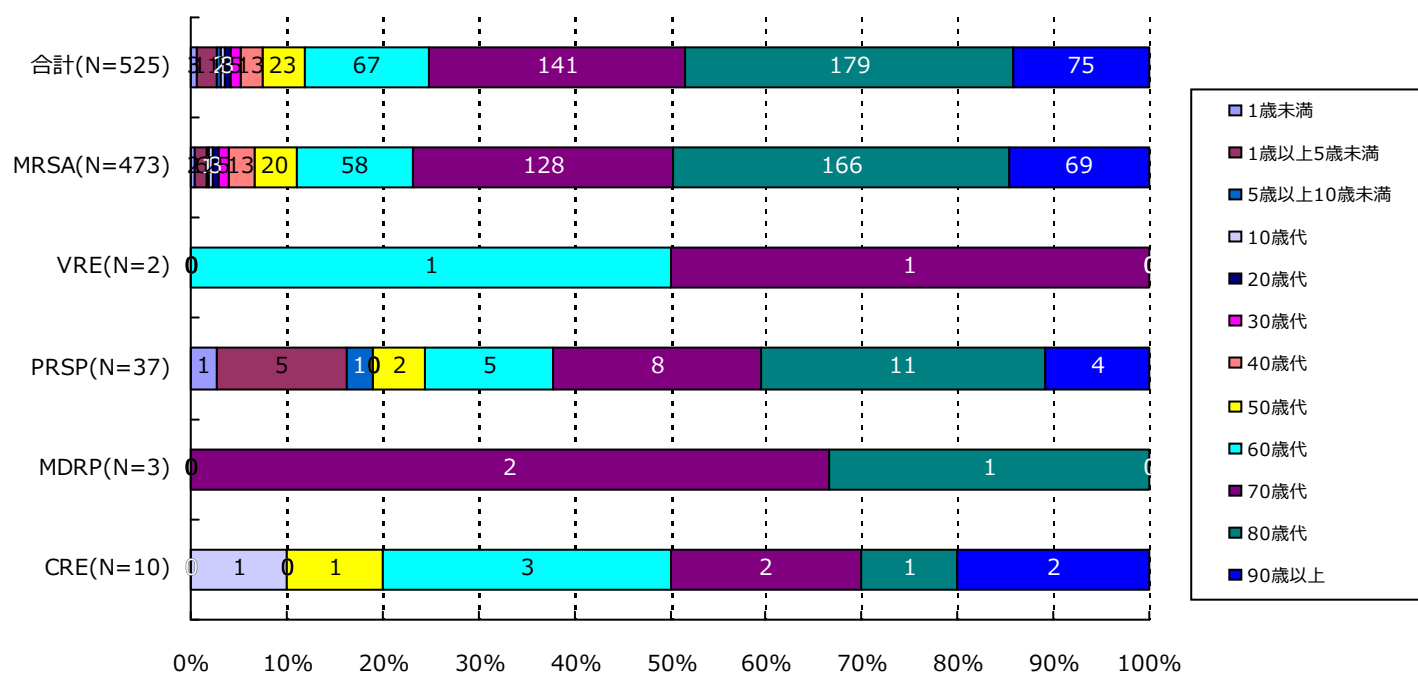


### 3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	332 ( 63.2% )	298 ( 63.0% )	0 ( - )	1 ( 50.0% )	26 ( 70.3% )	2 ( 66.7% )	0 ( - )	5 ( 50.0% )
女	193 ( 36.8% )	175 ( 37.0% )	0 ( - )	1 ( 50.0% )	11 ( 29.7% )	1 ( 33.3% )	0 ( - )	5 ( 50.0% )
合計	525	473	0	2	37	3	0	10

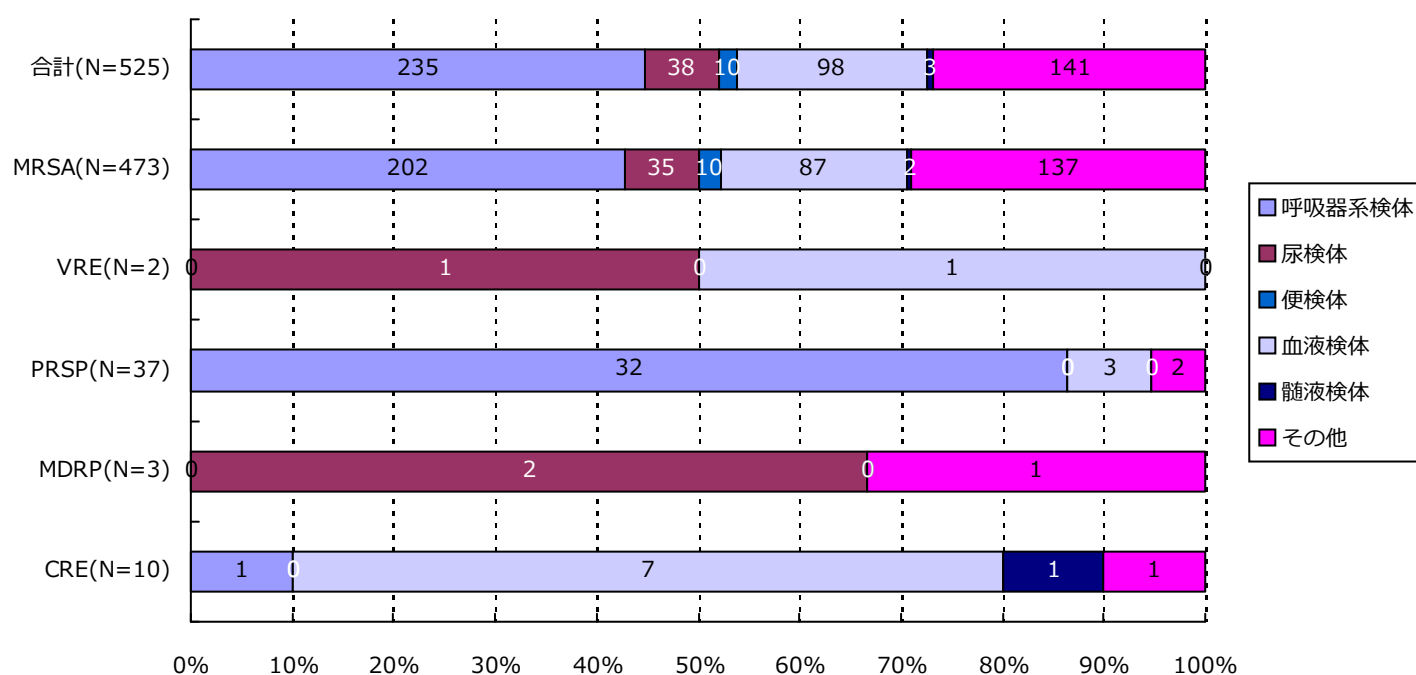
## 4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	3( 0.6%)	2( 0.4%)	0( -)	0( -)	1( 2.7%)	0( -)	0( -)	0( -)
1歳以上5歳未満	11( 2.1%)	6( 1.3%)	0( -)	0( -)	5( 13.5%)	0( -)	0( -)	0( -)
5歳以上10歳未満	2( 0.4%)	1( 0.2%)	0( -)	0( -)	1( 2.7%)	0( -)	0( -)	0( -)
10歳代	3( 0.6%)	2( 0.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 10.0%)
20歳代	3( 0.6%)	3( 0.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
30歳代	5( 1.0%)	5( 1.1%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
40歳代	13( 2.5%)	13( 2.7%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
50歳代	23( 4.4%)	20( 4.2%)	0( -)	0( -)	2( 5.4%)	0( -)	0( -)	1( 10.0%)
60歳代	67( 12.8%)	58( 12.3%)	0( -)	1( 50.0%)	5( 13.5%)	0( -)	0( -)	3( 30.0%)
70歳代	141( 26.9%)	128( 27.1%)	0( -)	1( 50.0%)	8( 21.6%)	2( 66.7%)	0( -)	2( 20.0%)
80歳代	179( 34.1%)	166( 35.1%)	0( -)	0( -)	11( 29.7%)	1( 33.3%)	0( -)	1( 10.0%)
90歳以上	75( 14.3%)	69( 14.6%)	0( -)	0( -)	4( 10.8%)	0( -)	0( -)	2( 20.0%)
合計	525	473	0	2	37	3	0	10



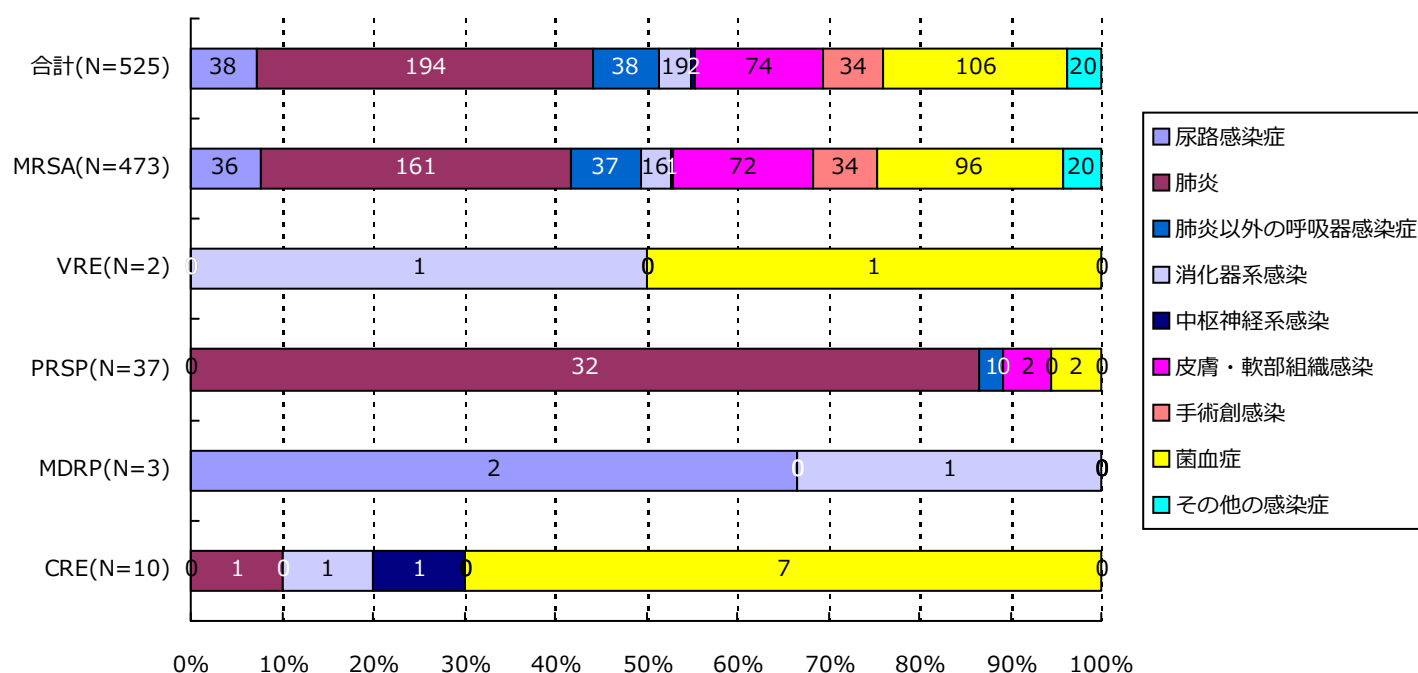
## 5. 耐性菌新規感染症患者の検体\*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	235( 44.8%)	202( 42.7%)	0( -)	0( -)	32( 86.5%)	0( -)	0( -)	1( 10.0%)
尿検体	38( 7.2%)	35( 7.4%)	0( -)	1( 50.0%)	0( -)	2( 66.7%)	0( -)	0( -)
便検体	10( 1.9%)	10( 2.1%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
血液検体	98( 18.7%)	87( 18.4%)	0( -)	1( 50.0%)	3( 8.1%)	0( -)	0( -)	7( 70.0%)
髄液検体	3( 0.6%)	2( 0.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 10.0%)
その他	141( 26.9%)	137( 29.0%)	0( -)	0( -)	2( 5.4%)	1( 33.3%)	0( -)	1( 10.0%)
合計	525	473	0	2	37	3	0	10

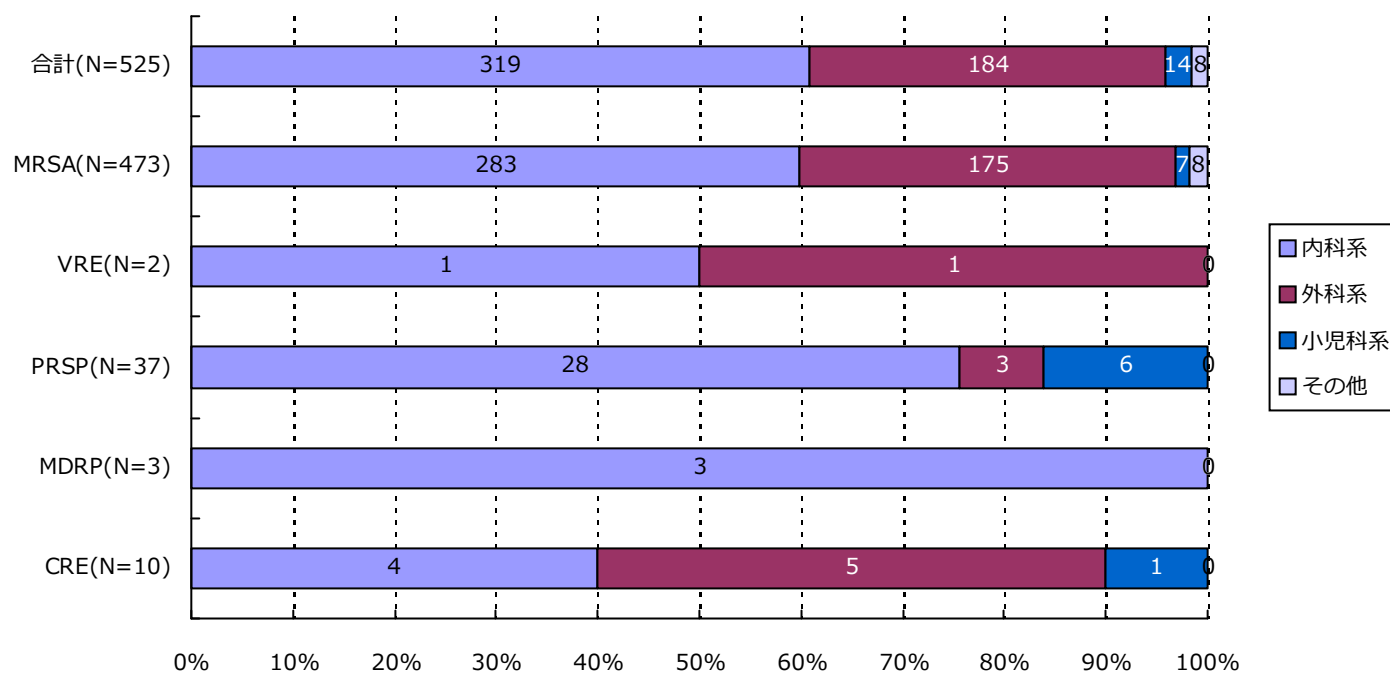
\*検体区分については巻末の資料 1 を参照

## 6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	38( 7.2%)	36( 7.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 66.7%)	0( -)	0( -)
肺炎	194( 37.0%)	161( 34.0%)	0( -)	0( -)	32( 86.5%)	0( -)	0( -)	1( 10.0%)
肺炎以外	38( 7.2%)	37( 7.8%)	0( -)	0( -)	1( 2.7%)	0( -)	0( -)	0( -)
消化器系	19( 3.6%)	16( 3.4%)	0( -)	1( 50.0%)	0( -)	1( 33.3%)	0( -)	1( 10.0%)
中枢神経系	2( 0.4%)	1( 0.2%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 10.0%)
皮膚・軟部	74( 14.1%)	72( 15.2%)	0( -)	0( -)	2( 5.4%)	0( -)	0( -)	0( -)
手術創	34( 6.5%)	34( 7.2%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
菌血症	106( 20.2%)	96( 20.3%)	0( -)	1( 50.0%)	2( 5.4%)	0( -)	0( -)	7( 70.0%)
その他	20( 3.8%)	20( 4.2%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	525	473	0	2	37	3	0	10

## 7. 耐性菌新規感染症患者の診療科\*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	319( 60.8%)	283( 59.8%)	0( -)	1( 50.0%)	28( 75.7%)	3( 100.0%)	0( -)	4( 40.0%)
外科系	184( 35.0%)	175( 37.0%)	0( -)	1( 50.0%)	3( 8.1%)	0( -)	0( -)	5( 50.0%)
小児科系	14( 2.7%)	7( 1.5%)	0( -)	0( -)	6( 16.2%)	0( -)	0( -)	1( 10.0%)
その他	8( 1.5%)	8( 1.7%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	525	473	0	2	37	3	0	10

\*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
	その他
神経科	
精神科	
放射線科	
総合診療部	
救急部	
救急・集中治療部	
集中治療部(ICU)	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)	
内視鏡科	
透析科	
理学療法・リハビリテーション科	
理学療法科	
リハビリテーション科	
麻酔科	
その他	

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心臓血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	小児科系
泌尿器科	
皮膚・泌尿器科	
皮膚科	
脳神経外科	
形成外科	
歯科口腔外科	
歯科	
小児歯科	
矯正歯科	
口腔外科	
手術部	
移植・人工臓器科	
小児科	
新生児科	
新生児集中治療部(NICU)	
周産期センター	

# 資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

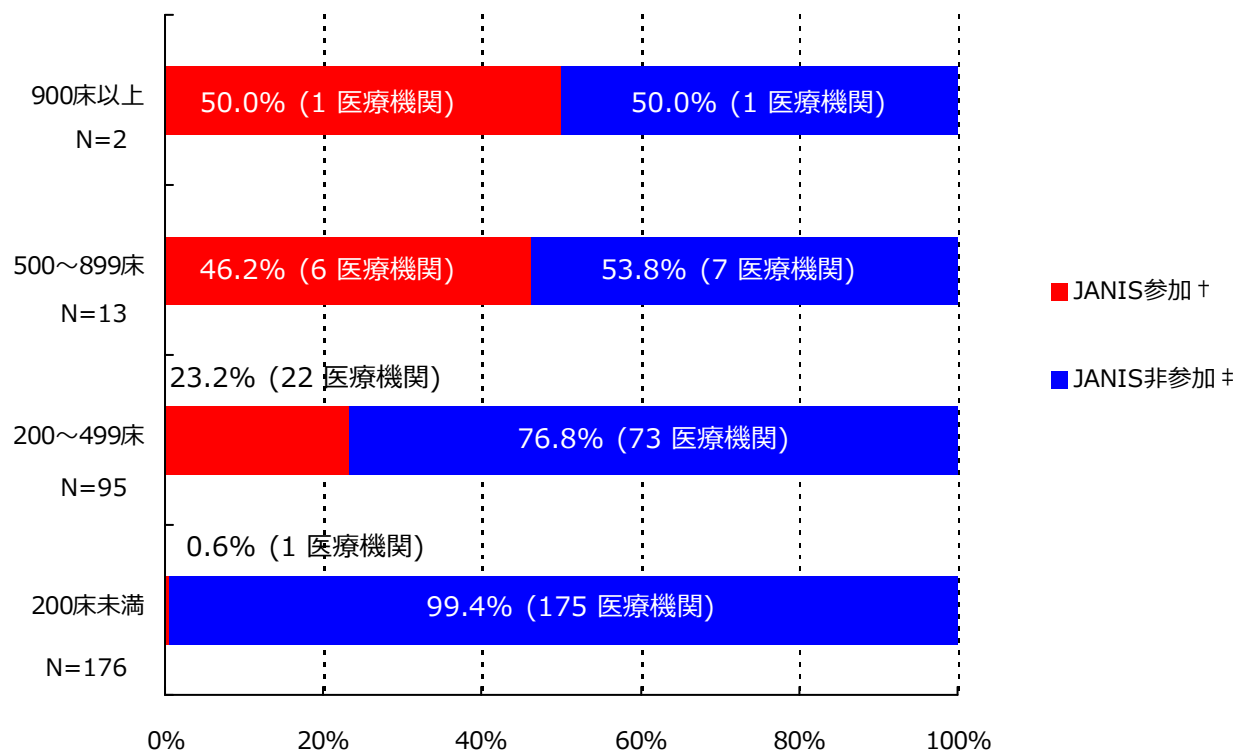
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	MPIPC $\leq$ 10mm または CFX $\leq$ 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml +	VCM $\leq$ 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 $\mu$ g/ml +	MPIPC $\leq$ 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 $\leq$ 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml + AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/ml + NFLX $\geq$ 16 $\mu$ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX $\geq$ 8 $\mu$ g/ml CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	IPM・MEPM $\leq$ 13mm + AMK $\leq$ 14mm NFLX・OFLX $\leq$ 12mm LVFX $\leq$ 13mm、LFLX $\leq$ 18mm CPFX $\leq$ 15mm、GFLX $\leq$ 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/ml + LVFX・GFLX $\geq$ 8 $\mu$ g/ml CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	IPM・MEPM $\leq$ 13mm AMK $\leq$ 14mm LVFX $\leq$ 13mm、GFLX $\leq$ 14mm CPFX $\leq$ 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 $\mu$ g/ml + IPM $\geq$ 2 $\mu$ g/ml + かつ CMZ $\geq$ 64 $\mu$ g/ml	MEPM $\leq$ 22mm IPM $\leq$ 22mm、かつ CMZ $\leq$ 12mm

\* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生动向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

## 1. データ提出医療機関\*数(30医療機関)



\*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2017年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2016年 都道府県別医療機関数¶) - (2017年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2016年 都道府県別医療機関数¶	2017年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	2	1 ( 50%)
500～899床	13	6 ( 46.2%)
200～499床	95	22 ( 23.2%)
200床未満	176	1 ( 0.6%)
病床数不明	-	0 ( -)
合計	286	30 ( 10.5%)

¶平成28年医療施設（動態）調査を参照した。

(千葉県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

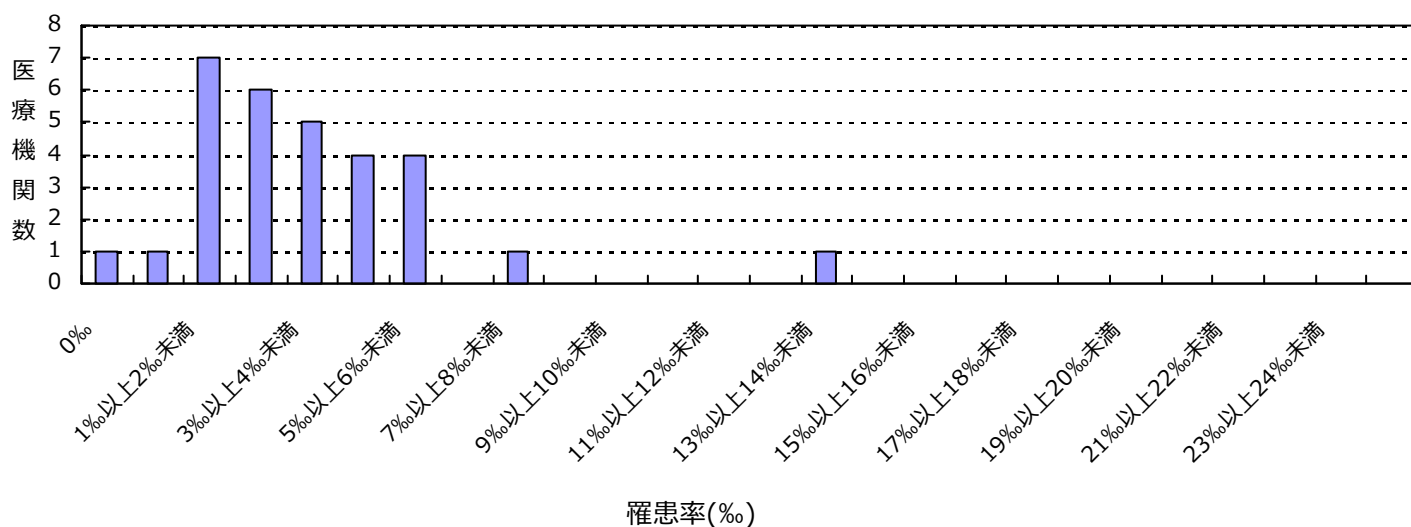


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
MRSA	243,475	10	735	3.02‰	0.00 2.93 13.49  -----

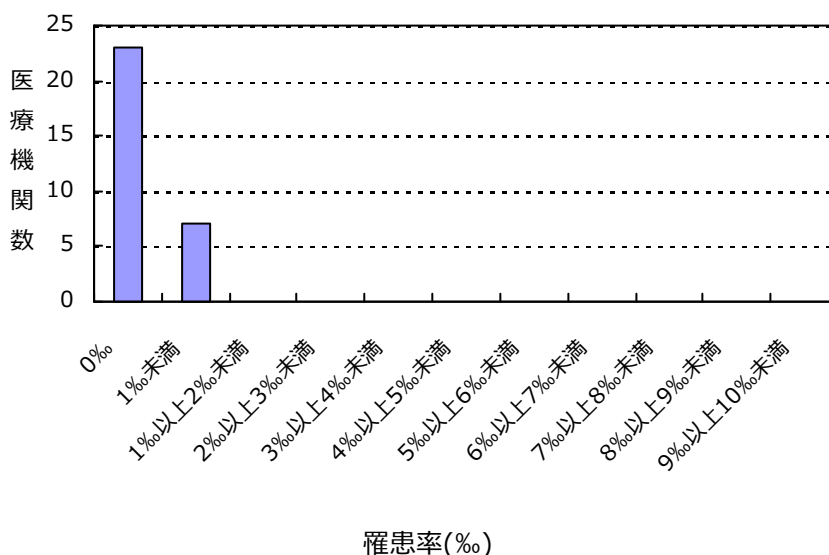
集計対象医療機関の罹患率(N=30)



### ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
PRSP	243,475	0	40	0.16‰	0.00 0.00 0.86  -----

集計対象医療機関の罹患率(N=30)



(千葉県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

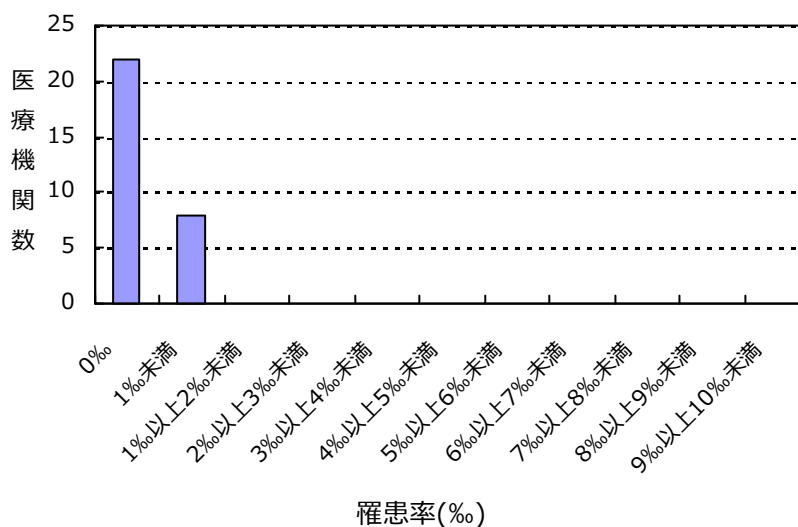


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### 多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
MDRP	243,475	0	11	0.05%	0.00 0.00 0.20

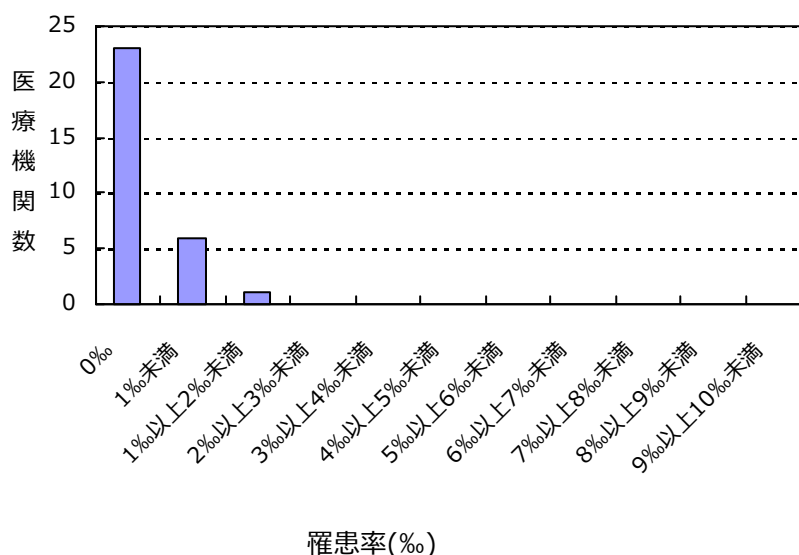
集計対象医療機関の罹患率(N=30)



### カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
CRE	243,475	0	33	0.14%	0.00 0.00 1.28

集計対象医療機関の罹患率(N=30)





(千葉県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



## 2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

### 総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

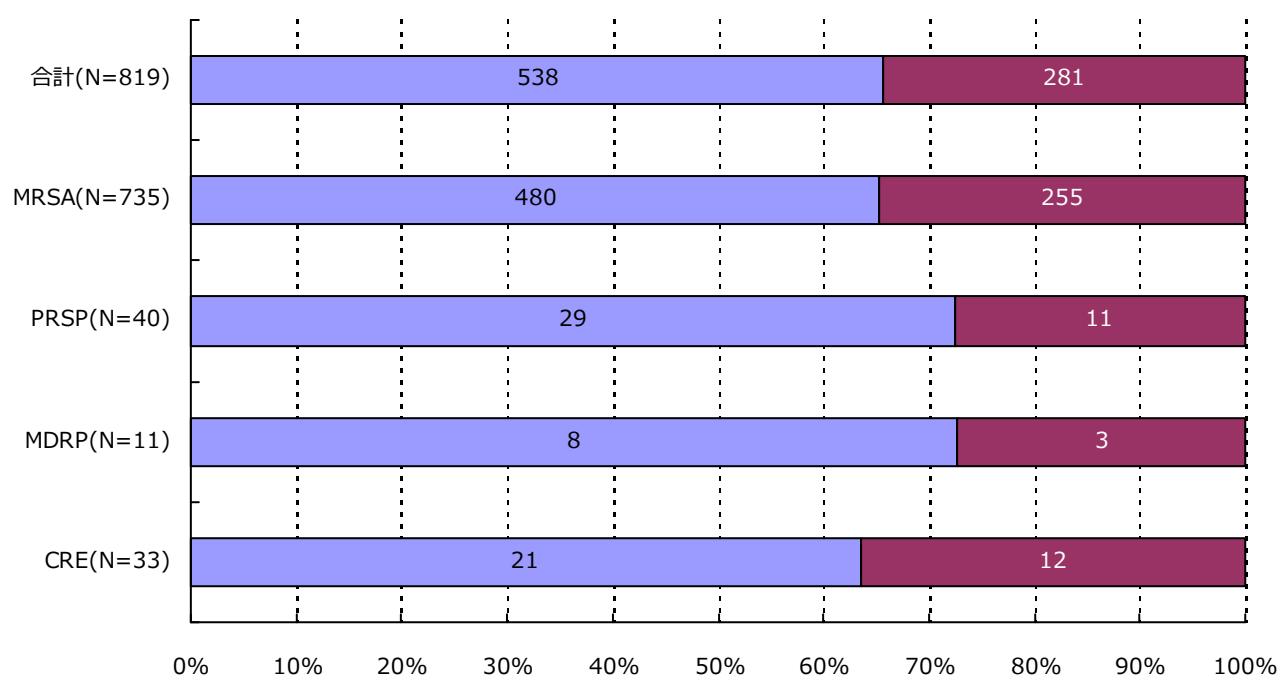
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

### 3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	538 ( 65.7% )	480 ( 65.3% )	0 ( - )	0 ( - )	29 ( 72.5% )	8 ( 72.7% )	0 ( - )	21 ( 63.6% )
女	281 ( 34.3% )	255 ( 34.7% )	0 ( - )	0 ( - )	11 ( 27.5% )	3 ( 27.3% )	0 ( - )	12 ( 36.4% )
合計	819	735	0	0	40	11	0	33

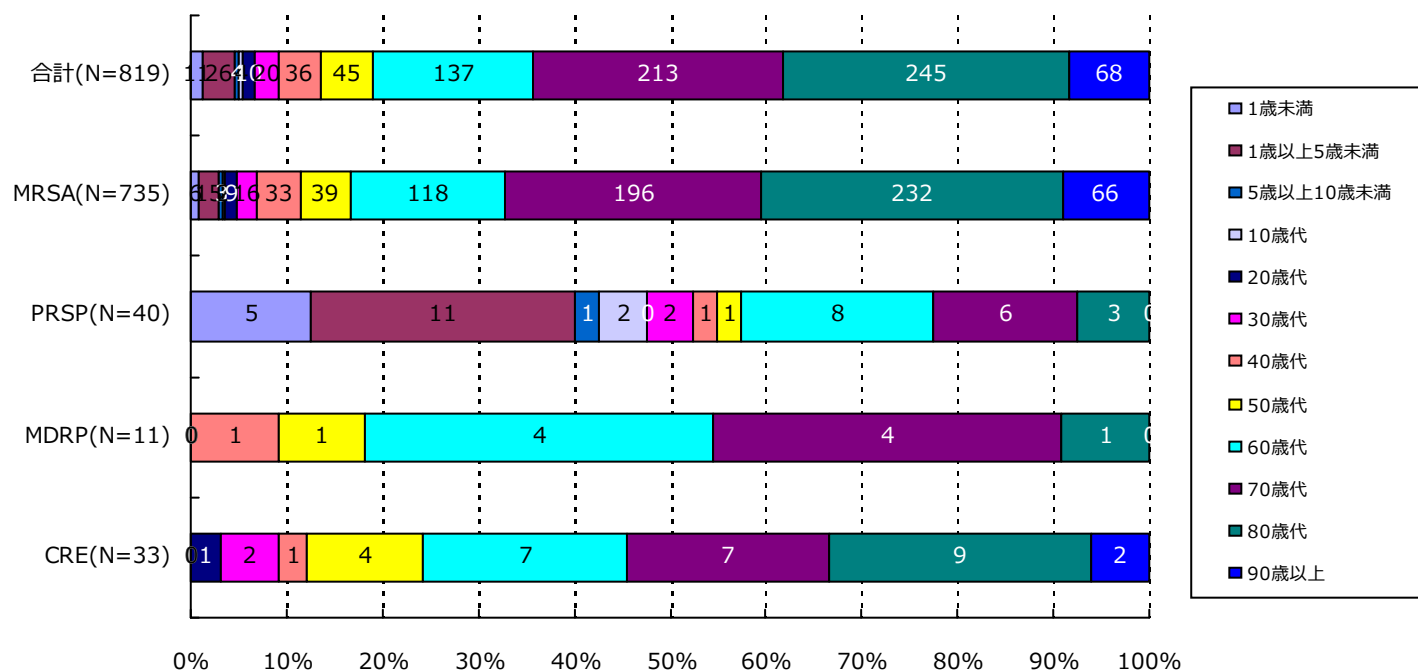
(千葉県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

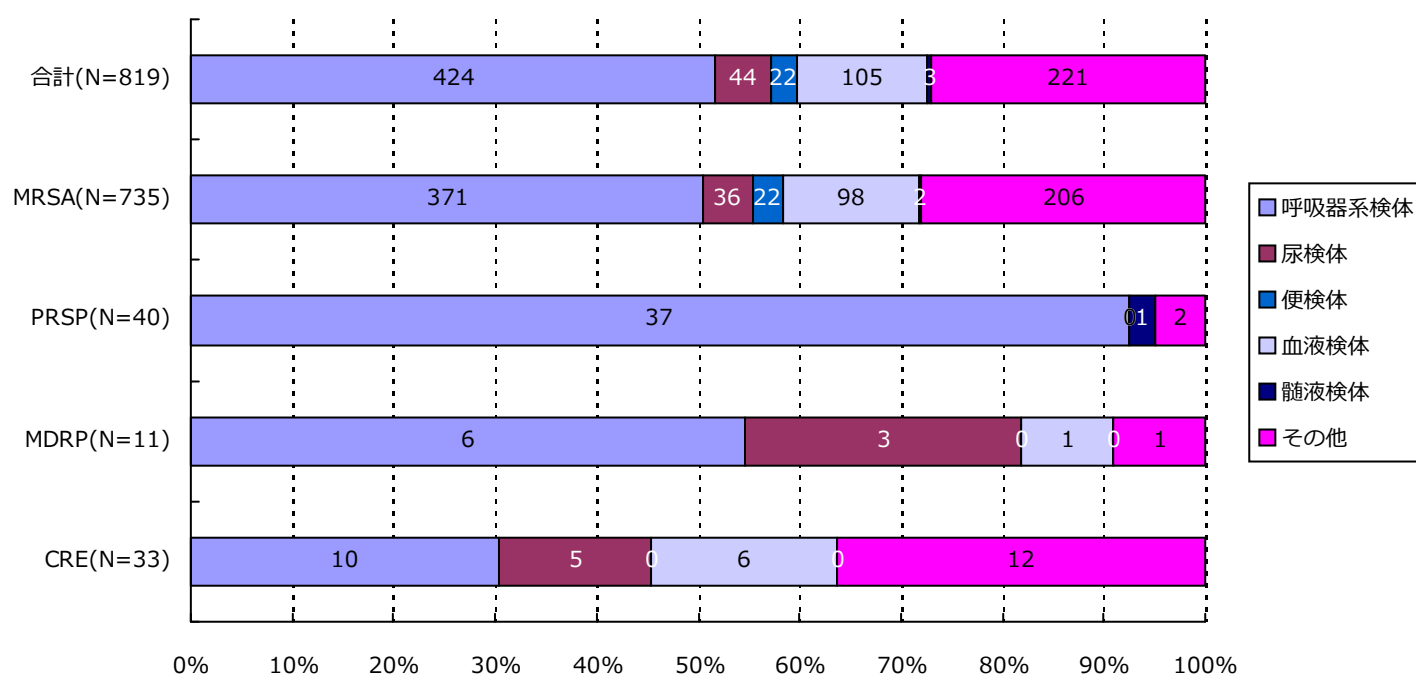


#### 4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	11( 1.3%)	6( 0.8%)	0( -)	0( -)	5( 12.5%)	0( -)	0( -)	0( -)
1歳以上5歳未満	26( 3.2%)	15( 2.0%)	0( -)	0( -)	11( 27.5%)	0( -)	0( -)	0( -)
5歳以上10歳未満	4( 0.5%)	3( 0.4%)	0( -)	0( -)	1( 2.5%)	0( -)	0( -)	0( -)
10歳代	4( 0.5%)	2( 0.3%)	0( -)	0( -)	2( 5.0%)	0( -)	0( -)	0( -)
20歳代	10( 1.2%)	9( 1.2%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 3.0%)
30歳代	20( 2.4%)	16( 2.2%)	0( -)	0( -)	2( 5.0%)	0( -)	0( -)	2( 6.1%)
40歳代	36( 4.4%)	33( 4.5%)	0( -)	0( -)	1( 2.5%)	1( 9.1%)	0( -)	1( 3.0%)
50歳代	45( 5.5%)	39( 5.3%)	0( -)	0( -)	1( 2.5%)	1( 9.1%)	0( -)	4( 12.1%)
60歳代	137( 16.7%)	118( 16.1%)	0( -)	0( -)	8( 20.0%)	4( 36.4%)	0( -)	7( 21.2%)
70歳代	213( 26.0%)	196( 26.7%)	0( -)	0( -)	6( 15.0%)	4( 36.4%)	0( -)	7( 21.2%)
80歳代	245( 29.9%)	232( 31.6%)	0( -)	0( -)	3( 7.5%)	1( 9.1%)	0( -)	9( 27.3%)
90歳以上	68( 8.3%)	66( 9.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 6.1%)
合計	819	735	0	0	40	11	0	33

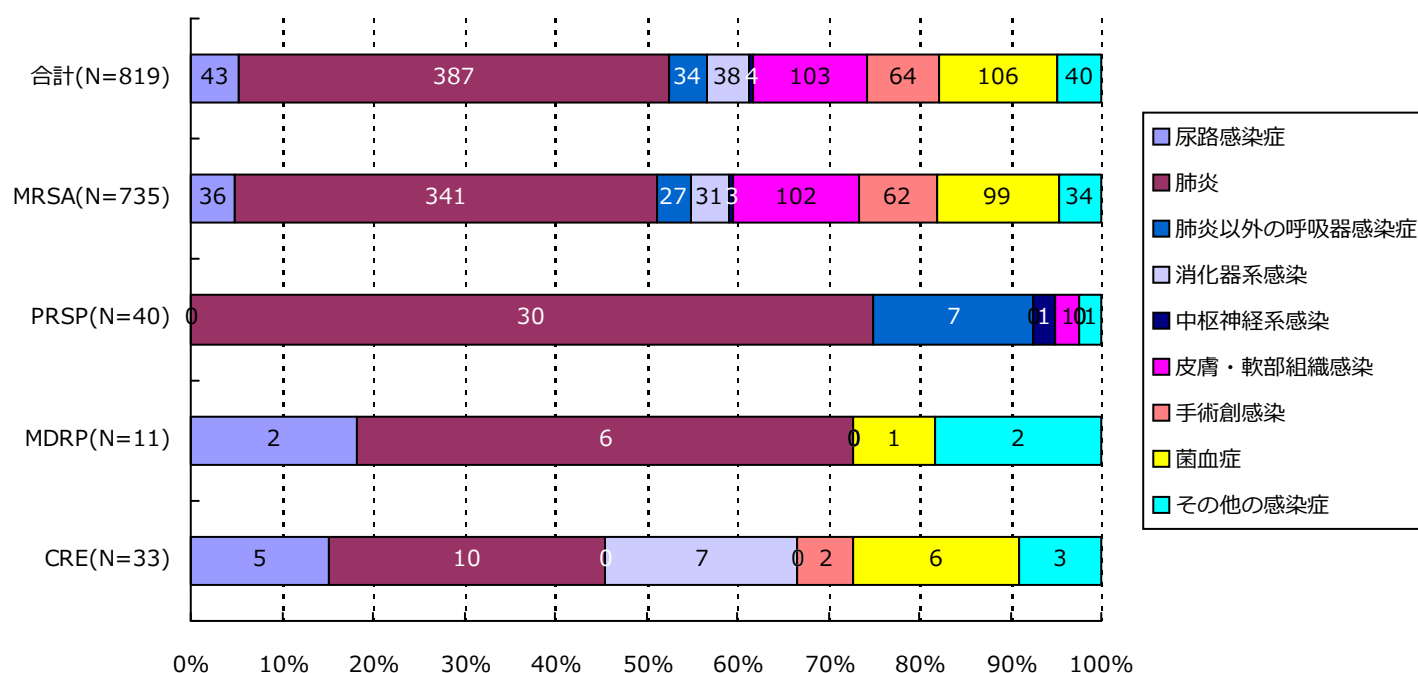
## 5. 耐性菌新規感染症患者の検体\*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	424( 51.8%)	371( 50.5%)	0( -)	0( -)	37( 92.5%)	6( 54.5%)	0( -)	10( 30.3%)
尿検体	44( 5.4%)	36( 4.9%)	0( -)	0( -)	0( -)	3( 27.3%)	0( -)	5( 15.2%)
便検体	22( 2.7%)	22( 3.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
血液検体	105( 12.8%)	98( 13.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 9.1%)	0( -)	6( 18.2%)
髄液検体	3( 0.4%)	2( 0.3%)	0( -)	0( -)	1( 2.5%)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	221( 27.0%)	206( 28.0%)	0( -)	0( -)	2( 5.0%)	1( 9.1%)	0( -)	12( 36.4%)
合計	819	735	0	0	40	11	0	33

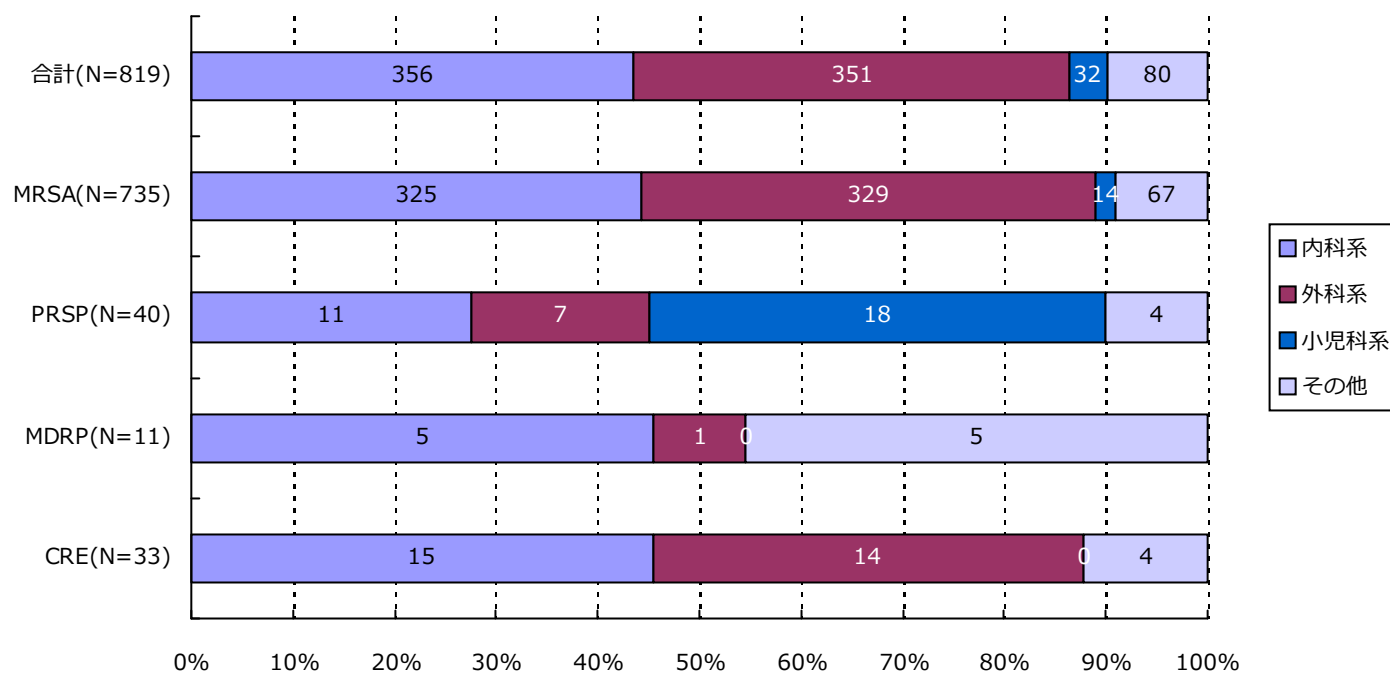
\*検体区分については巻末の資料 1 を参照

## 6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	43( 5.3%)	36( 4.9%)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 18.2%)	0( -)	5( 15.2%)
肺炎	387( 47.3%)	341( 46.4%)	0( -)	0( -)	30( 75.0%)	6( 54.5%)	0( -)	10( 30.3%)
肺炎以外	34( 4.2%)	27( 3.7%)	0( -)	0( -)	7( 17.5%)	0( -)	0( -)	0( -)
消化器系	38( 4.6%)	31( 4.2%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	7( 21.2%)
中枢神経系	4( 0.5%)	3( 0.4%)	0( -)	0( -)	1( 2.5%)	0( -)	0( -)	0( -)
皮膚・軟部	103( 12.6%)	102( 13.9%)	0( -)	0( -)	1( 2.5%)	0( -)	0( -)	0( -)
手術創	64( 7.8%)	62( 8.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 6.1%)
菌血症	106( 12.9%)	99( 13.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 9.1%)	0( -)	6( 18.2%)
その他	40( 4.9%)	34( 4.6%)	0( -)	0( -)	1( 2.5%)	2( 18.2%)	0( -)	3( 9.1%)
合計	819	735	0	0	40	11	0	33

## 7. 耐性菌新規感染症患者の診療科\*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	356( 43.5%)	325( 44.2%)	0( -)	0( -)	11( 27.5%)	5( 45.5%)	0( -)	15( 45.5%)
外科系	351( 42.9%)	329( 44.8%)	0( -)	0( -)	7( 17.5%)	1( 9.1%)	0( -)	14( 42.4%)
小児科系	32( 3.9%)	14( 1.9%)	0( -)	0( -)	18( 45.0%)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	80( 9.8%)	67( 9.1%)	0( -)	0( -)	4( 10.0%)	5( 45.5%)	0( -)	4( 12.1%)
合計	819	735	0	0	40	11	0	33

\*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
	その他
神経科	
精神科	
放射線科	
総合診療部	
救急部	
救急・集中治療部	
集中治療部(ICU)	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)	
内視鏡科	
透析科	
理学療法・リハビリテーション科	
理学療法科	
リハビリテーション科	
麻酔科	
その他	

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心臓血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	小児科系
泌尿器科	
皮膚・泌尿器科	
皮膚科	
脳神経外科	
形成外科	
歯科口腔外科	
歯科	
小児歯科	
矯正歯科	
口腔外科	
手術部	
移植・人工臓器科	
小児科	
新生児科	
新生児集中治療部(NICU)	
周産期センター	

# 資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	MPIPC $\leq$ 10mm または CFX $\leq$ 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml +	VCM $\leq$ 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 $\mu$ g/ml +	MPIPC $\leq$ 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 $\leq$ 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml + AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/ml + NFLX $\geq$ 16 $\mu$ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX $\geq$ 8 $\mu$ g/ml CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	IPM・MEPM $\leq$ 13mm + AMK $\leq$ 14mm NFLX・OFLX $\leq$ 12mm LVFX $\leq$ 13mm、LFLX $\leq$ 18mm CPFX $\leq$ 15mm、GFLX $\leq$ 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/ml + LVFX・GFLX $\geq$ 8 $\mu$ g/ml CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	IPM・MEPM $\leq$ 13mm AMK $\leq$ 14mm LVFX $\leq$ 13mm、GFLX $\leq$ 14mm CPFX $\leq$ 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 $\mu$ g/ml + IPM $\geq$ 2 $\mu$ g/ml + かつ CMZ $\geq$ 64 $\mu$ g/ml	MEPM $\leq$ 22mm IPM $\leq$ 22mm、かつ CMZ $\leq$ 12mm

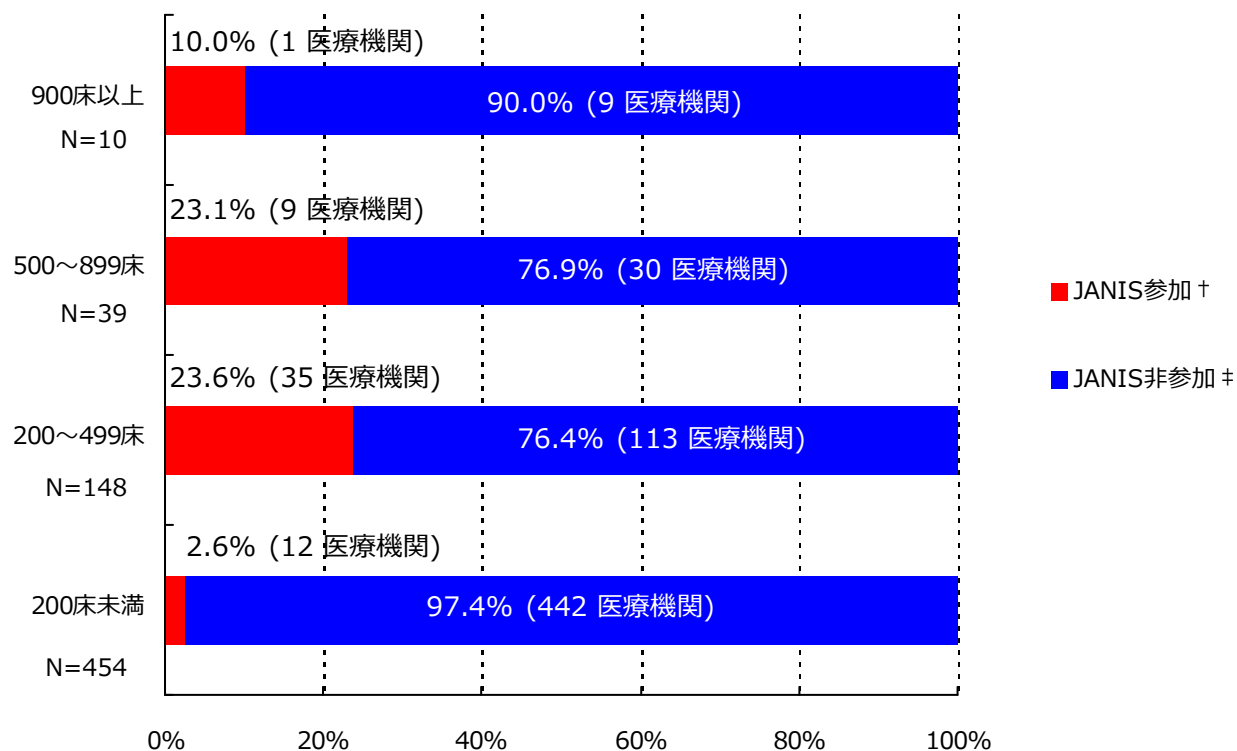
\* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生動向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用



## 1. データ提出医療機関\*数(57医療機関)



\*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2017年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2016年 都道府県別医療機関数¶) - (2017年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2016年 都道府県別医療機関数¶	2017年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	10	1 ( 10%)
500～899床	39	9 ( 23.1%)
200～499床	148	35 ( 23.6%)
200床未満	454	12 ( 2.6%)
病床数不明	-	0 ( -)
合計	651	57 ( 8.8%)

¶平成28年医療施設（動態）調査を参照した。

(東京都)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)  
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

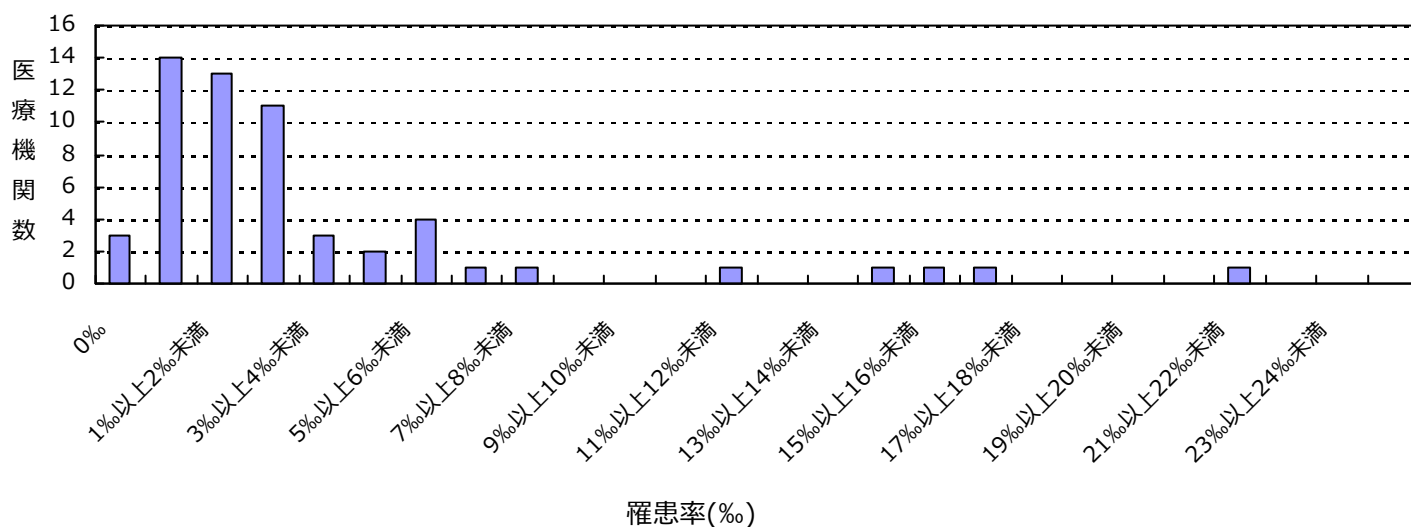


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	448,265	18	1,144	2.55%	0.00 1.82 21.94  -----

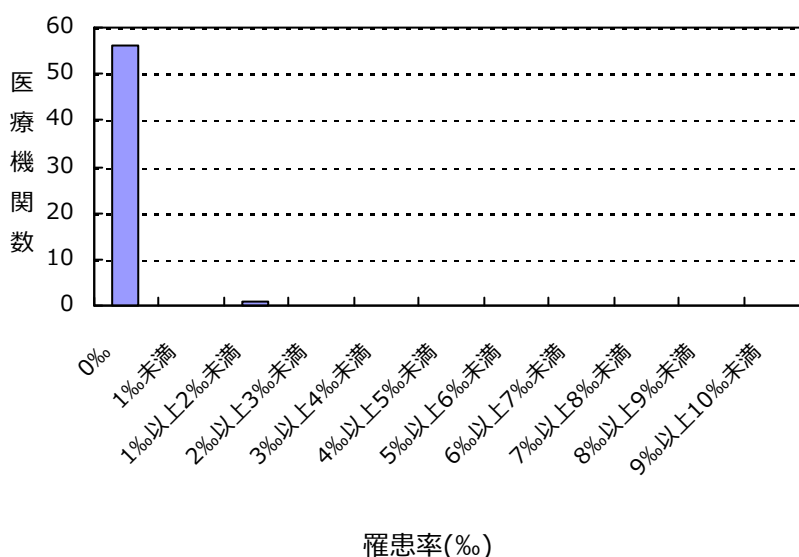
集計対象医療機関の罹患率(N=57)



### バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
VRE	448,265	0	2	0.00%	0.00 0.00 1.28  -----

集計対象医療機関の罹患率(N=57)



(東京都)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

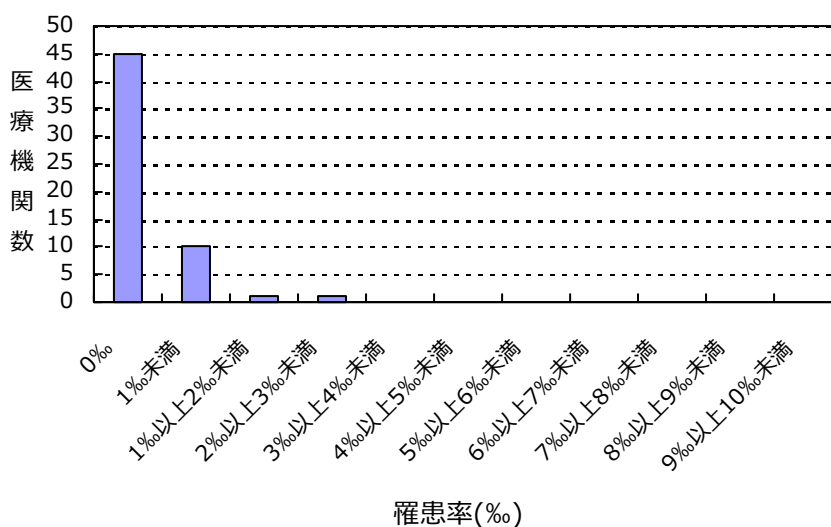


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
PRSP	448,265	0	51	0.11‰	0.00 0.00 2.30  -----

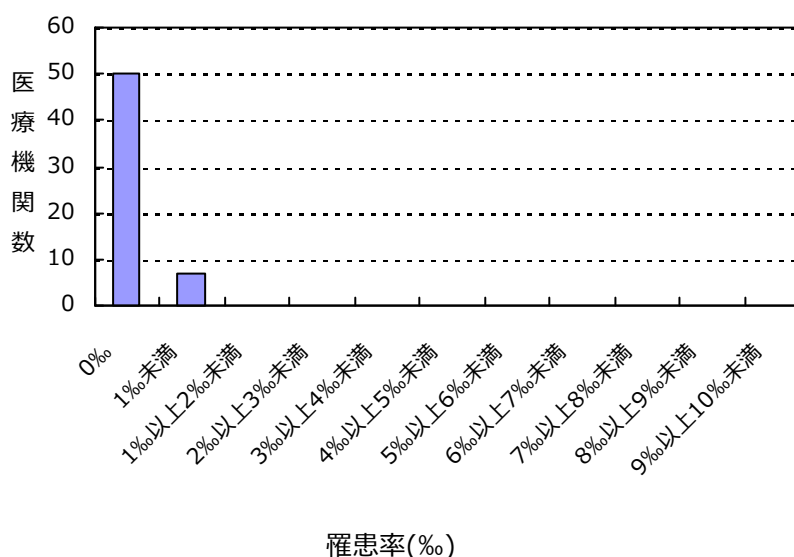
集計対象医療機関の罹患率(N=57)



### 多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
MDRP	448,265	0	8	0.02‰	0.00 0.00 0.15  -----

集計対象医療機関の罹患率(N=57)



(東京都)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

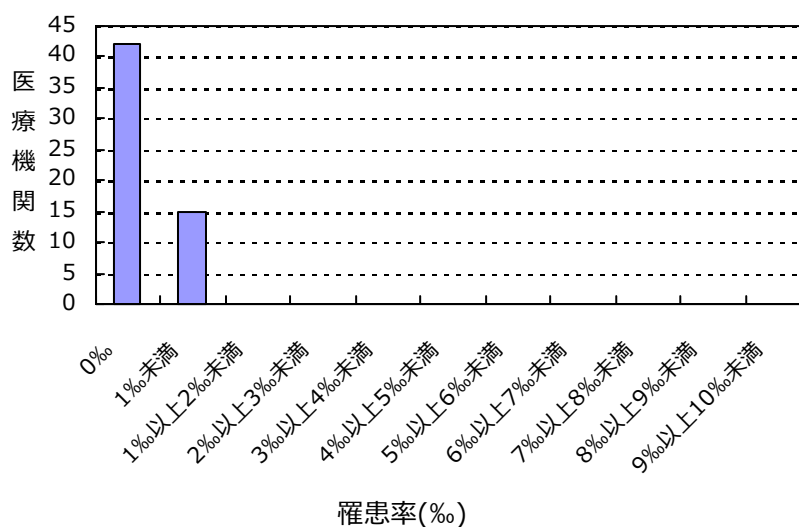


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
CRE	448,265	0	44	0.10‰	0.00 0.00 0.82

集計対象医療機関の罹患率(N=57)



(東京都)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



## 2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

### 総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

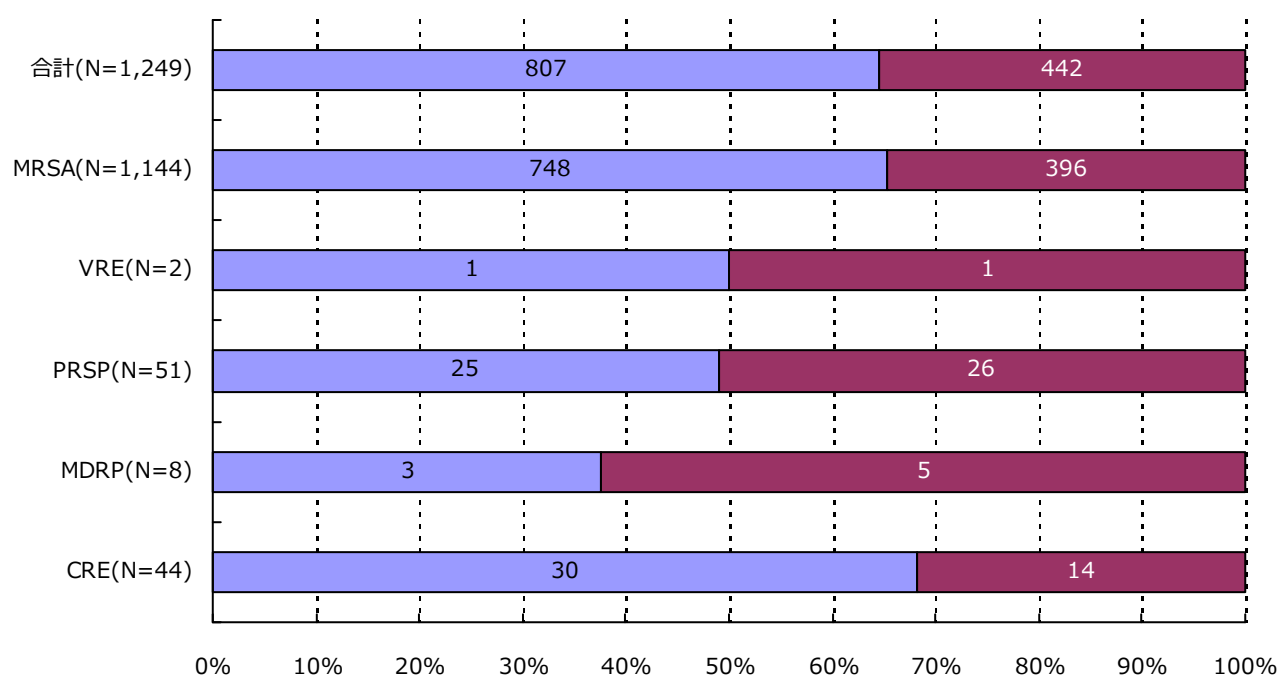
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

### 3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	807 ( 64.6% )	748 ( 65.4% )	0 ( - )	1 ( 50.0% )	25 ( 49.0% )	3 ( 37.5% )	0 ( - )	30 ( 68.2% )
女	442 ( 35.4% )	396 ( 34.6% )	0 ( - )	1 ( 50.0% )	26 ( 51.0% )	5 ( 62.5% )	0 ( - )	14 ( 31.8% )
合計	1,249	1,144	0	2	51	8	0	44

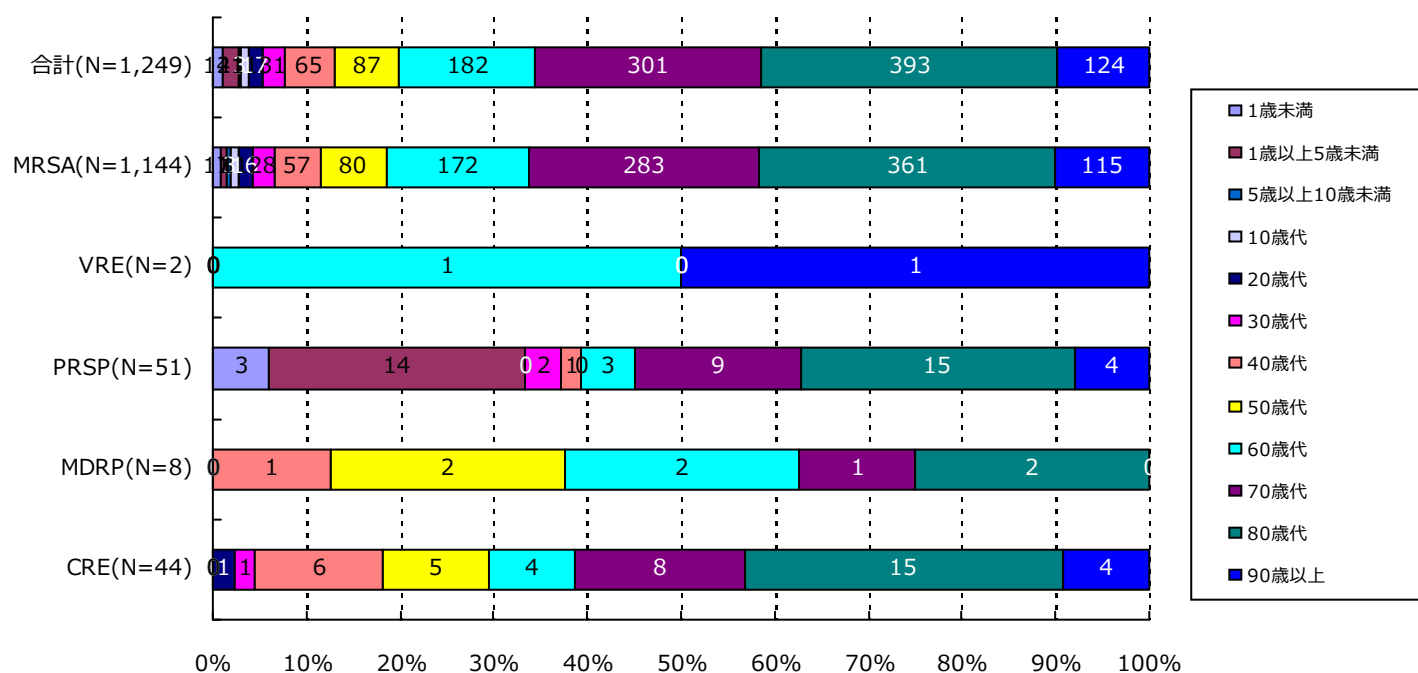
(東京都)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

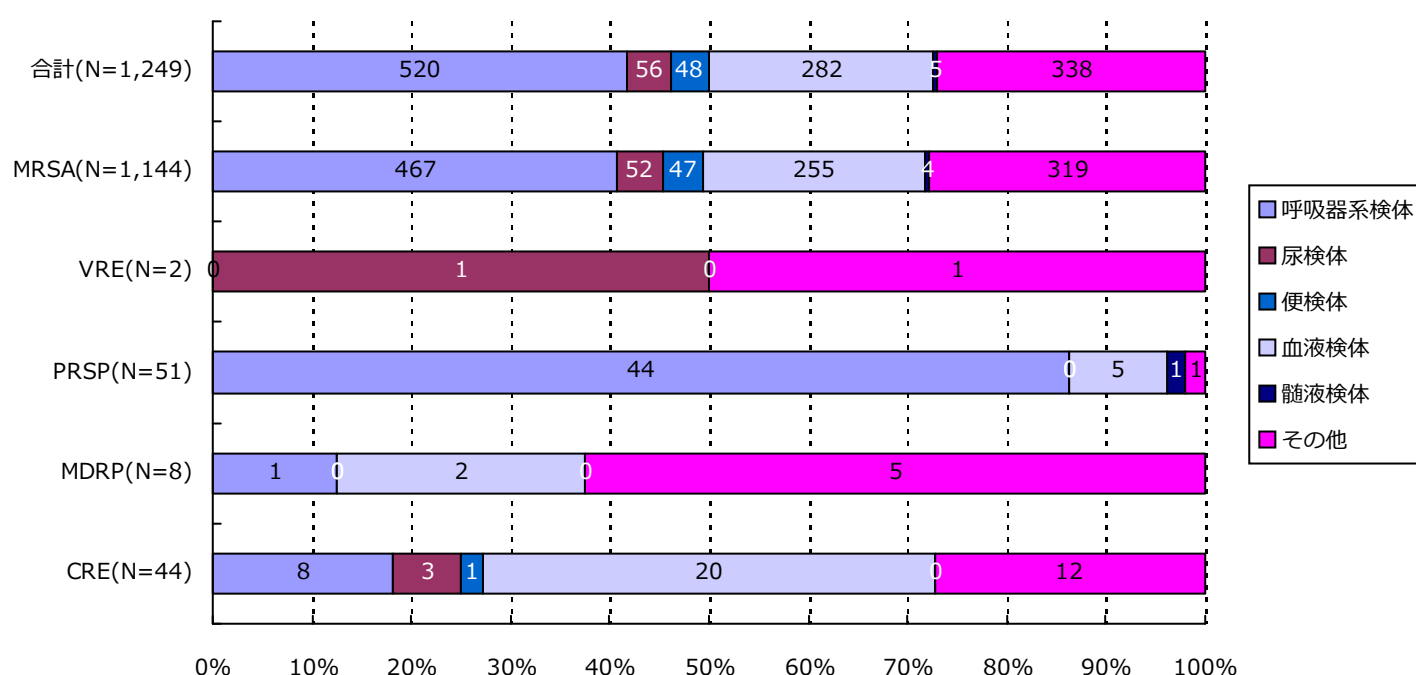


#### 4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	14( 1.1%)	11( 1.0%)	0( -)	0( -)	3( 5.9%)	0( -)	0( -)	0( -)
1歳以上5歳未満	21( 1.7%)	7( 0.6%)	0( -)	0( -)	14( 27.5%)	0( -)	0( -)	0( -)
5歳以上10歳未満	3( 0.2%)	3( 0.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
10歳代	11( 0.9%)	11( 1.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
20歳代	17( 1.4%)	16( 1.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 2.3%)
30歳代	31( 2.5%)	28( 2.4%)	0( -)	0( -)	2( 3.9%)	0( -)	0( -)	1( 2.3%)
40歳代	65( 5.2%)	57( 5.0%)	0( -)	0( -)	1( 2.0%)	1( 12.5%)	0( -)	6( 13.6%)
50歳代	87( 7.0%)	80( 7.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 25.0%)	0( -)	5( 11.4%)
60歳代	182( 14.6%)	172( 15.0%)	0( -)	1( 50.0%)	3( 5.9%)	2( 25.0%)	0( -)	4( 9.1%)
70歳代	301( 24.1%)	283( 24.7%)	0( -)	0( -)	9( 17.6%)	1( 12.5%)	0( -)	8( 18.2%)
80歳代	393( 31.5%)	361( 31.6%)	0( -)	0( -)	15( 29.4%)	2( 25.0%)	0( -)	15( 34.1%)
90歳以上	124( 9.9%)	115( 10.1%)	0( -)	1( 50.0%)	4( 7.8%)	0( -)	0( -)	4( 9.1%)
合計	1,249	1,144	0	2	51	8	0	44

## 5. 耐性菌新規感染症患者の検体\*内訳

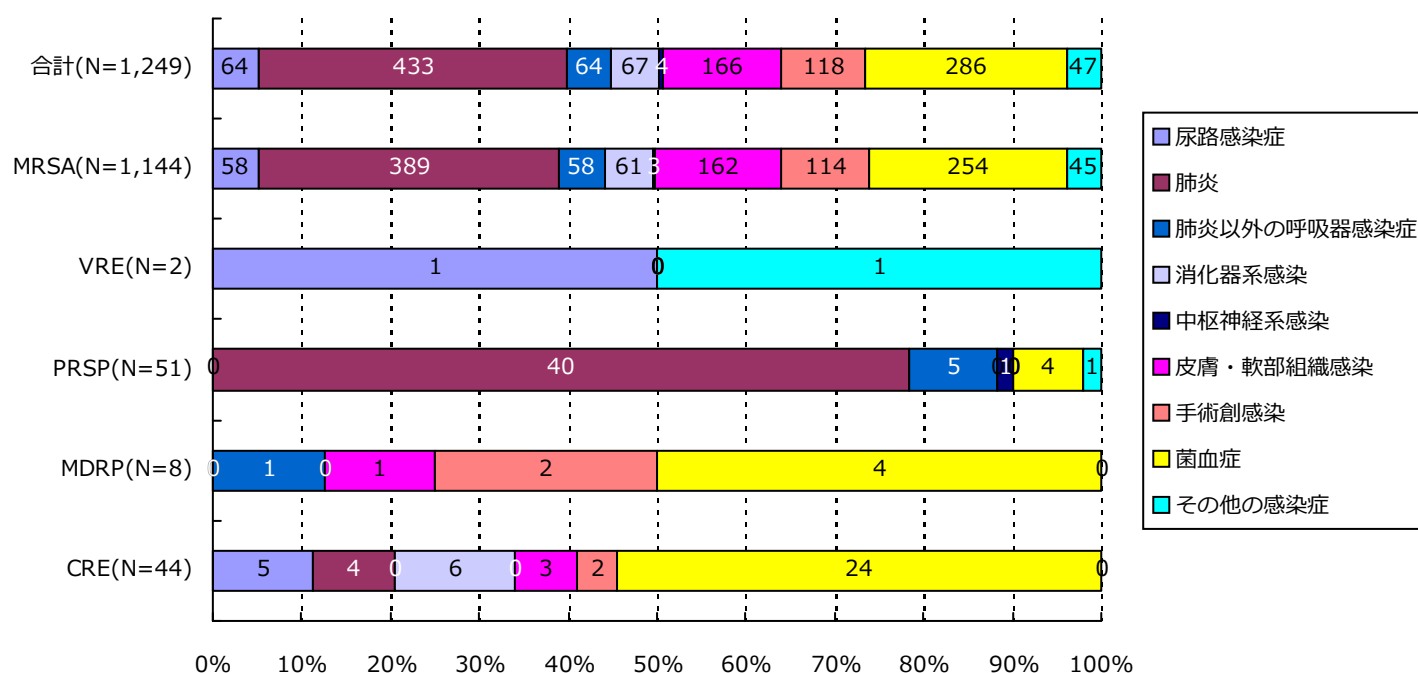


分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	520( 41.6%)	467( 40.8%)	0( -)	0( -)	44( 86.3%)	1( 12.5%)	0( -)	8( 18.2%)
尿検体	56( 4.5%)	52( 4.5%)	0( -)	1( 50.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	3( 6.8%)
便検体	48( 3.8%)	47( 4.1%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 2.3%)
血液検体	282( 22.6%)	255( 22.3%)	0( -)	0( -)	5( 9.8%)	2( 25.0%)	0( -)	20( 45.5%)
髄液検体	5( 0.4%)	4( 0.3%)	0( -)	0( -)	1( 2.0%)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	338( 27.1%)	319( 27.9%)	0( -)	1( 50.0%)	1( 2.0%)	5( 62.5%)	0( -)	12( 27.3%)
合計	1,249	1,144	0	2	51	8	0	44

\*検体区分については巻末の資料 1 を参照

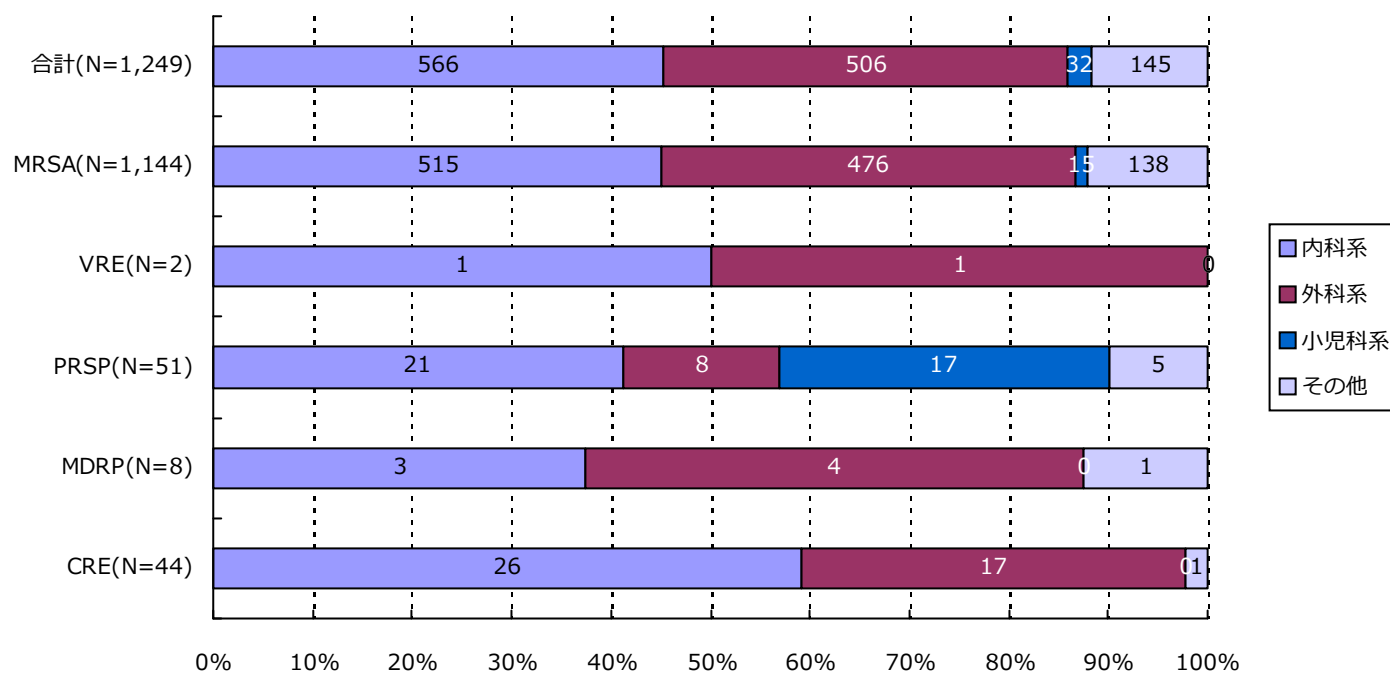


## 6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	64( 5.1%)	58( 5.1%)	0( -)	1( 50.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	5( 11.4%)
肺炎	433( 34.7%)	389( 34.0%)	0( -)	0( -)	40( 78.4%)	0( -)	0( -)	4( 9.1%)
肺炎以外	64( 5.1%)	58( 5.1%)	0( -)	0( -)	5( 9.8%)	1( 12.5%)	0( -)	0( -)
消化器系	67( 5.4%)	61( 5.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	6( 13.6%)
中枢神経系	4( 0.3%)	3( 0.3%)	0( -)	0( -)	1( 2.0%)	0( -)	0( -)	0( -)
皮膚・軟部	166( 13.3%)	162( 14.2%)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 12.5%)	0( -)	3( 6.8%)
手術創	118( 9.4%)	114( 10.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 25.0%)	0( -)	2( 4.5%)
菌血症	286( 22.9%)	254( 22.2%)	0( -)	0( -)	4( 7.8%)	4( 50.0%)	0( -)	24( 54.5%)
その他	47( 3.8%)	45( 3.9%)	0( -)	1( 50.0%)	1( 2.0%)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	1,249	1,144	0	2	51	8	0	44

## 7. 耐性菌新規感染症患者の診療科\*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	566( 45.3%)	515( 45.0%)	0( -)	1( 50.0%)	21( 41.2%)	3( 37.5%)	0( -)	26( 59.1%)
外科系	506( 40.5%)	476( 41.6%)	0( -)	1( 50.0%)	8( 15.7%)	4( 50.0%)	0( -)	17( 38.6%)
小児科系	32( 2.6%)	15( 1.3%)	0( -)	0( -)	17( 33.3%)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	145( 11.6%)	138( 12.1%)	0( -)	0( -)	5( 9.8%)	1( 12.5%)	0( -)	1( 2.3%)
合計	1,249	1,144	0	2	51	8	0	44

\*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科
	循環器内科		消化器外科
	神経内科		肛門科
	呼吸器内科		肝胆脾外科
	消化器内科		心臓血管外科
	胃腸科		内分泌外科
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科
	腎臓内科		小児外科
	糖尿病内科		小児循環器外科
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科
	膠原病内科		産婦人科
	アレルギー内科		産科
	リウマチ内科		婦人科
	血液内科		整形外科
	感染症内科		美容外科
	その他		老人内科
心療内科		耳鼻咽喉科	
性病科		気管食道科	
神経科		泌尿器科	
精神科		皮膚・泌尿器科	
放射線科		皮膚科	
総合診療部		脳神経外科	
救急部		形成外科	
救急・集中治療部		歯科口腔外科	
集中治療部(ICU)		歯科	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		小児歯科	
内視鏡科		矯正歯科	
透析科		口腔外科	
理学療法・リハビリテーション科		手術部	
理学療法科		移植・人工臓器科	
		リハビリテーション科	小児科系
	麻酔科	新生児科	
	その他	新生児集中治療部(NICU)	
		周産期センター	

# ・資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

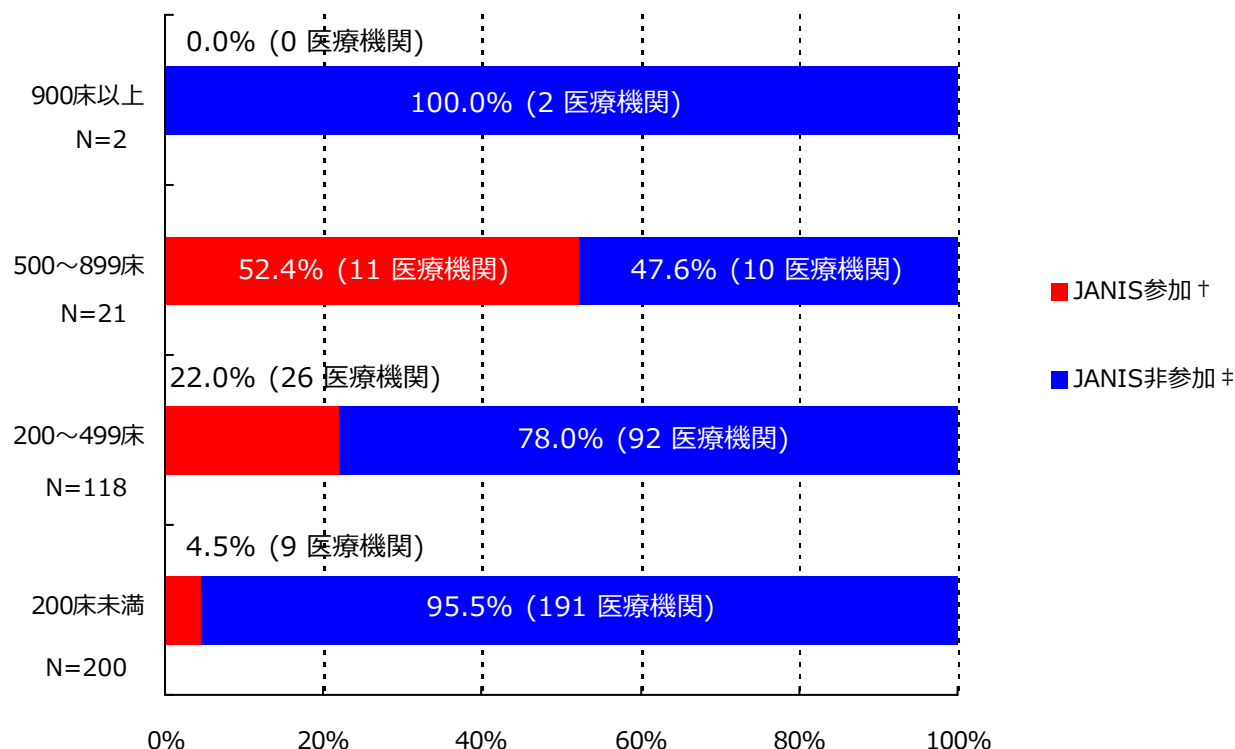
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	MPIPC $\leq$ 10mm または CFX $\leq$ 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml +	VCM $\leq$ 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 $\mu$ g/ml +	MPIPC $\leq$ 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 $\leq$ 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml + AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/ml + NFLX $\geq$ 16 $\mu$ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX $\geq$ 8 $\mu$ g/ml CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	IPM・MEPM $\leq$ 13mm + AMK $\leq$ 14mm NFLX・OFLX $\leq$ 12mm LVFX $\leq$ 13mm、LFLX $\leq$ 18mm CPFX $\leq$ 15mm、GFLX $\leq$ 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/ml + LVFX・GFLX $\geq$ 8 $\mu$ g/ml CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	IPM・MEPM $\leq$ 13mm AMK $\leq$ 14mm LVFX $\leq$ 13mm、GFLX $\leq$ 14mm CPFX $\leq$ 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 $\mu$ g/ml + IPM $\geq$ 2 $\mu$ g/ml + かつ CMZ $\geq$ 64 $\mu$ g/ml	MEPM $\leq$ 22mm IPM $\leq$ 22mm、かつ CMZ $\leq$ 12mm

\* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生動向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

## 1. データ提出医療機関\*数(46医療機関)



\*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2017年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2016年 都道府県別医療機関数¶) - (2017年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2016年 都道府県別医療機関数¶	2017年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	2	0 ( 0%)
500～899床	21	11 ( 52.4%)
200～499床	118	26 ( 22%)
200床未満	200	9 ( 4.5%)
病床数不明	-	0 ( -)
合計	341	46 ( 13.5%)

¶平成28年医療施設（動態）調査を参照した。

(神奈川県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)  
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

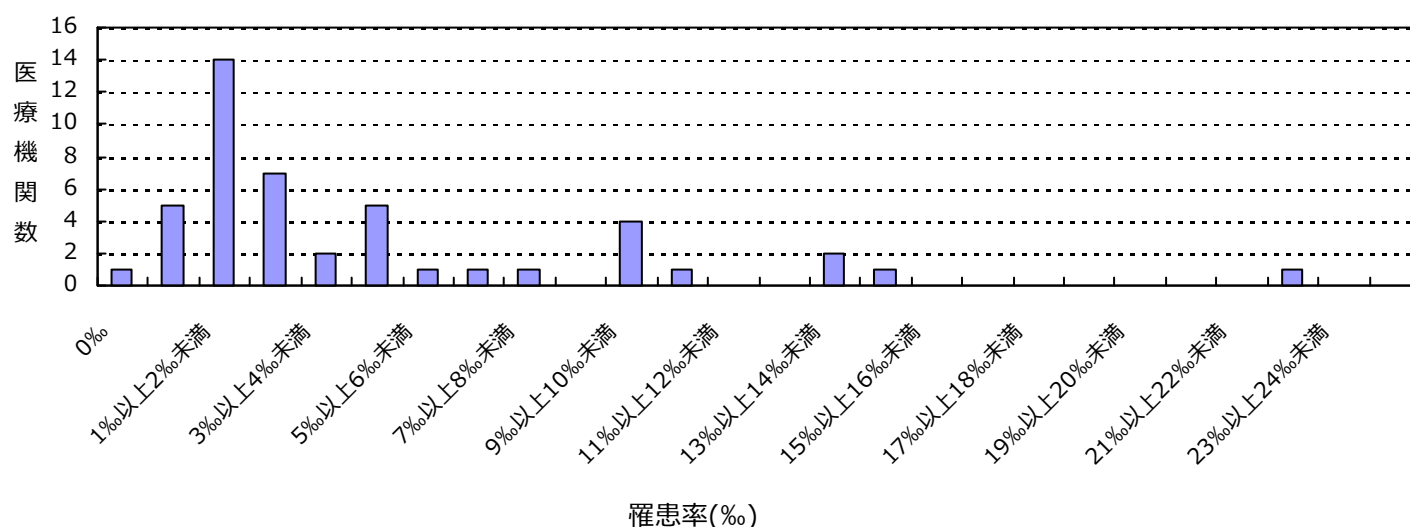


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	360,329	13	1,119	3.11%	0.00 2.20 22.96  -----

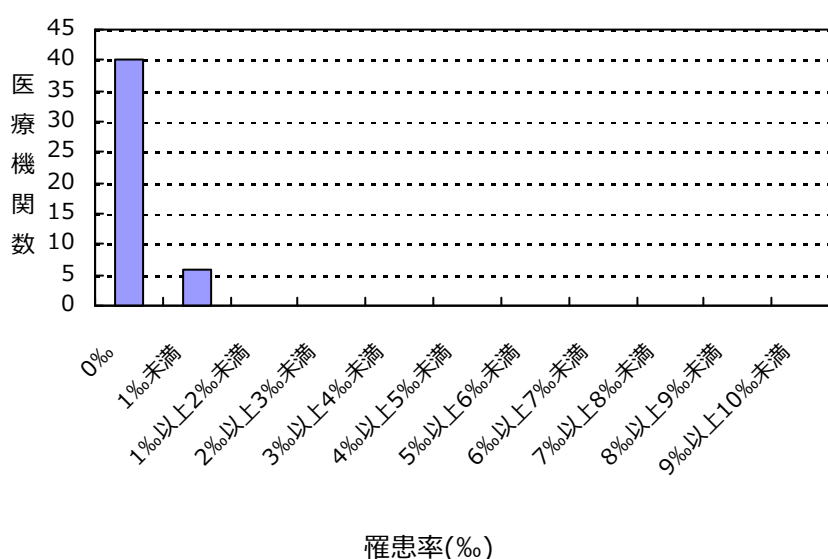
集計対象医療機関の罹患率(N=46)



### ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	360,329	0	10	0.03%	0.00 0.00 0.49  -----

集計対象医療機関の罹患率(N=46)



(神奈川県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

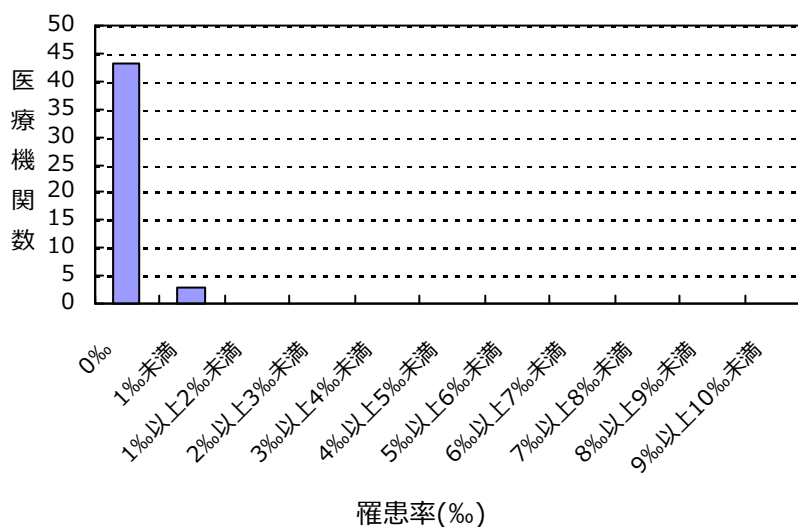


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### 多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
MDRP	360,329	0	3	0.01%	0.00 0.00 0.58

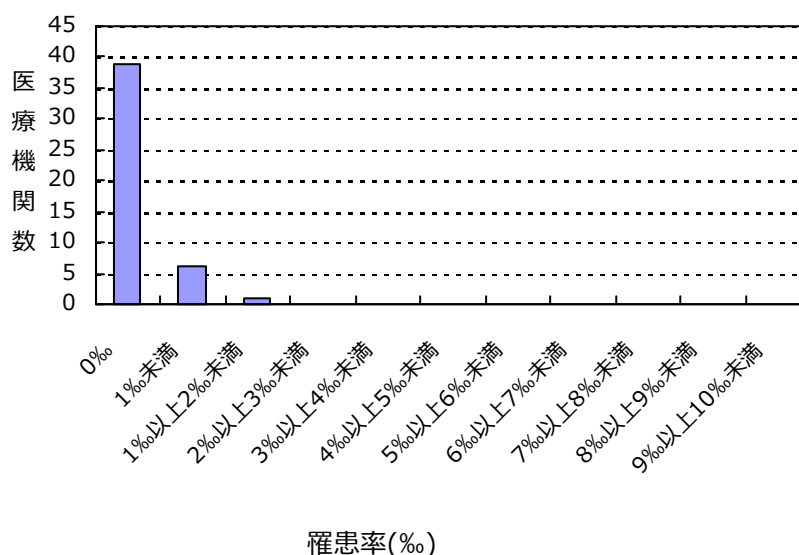
集計対象医療機関の罹患率(N=46)



### カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
CRE	360,329	0	30	0.08%	0.00 0.00 1.48

集計対象医療機関の罹患率(N=46)



(神奈川県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



## 2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

### 総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

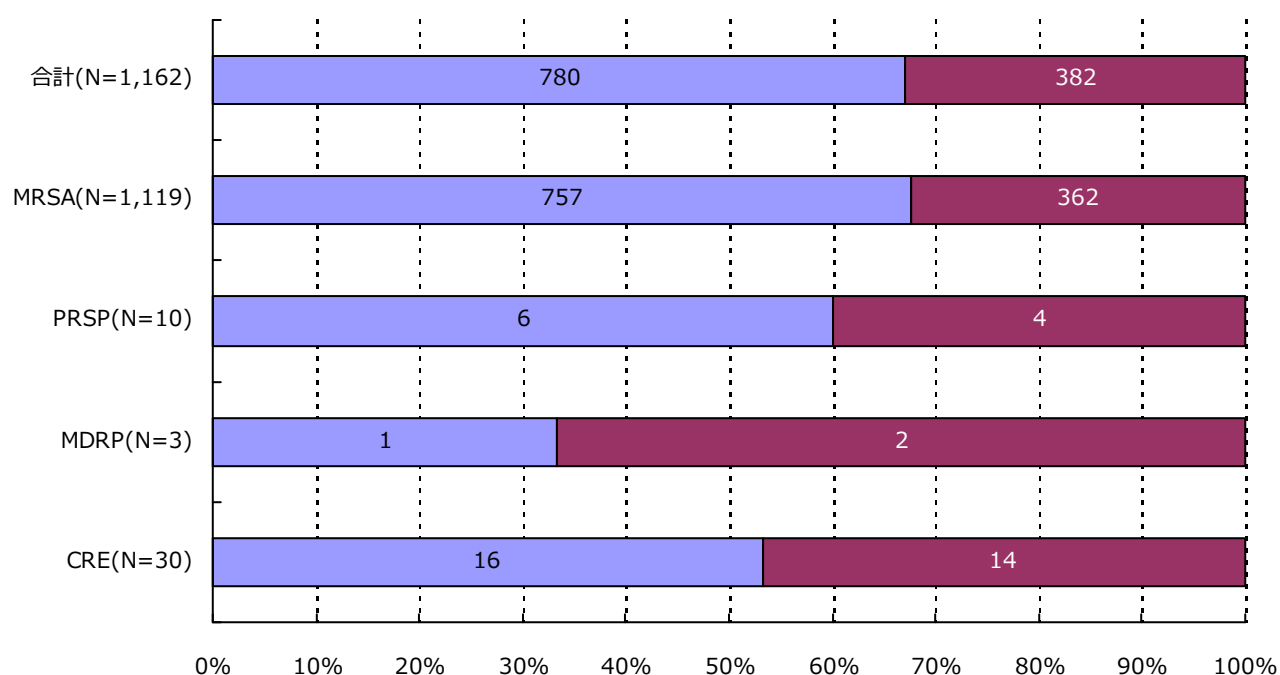
継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

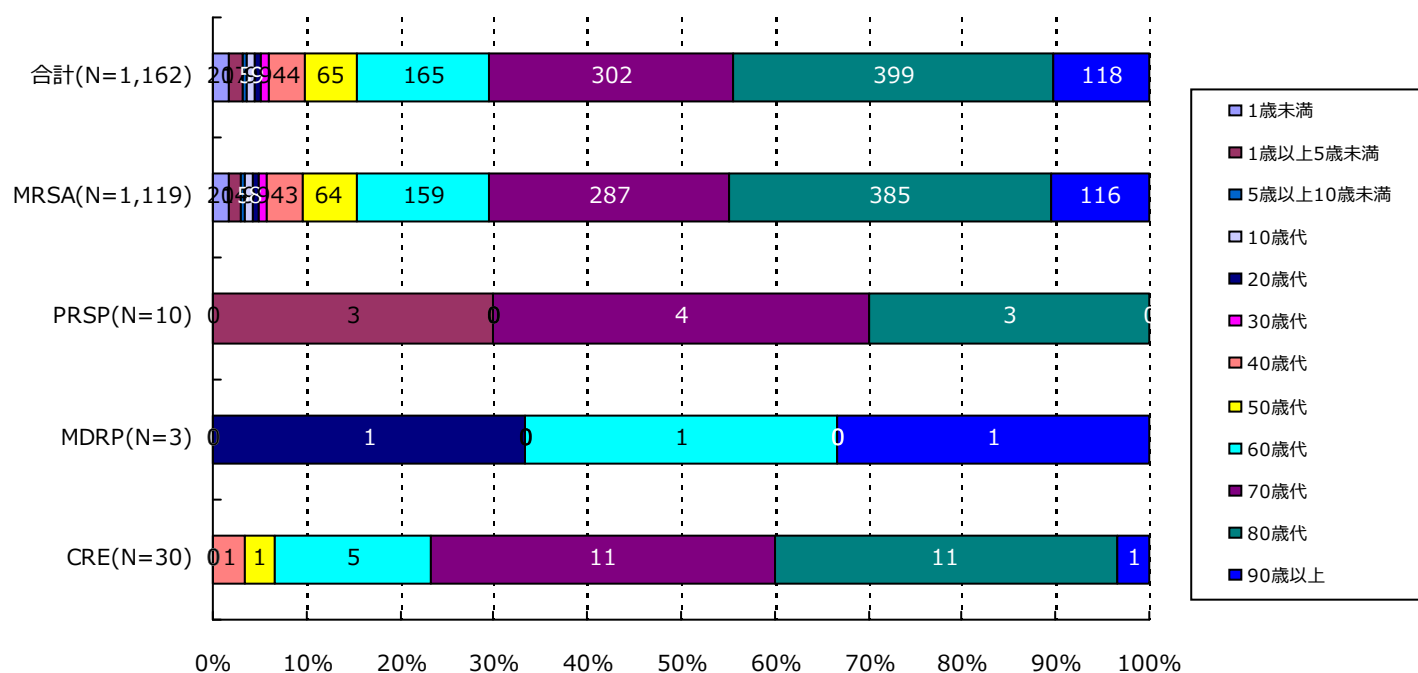


## 3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



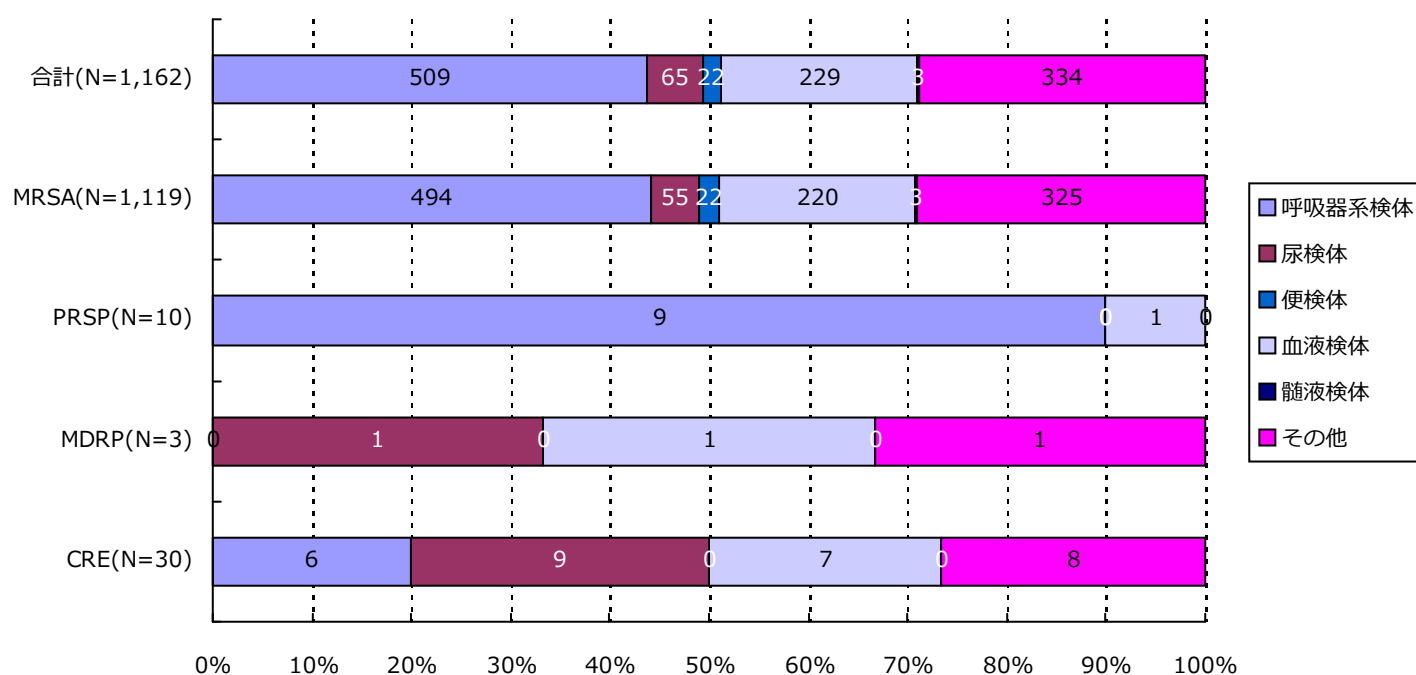
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	780 ( 67.1% )	757 ( 67.6% )	0 ( - )	0 ( - )	6 ( 60.0% )	1 ( 33.3% )	0 ( - )	16 ( 53.3% )
女	382 ( 32.9% )	362 ( 32.4% )	0 ( - )	0 ( - )	4 ( 40.0% )	2 ( 66.7% )	0 ( - )	14 ( 46.7% )
合計	1,162	1,119	0	0	10	3	0	30

## 4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	20( 1.7%)	20( 1.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
1歳以上5歳未満	17( 1.5%)	14( 1.3%)	0( -)	0( -)	3( 30.0%)	0( -)	0( -)	0( -)
5歳以上10歳未満	5( 0.4%)	5( 0.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
10歳代	9( 0.8%)	9( 0.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
20歳代	9( 0.8%)	8( 0.7%)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 33.3%)	0( -)	0( -)
30歳代	9( 0.8%)	9( 0.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
40歳代	44( 3.8%)	43( 3.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 3.3%)
50歳代	65( 5.6%)	64( 5.7%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 3.3%)
60歳代	165( 14.2%)	159( 14.2%)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 33.3%)	0( -)	5( 16.7%)
70歳代	302( 26.0%)	287( 25.6%)	0( -)	0( -)	4( 40.0%)	0( -)	0( -)	11( 36.7%)
80歳代	399( 34.3%)	385( 34.4%)	0( -)	0( -)	3( 30.0%)	0( -)	0( -)	11( 36.7%)
90歳以上	118( 10.2%)	116( 10.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 33.3%)	0( -)	1( 3.3%)
合計	1,162	1,119	0	0	10	3	0	30

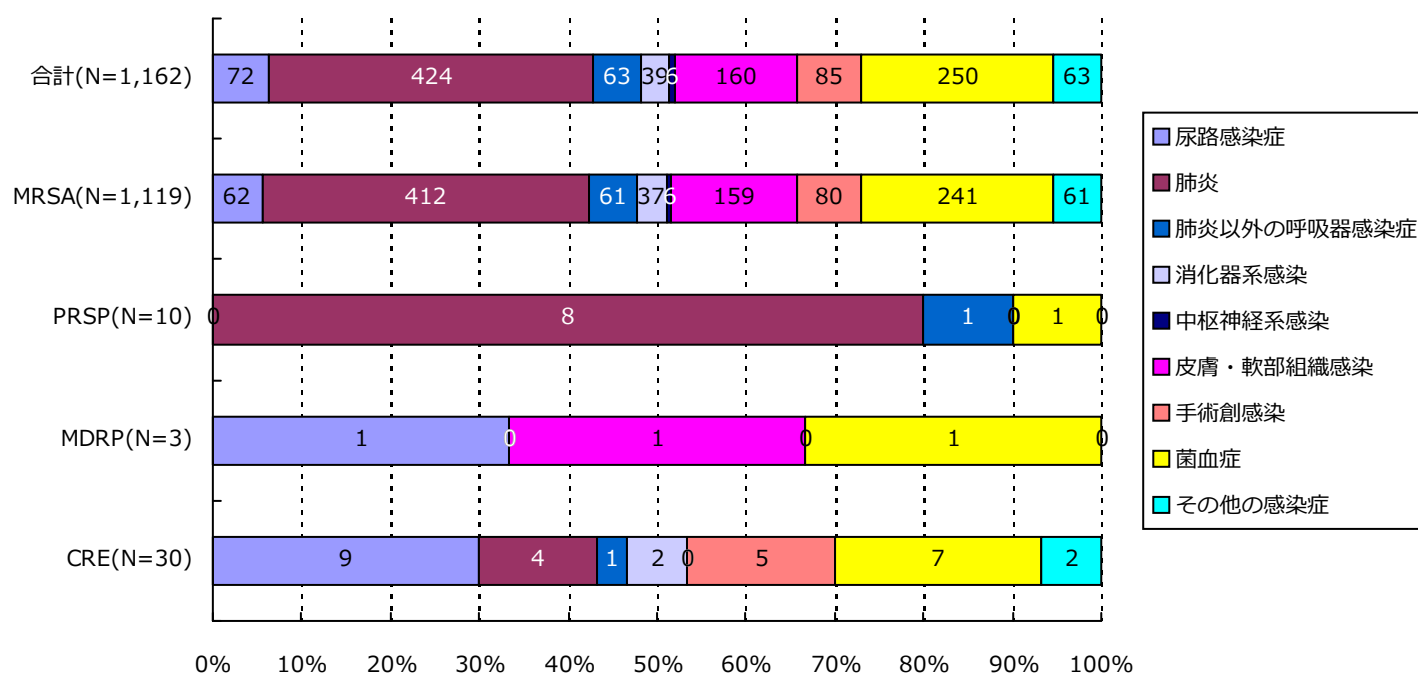
## 5. 耐性菌新規感染症患者の検体\*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	509( 43.8%)	494( 44.1%)	0( -)	0( -)	9( 90.0%)	0( -)	0( -)	6( 20.0%)
尿検体	65( 5.6%)	55( 4.9%)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 33.3%)	0( -)	9( 30.0%)
便検体	22( 1.9%)	22( 2.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
血液検体	229( 19.7%)	220( 19.7%)	0( -)	0( -)	1( 10.0%)	1( 33.3%)	0( -)	7( 23.3%)
髄液検体	3( 0.3%)	3( 0.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	334( 28.7%)	325( 29.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 33.3%)	0( -)	8( 26.7%)
合計	1,162	1,119	0	0	10	3	0	30

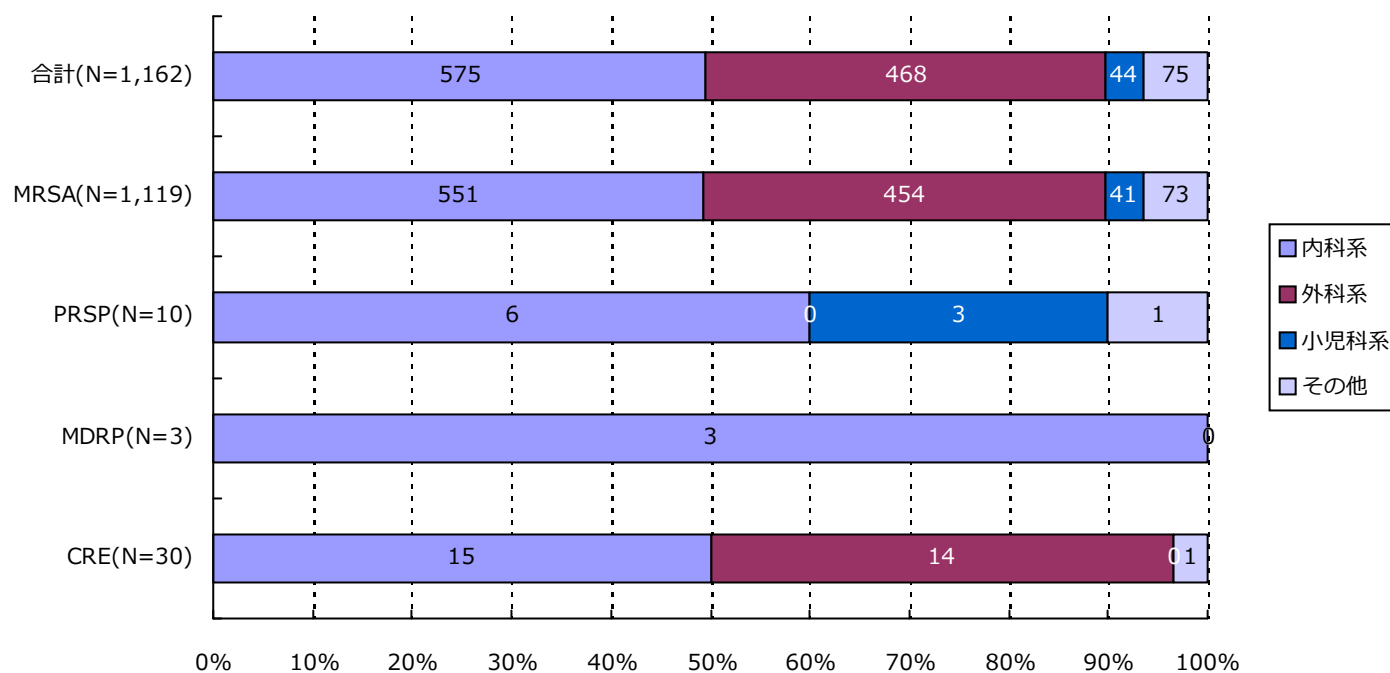
\*検体区分については巻末の資料 1 を参照

## 6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	72( 6.2%)	62( 5.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 33.3%)	0( -)	9( 30.0%)
肺炎	424( 36.5%)	412( 36.8%)	0( -)	0( -)	8( 80.0%)	0( -)	0( -)	4( 13.3%)
肺炎以外	63( 5.4%)	61( 5.5%)	0( -)	0( -)	1( 10.0%)	0( -)	0( -)	1( 3.3%)
消化器系	39( 3.4%)	37( 3.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 6.7%)
中枢神経系	6( 0.5%)	6( 0.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
皮膚・軟部	160( 13.8%)	159( 14.2%)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 33.3%)	0( -)	0( -)
手術創	85( 7.3%)	80( 7.1%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	5( 16.7%)
菌血症	250( 21.5%)	241( 21.5%)	0( -)	0( -)	1( 10.0%)	1( 33.3%)	0( -)	7( 23.3%)
その他	63( 5.4%)	61( 5.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 6.7%)
合計	1,162	1,119	0	0	10	3	0	30

## 7. 耐性菌新規感染症患者の診療科\*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	575( 49.5%)	551( 49.2%)	0( -)	0( -)	6( 60.0%)	3( 100.0%)	0( -)	15( 50.0%)
外科系	468( 40.3%)	454( 40.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	14( 46.7%)
小児科系	44( 3.8%)	41( 3.7%)	0( -)	0( -)	3( 30.0%)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	75( 6.5%)	73( 6.5%)	0( -)	0( -)	1( 10.0%)	0( -)	0( -)	1( 3.3%)
合計	1,162	1,119	0	0	10	3	0	30

\*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科
	循環器内科		消化器外科
	神経内科		肛門科
	呼吸器内科		肝胆脾外科
	消化器内科		心臓血管外科
	胃腸科		内分泌外科
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科
	腎臓内科		小児外科
	糖尿病内科		小児循環器外科
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科
	膠原病内科		産婦人科
	アレルギー内科		産科
	リウマチ内科		婦人科
	血液内科		整形外科
	感染症内科		美容外科
	その他		老人内科
心療内科		耳鼻咽喉科	
性病科		気管食道科	
神経科		泌尿器科	
精神科		皮膚・泌尿器科	
放射線科		皮膚科	
総合診療部		脳神経外科	
救急部		形成外科	
救急・集中治療部		歯科口腔外科	
集中治療部(ICU)		歯科	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		小児歯科	
内視鏡科		矯正歯科	
透析科		口腔外科	
理学療法・リハビリテーション科		手術部	
理学療法科		移植・人工臓器科	
		リハビリテーション科	小児科系
	麻酔科	新生児科	
	その他	新生児集中治療部(NICU)	
		周産期センター	

# ・資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	MPIPC $\leq$ 10mm または CFX $\leq$ 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml +	VCM $\leq$ 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 $\mu$ g/ml +	MPIPC $\leq$ 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 $\leq$ 23mm) †
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml + AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/ml + NFLX $\geq$ 16 $\mu$ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX $\geq$ 8 $\mu$ g/ml CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	IPM・MEPM $\leq$ 13mm + AMK $\leq$ 14mm NFLX・OFLX $\leq$ 12mm LVFX $\leq$ 13mm、LFLX $\leq$ 18mm CPFX $\leq$ 15mm、GFLX $\leq$ 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/ml + LVFX・GFLX $\geq$ 8 $\mu$ g/ml CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	IPM・MEPM $\leq$ 13mm AMK $\leq$ 14mm LVFX $\leq$ 13mm、GFLX $\leq$ 14mm CPFX $\leq$ 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 $\mu$ g/ml + IPM $\geq$ 2 $\mu$ g/ml + かつ CMZ $\geq$ 64 $\mu$ g/ml	MEPM $\leq$ 22mm IPM $\leq$ 22mm、かつ CMZ $\leq$ 12mm

\* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

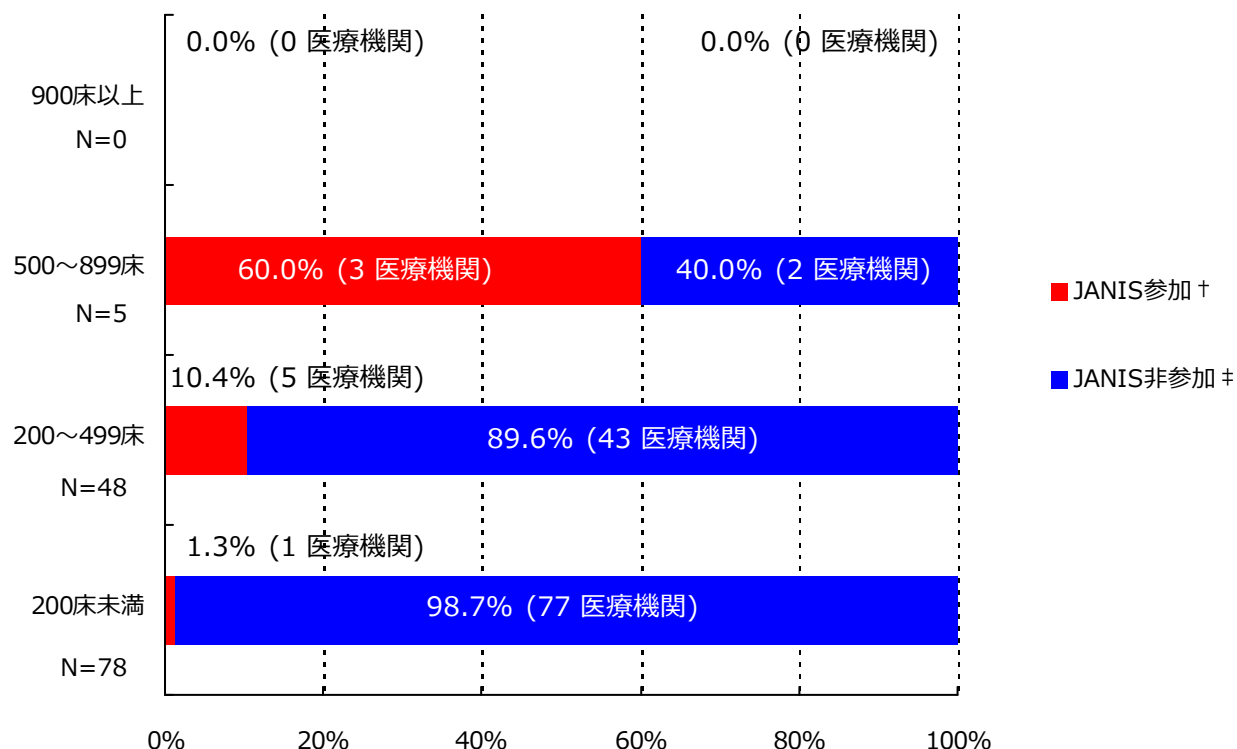
† 感染症発生動向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

(新潟県)  
公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)  
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



## 1. データ提出医療機関\*数(9医療機関)



\*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2017年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2016年 都道府県別医療機関数¶) - (2017年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2016年 都道府県別医療機関数¶	2017年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 ( - )
500～899床	5	3 ( 60%)
200～499床	48	5 ( 10.4%)
200床未満	78	1 ( 1.3%)
病床数不明	-	0 ( - )
合計	131	9 ( 6.9%)

¶平成28年医療施設（動態）調査を参照した。



(新潟県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

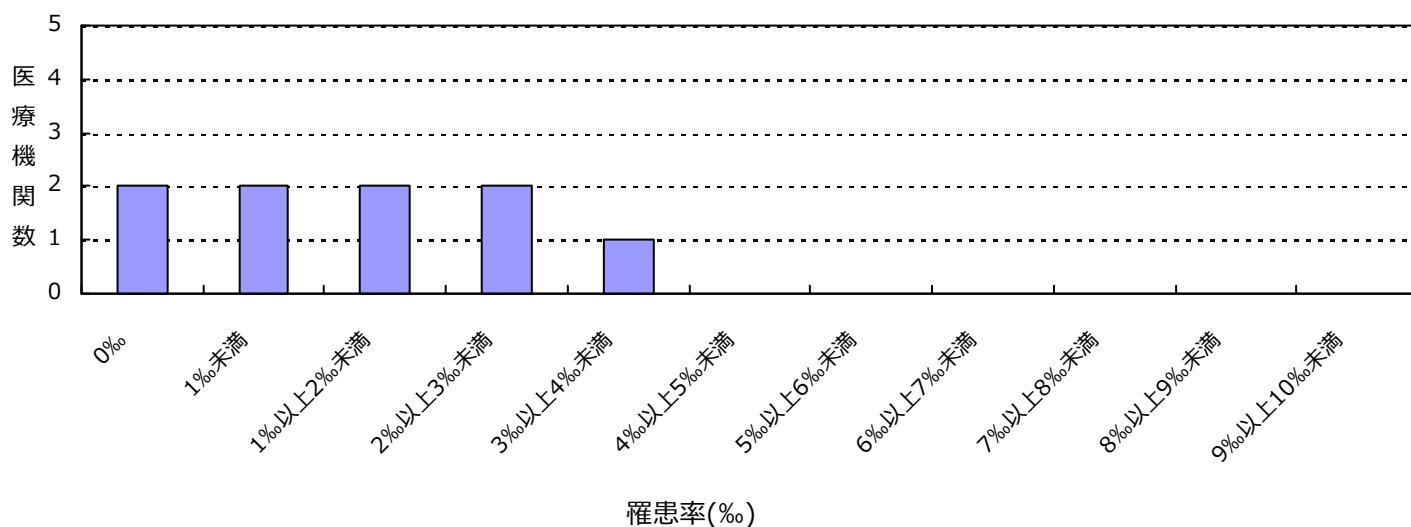


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	73,104	4	122	1.67%	0.00 1.13 3.28

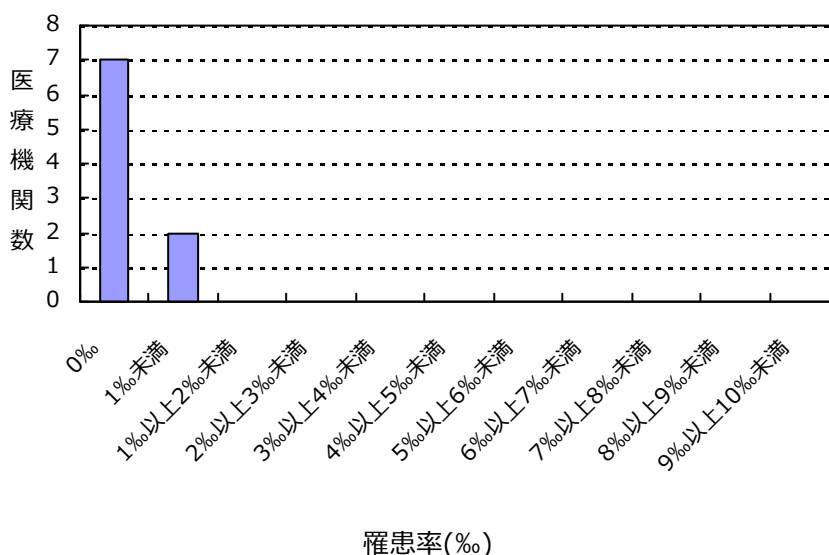
集計対象医療機関の罹患率(N=9)



### ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	73,104	0	8	0.11%	0.00 0.00 0.41

集計対象医療機関の罹患率(N=9)



(新潟県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

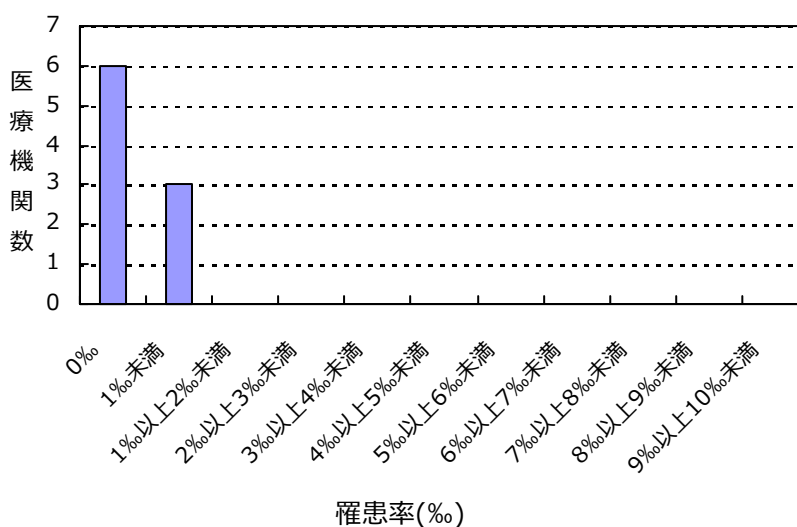


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
CRE	73,104	0	6	0.08‰	0.00 0.00 0.19

集計対象医療機関の罹患率(N=9)



(新潟県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



## 2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

### 総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

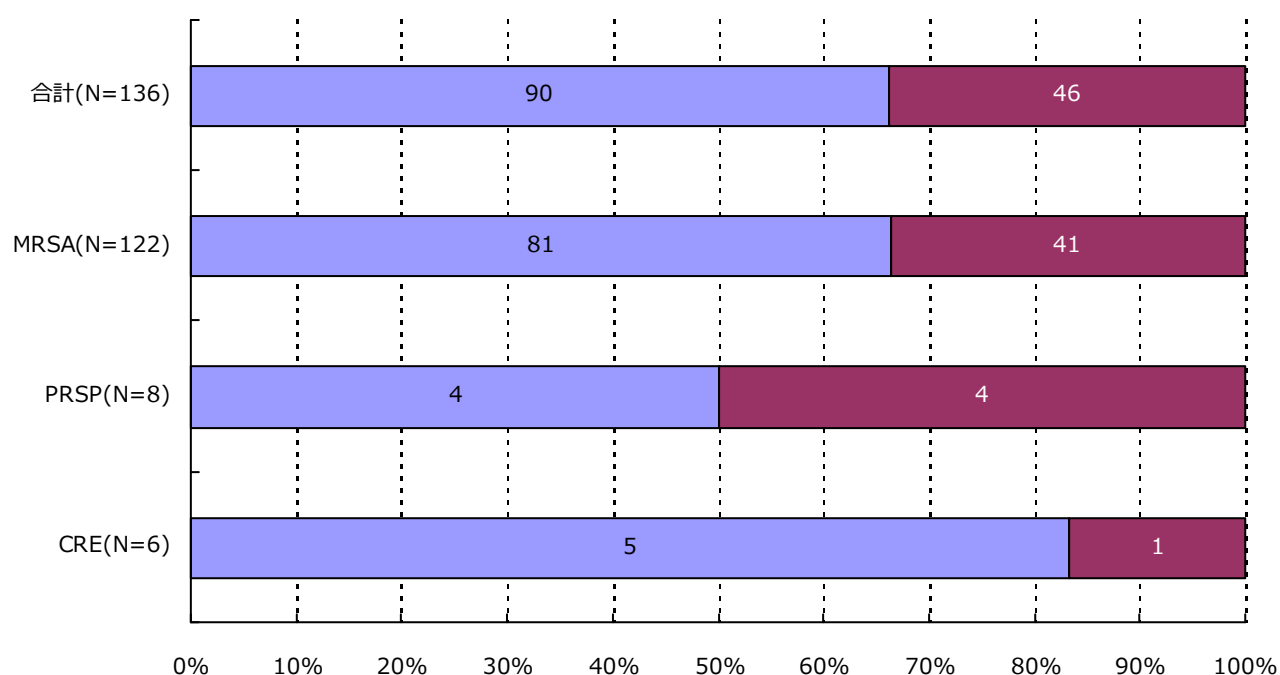
(新潟県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



### 3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	90 ( 66.2% )	81 ( 66.4% )	0 ( - )	0 ( - )	4 ( 50.0% )	0 ( - )	0 ( - )	5 ( 83.3% )
女	46 ( 33.8% )	41 ( 33.6% )	0 ( - )	0 ( - )	4 ( 50.0% )	0 ( - )	0 ( - )	1 ( 16.7% )
合計	136	122	0	0	8	0	0	6

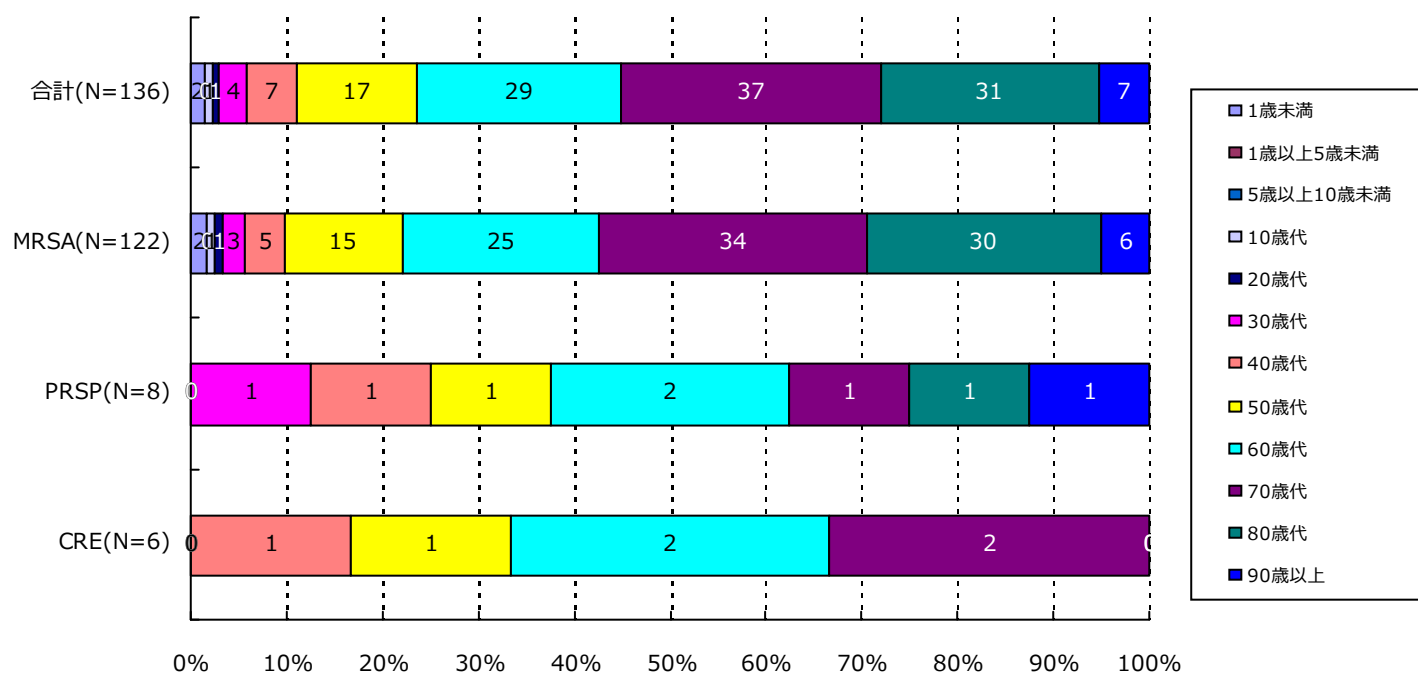
(新潟県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

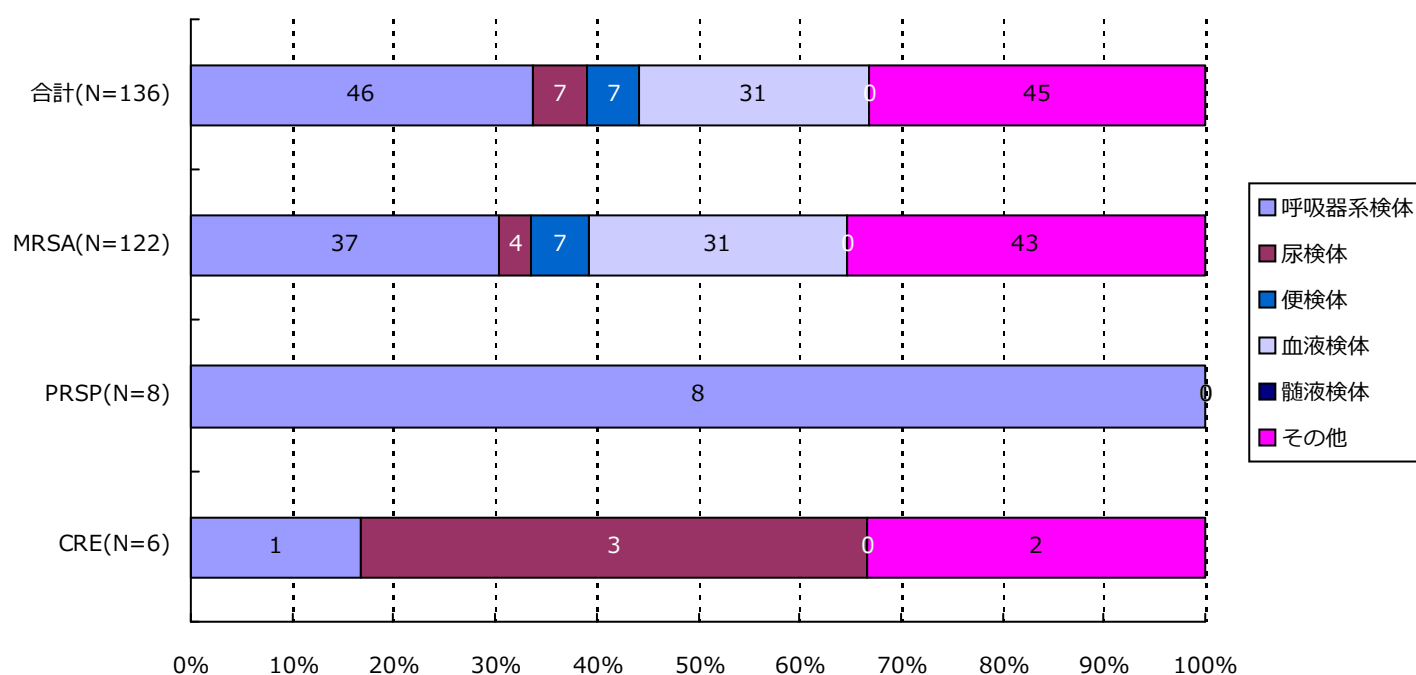


#### 4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	2( 1.5%)	2( 1.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
1歳以上5歳未満	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
5歳以上10歳未満	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
10歳代	1( 0.7%)	1( 0.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
20歳代	1( 0.7%)	1( 0.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
30歳代	4( 2.9%)	3( 2.5%)	0( -)	0( -)	1( 12.5%)	0( -)	0( -)	0( -)
40歳代	7( 5.1%)	5( 4.1%)	0( -)	0( -)	1( 12.5%)	0( -)	0( -)	1( 16.7%)
50歳代	17( 12.5%)	15( 12.3%)	0( -)	0( -)	1( 12.5%)	0( -)	0( -)	1( 16.7%)
60歳代	29( 21.3%)	25( 20.5%)	0( -)	0( -)	2( 25.0%)	0( -)	0( -)	2( 33.3%)
70歳代	37( 27.2%)	34( 27.9%)	0( -)	0( -)	1( 12.5%)	0( -)	0( -)	2( 33.3%)
80歳代	31( 22.8%)	30( 24.6%)	0( -)	0( -)	1( 12.5%)	0( -)	0( -)	0( -)
90歳以上	7( 5.1%)	6( 4.9%)	0( -)	0( -)	1( 12.5%)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	136	122	0	0	8	0	0	6

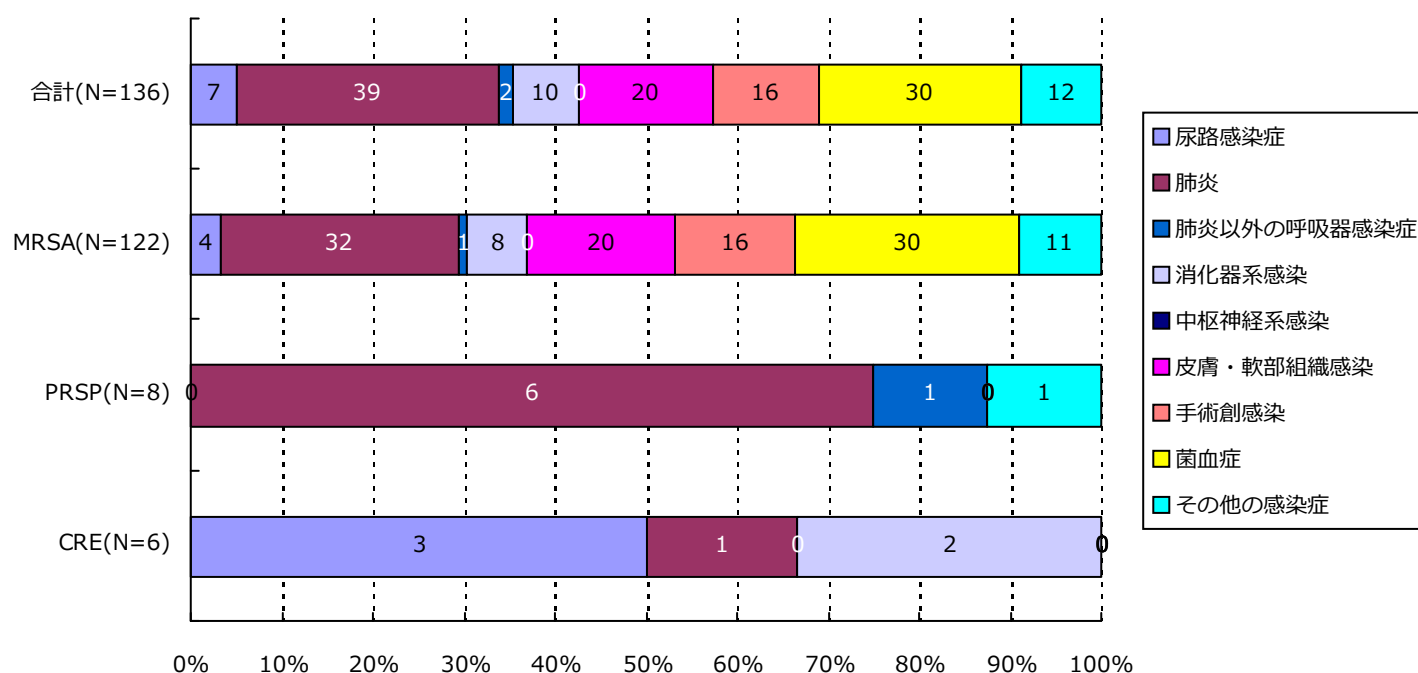
## 5. 耐性菌新規感染症患者の検体\*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	46( 33.8%)	37( 30.3%)	0( -)	0( -)	8( 100.0%)	0( -)	0( -)	1( 16.7%)
尿検体	7( 5.1%)	4( 3.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	3( 50.0%)
便検体	7( 5.1%)	7( 5.7%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
血液検体	31( 22.8%)	31( 25.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
髄液検体	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	45( 33.1%)	43( 35.2%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 33.3%)
合計	136	122	0	0	8	0	0	6

\*検体区分については巻末の資料 1 を参照

## 6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	7( 5.1%)	4( 3.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	3( 50.0%)
肺炎	39( 28.7%)	32( 26.2%)	0( -)	0( -)	6( 75.0%)	0( -)	0( -)	1( 16.7%)
肺炎以外	2( 1.5%)	1( 0.8%)	0( -)	0( -)	1( 12.5%)	0( -)	0( -)	0( -)
消化器系	10( 7.4%)	8( 6.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 33.3%)
中枢神経系	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
皮膚・軟部	20( 14.7%)	20( 16.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
手術創	16( 11.8%)	16( 13.1%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
菌血症	30( 22.1%)	30( 24.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	12( 8.8%)	11( 9.0%)	0( -)	0( -)	1( 12.5%)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	136	122	0	0	8	0	0	6

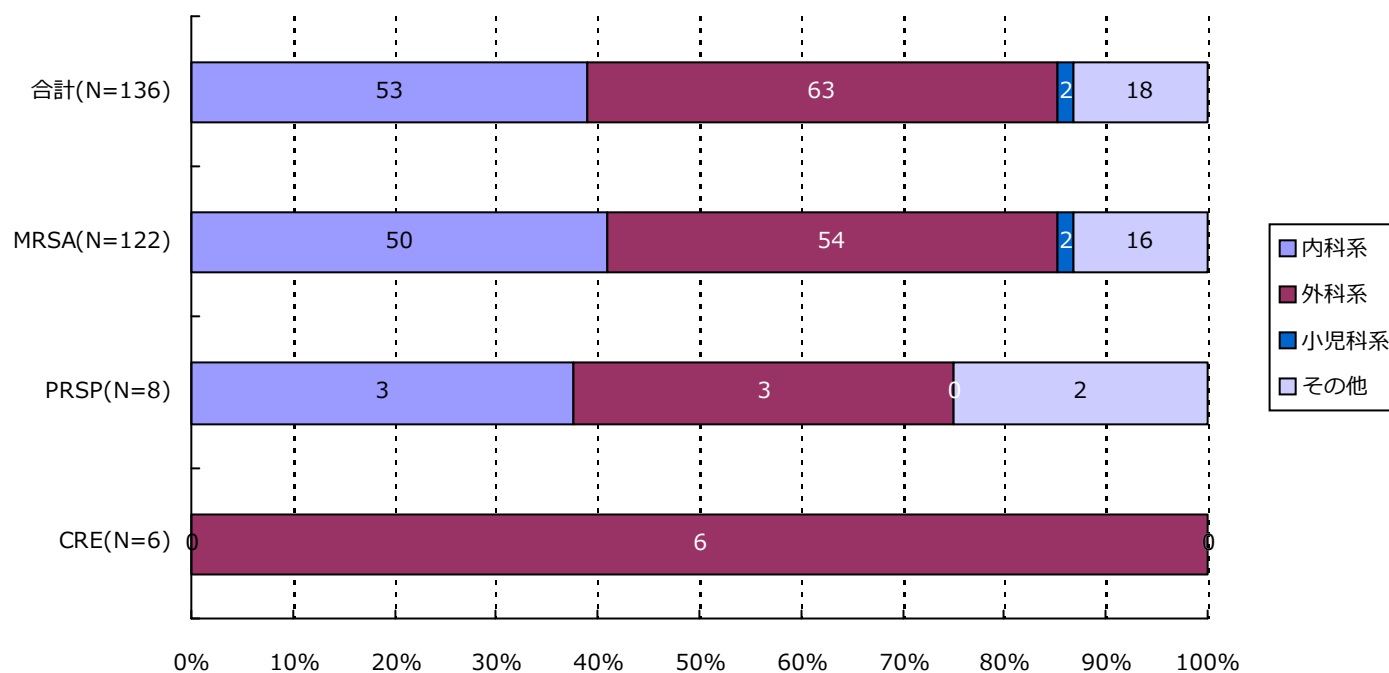
(新潟県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



## 7. 耐性菌新規感染症患者の診療科\*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	53( 39.0%)	50( 41.0%)	0( -)	0( -)	3( 37.5%)	0( -)	0( -)	0( -)
外科系	63( 46.3%)	54( 44.3%)	0( -)	0( -)	3( 37.5%)	0( -)	0( -)	6( 100.0%)
小児科系	2( 1.5%)	2( 1.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	18( 13.2%)	16( 13.1%)	0( -)	0( -)	2( 25.0%)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	136	122	0	0	8	0	0	6

\*診療科の内訳については巻末の資料2を参照



・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

## ・資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
	その他
神経科	
精神科	
放射線科	
総合診療部	
救急部	
救急・集中治療部	
集中治療部(ICU)	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)	
内視鏡科	
透析科	
理学療法・リハビリテーション科	
理学療法科	
リハビリテーション科	
麻酔科	
その他	

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心臓血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
皮膚科	
小児科系	脳神経外科
	形成外科
	歯科口腔外科
	歯科
	小児歯科
	矯正歯科
	口腔外科
	手術部
	移植・人工臓器科
	小児科
新生児科	
新生児集中治療部(NICU)	
周産期センター	

# 資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

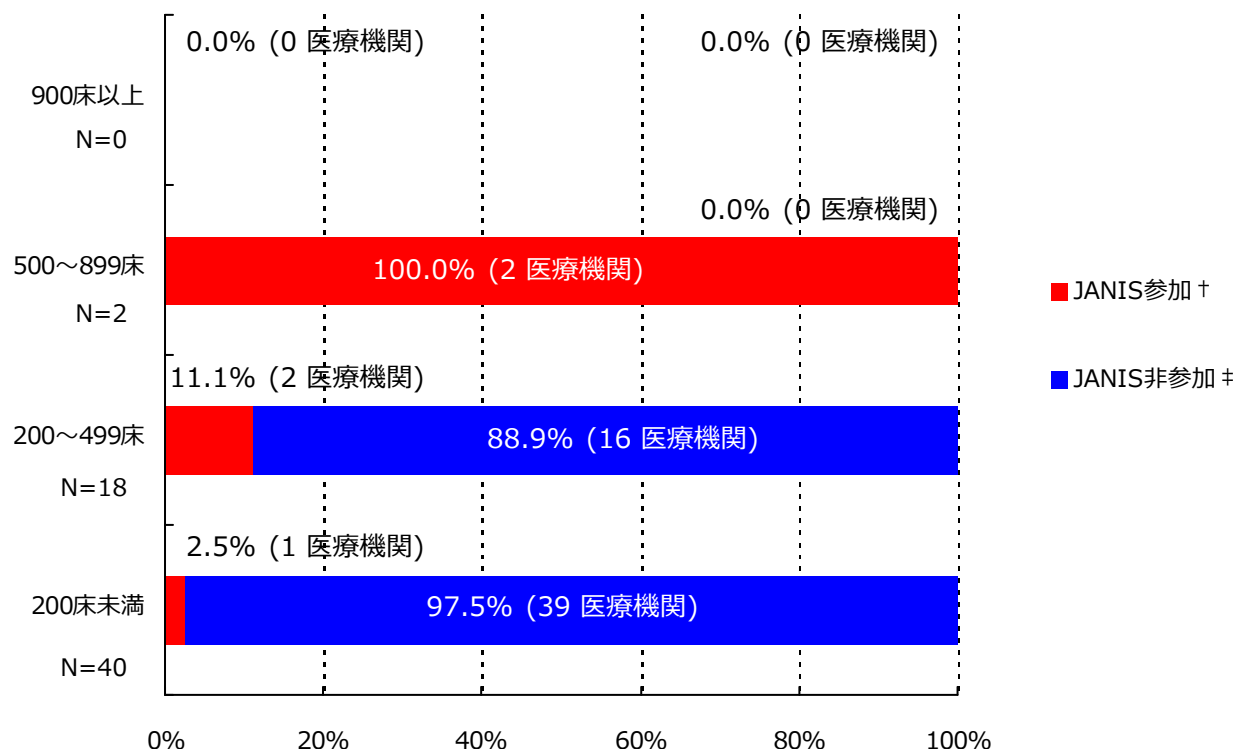
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	MPIPC $\leq$ 10mm または CFX $\leq$ 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml +	VCM $\leq$ 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 $\mu$ g/ml +	MPIPC $\leq$ 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 $\leq$ 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml + AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/ml + NFLX $\geq$ 16 $\mu$ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX $\geq$ 8 $\mu$ g/ml CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	IPM・MEPM $\leq$ 13mm + AMK $\leq$ 14mm NFLX・OFLX $\leq$ 12mm LVFX $\leq$ 13mm、LFLX $\leq$ 18mm CPFX $\leq$ 15mm、GFLX $\leq$ 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/ml + LVFX・GFLX $\geq$ 8 $\mu$ g/ml CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	IPM・MEPM $\leq$ 13mm AMK $\leq$ 14mm LVFX $\leq$ 13mm、GFLX $\leq$ 14mm CPFX $\leq$ 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 $\mu$ g/ml + IPM $\geq$ 2 $\mu$ g/ml + かつ CMZ $\geq$ 64 $\mu$ g/ml	MEPM $\leq$ 22mm IPM $\leq$ 22mm、かつ CMZ $\leq$ 12mm

\* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生動向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

## 1. データ提出医療機関\*数(5医療機関)



\*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2017年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2016年 都道府県別医療機関数¶) - (2017年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2016年 都道府県別医療機関数¶	2017年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 ( - )
500～899床	2	2 ( 100% )
200～499床	18	2 ( 11.1% )
200床未満	40	1 ( 2.5% )
病床数不明	-	0 ( - )
合計	60	5 ( 8.3% )

¶平成28年医療施設（動態）調査を参照した。

(山梨県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

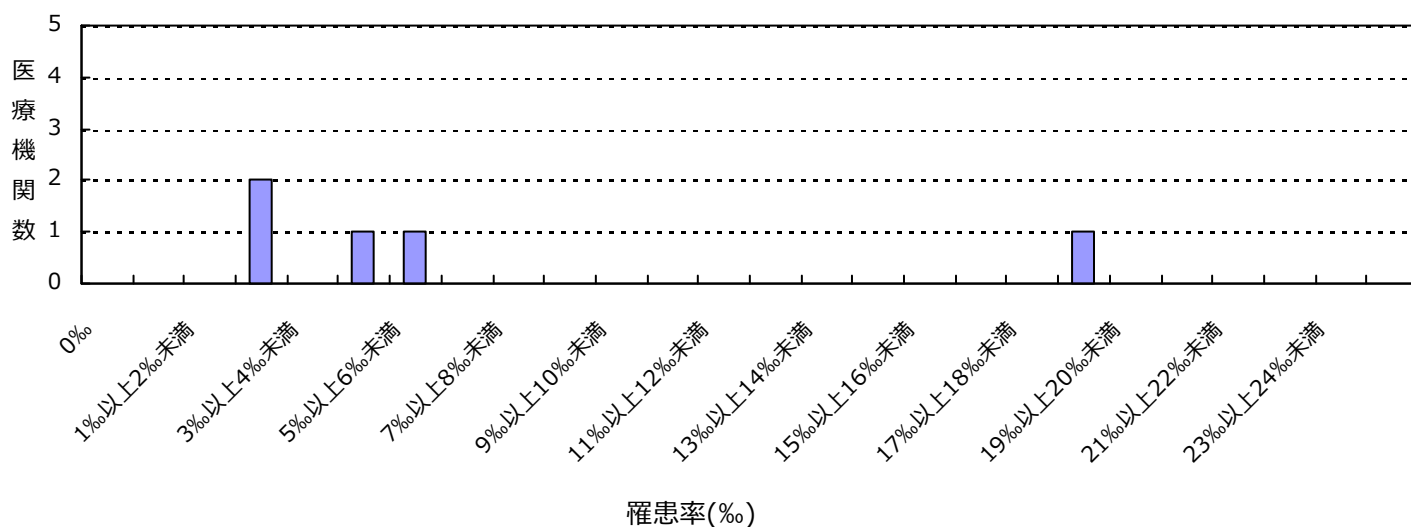


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
MRSA	41,433	2	151	3.64%	2.06 4.35 18.87

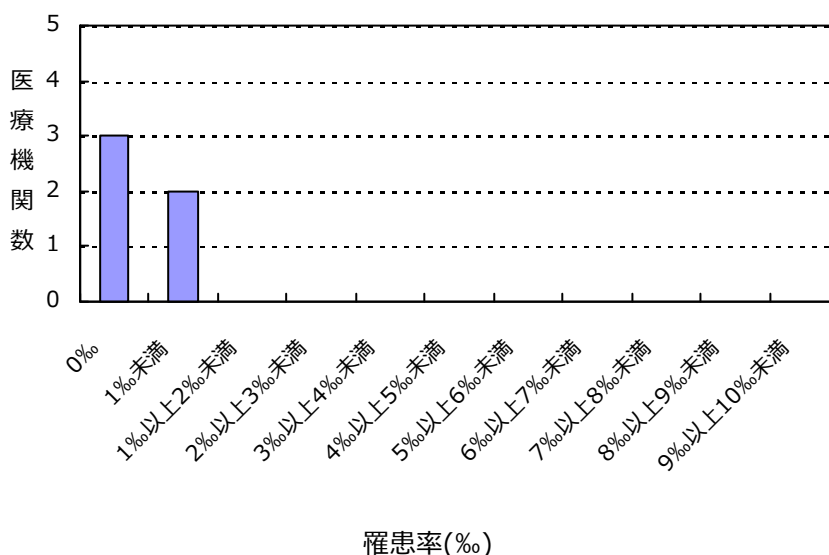
集計対象医療機関の罹患率(N=5)



### ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
PRSP	41,433	0	3	0.07%	0.00 0.00 0.31

集計対象医療機関の罹患率(N=5)



(山梨県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

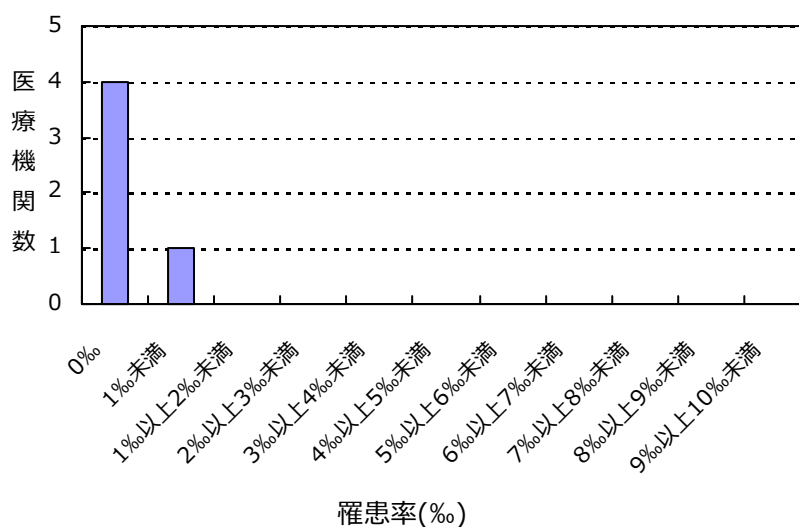


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
CRE	41,433	0	1	0.02‰	0.00 0.00 0.07

集計対象医療機関の罹患率(N=5)



(山梨県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



## 2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

### 総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

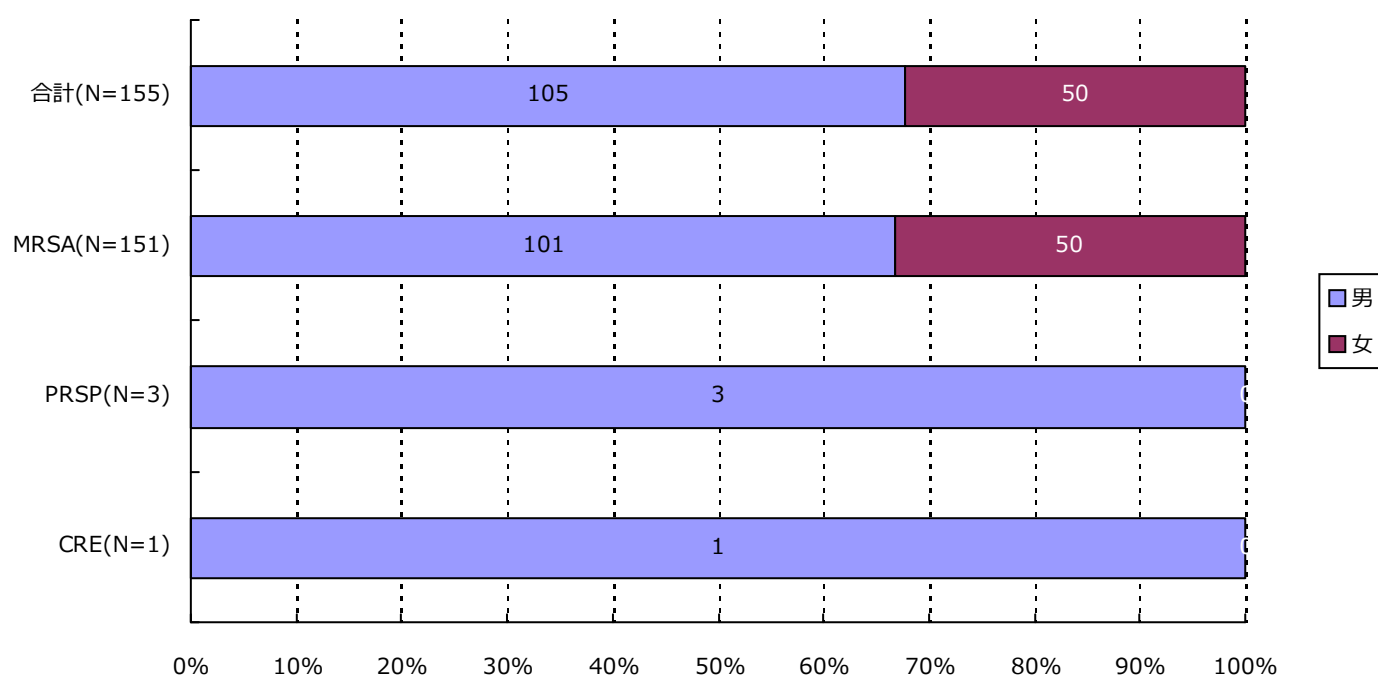
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

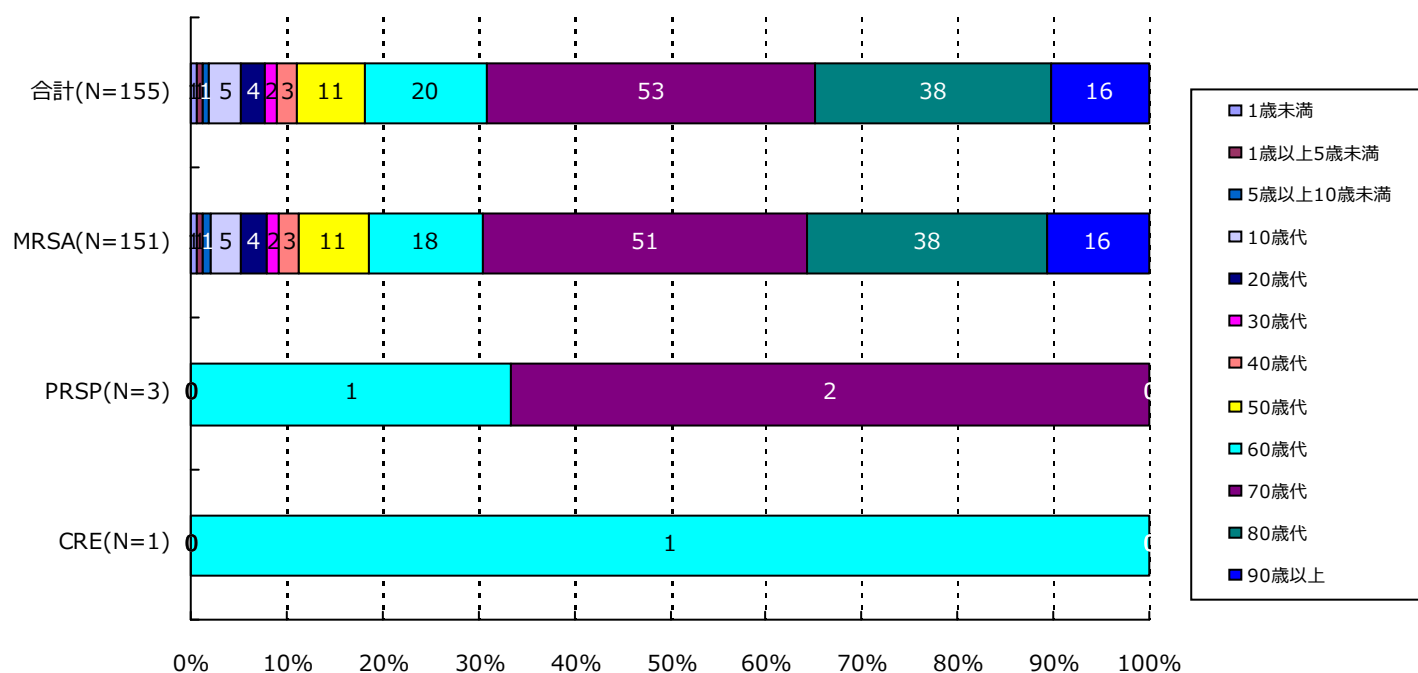
全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

### 3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	105 ( 67.7% )	101 ( 66.9% )	0 ( - )	0 ( - )	3 ( 100.0% )	0 ( - )	0 ( - )	1 ( 100.0% )
女	50 ( 32.3% )	50 ( 33.1% )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )
合計	155	151	0	0	3	0	0	1

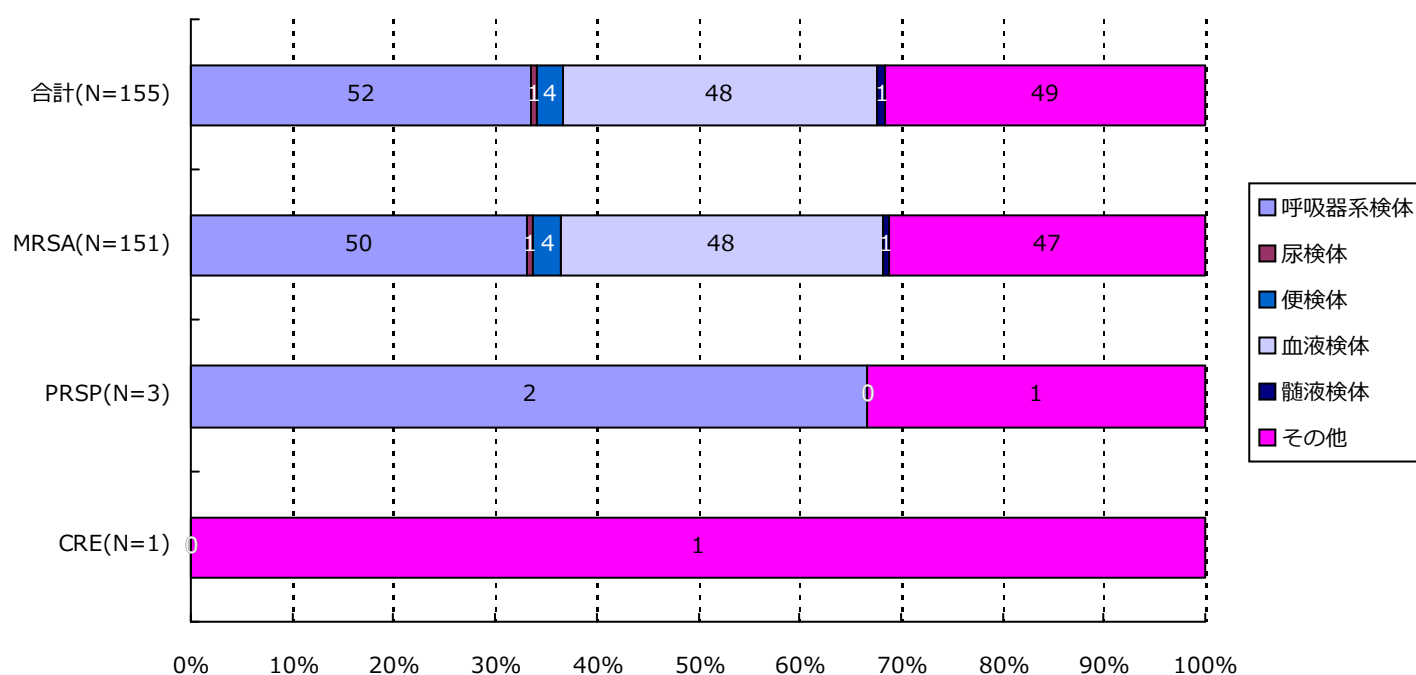
#### 4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	1( 0.6%)	1( 0.7%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
1歳以上5歳未満	1( 0.6%)	1( 0.7%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
5歳以上10歳未満	1( 0.6%)	1( 0.7%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
10歳代	5( 3.2%)	5( 3.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
20歳代	4( 2.6%)	4( 2.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
30歳代	2( 1.3%)	2( 1.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
40歳代	3( 1.9%)	3( 2.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
50歳代	11( 7.1%)	11( 7.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
60歳代	20( 12.9%)	18( 11.9%)	0( -)	0( -)	1( 33.3%)	0( -)	0( -)	1( 100.0%)
70歳代	53( 34.2%)	51( 33.8%)	0( -)	0( -)	2( 66.7%)	0( -)	0( -)	0( -)
80歳代	38( 24.5%)	38( 25.2%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
90歳以上	16( 10.3%)	16( 10.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	155	151	0	0	3	0	0	1



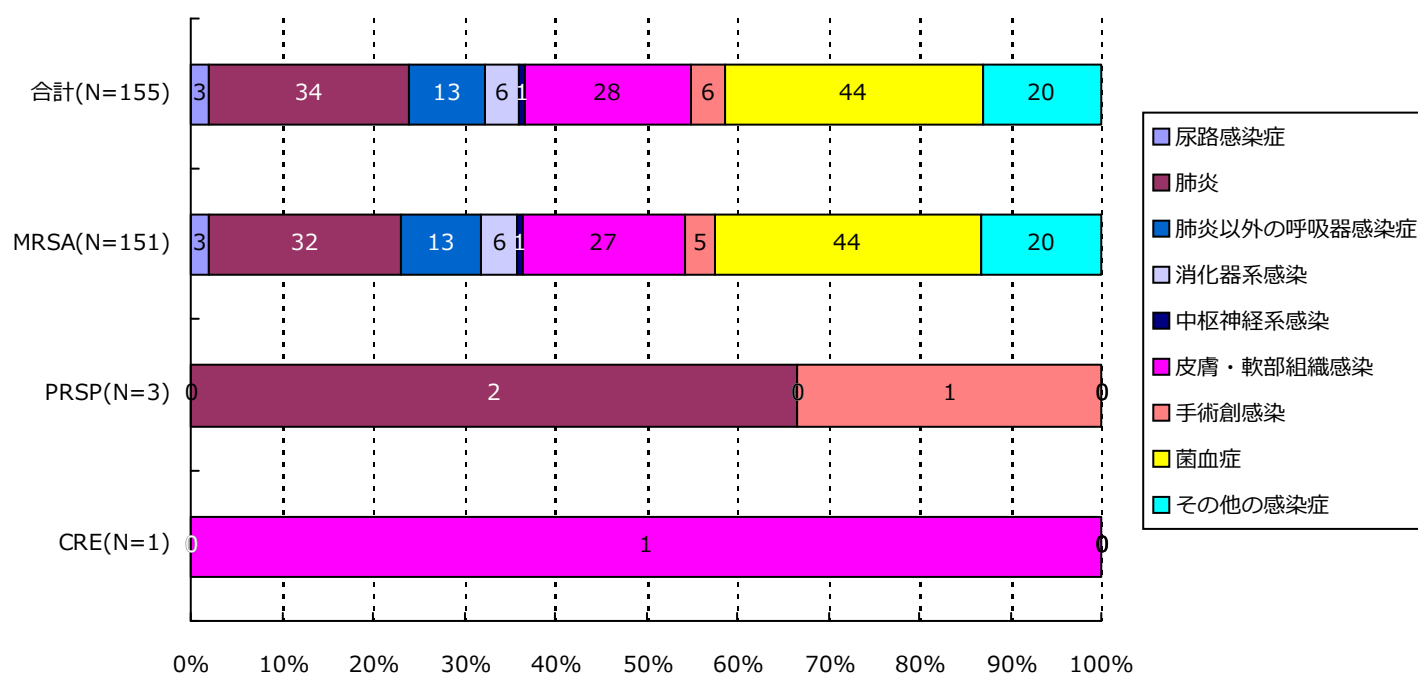
## 5. 耐性菌新規感染症患者の検体\*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	52( 33.5%)	50( 33.1%)	0( -)	0( -)	2( 66.7%)	0( -)	0( -)	0( -)
尿検体	1( 0.6%)	1( 0.7%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
便検体	4( 2.6%)	4( 2.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
血液検体	48( 31.0%)	48( 31.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
髄液検体	1( 0.6%)	1( 0.7%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	49( 31.6%)	47( 31.1%)	0( -)	0( -)	1( 33.3%)	0( -)	0( -)	1( 100.0%)
合計	155	151	0	0	3	0	0	1

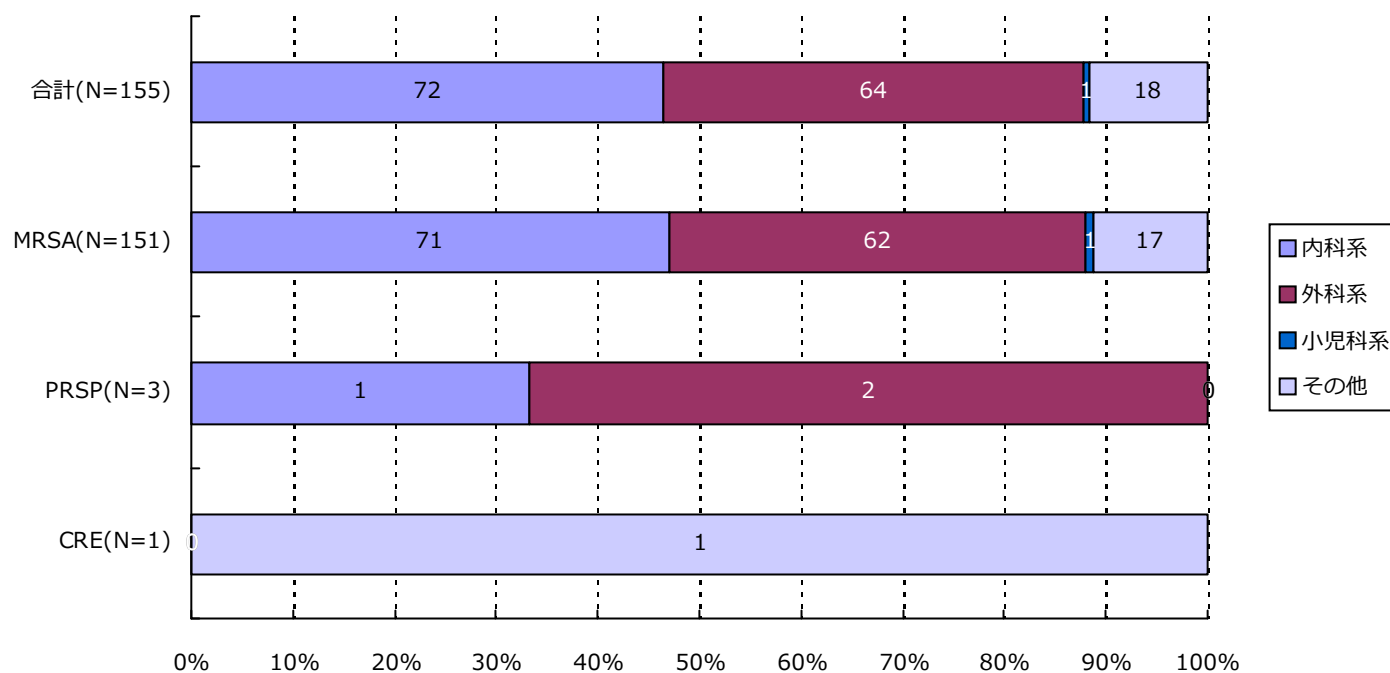
\*検体区分については巻末の資料 1 を参照

## 6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	3( 1.9%)	3( 2.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
肺炎	34( 21.9%)	32( 21.2%)	0( -)	0( -)	2( 66.7%)	0( -)	0( -)	0( -)
肺炎以外	13( 8.4%)	13( 8.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
消化器系	6( 3.9%)	6( 4.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
中枢神経系	1( 0.6%)	1( 0.7%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
皮膚・軟部	28( 18.1%)	27( 17.9%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 100.0%)
手術創	6( 3.9%)	5( 3.3%)	0( -)	0( -)	1( 33.3%)	0( -)	0( -)	0( -)
菌血症	44( 28.4%)	44( 29.1%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	20( 12.9%)	20( 13.2%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	155	151	0	0	3	0	0	1

## 7. 耐性菌新規感染症患者の診療科\*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	72( 46.5%)	71( 47.0%)	0( -)	0( -)	1( 33.3%)	0( -)	0( -)	0( -)
外科系	64( 41.3%)	62( 41.1%)	0( -)	0( -)	2( 66.7%)	0( -)	0( -)	0( -)
小児科系	1( 0.6%)	1( 0.7%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	18( 11.6%)	17( 11.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 100.0%)
合計	155	151	0	0	3	0	0	1

\*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
	その他
神経科	
精神科	
放射線科	
総合診療部	
救急部	
救急・集中治療部	
集中治療部(ICU)	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)	
内視鏡科	
透析科	
理学療法・リハビリテーション科	
理学療法科	
リハビリテーション科	
麻酔科	
その他	

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心臓血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
皮膚科	
脳神経外科	
形成外科	
歯科口腔外科	
歯科	
小児歯科	
矯正歯科	
口腔外科	
手術部	
移植・人工臓器科	

小児科系	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター

# 資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

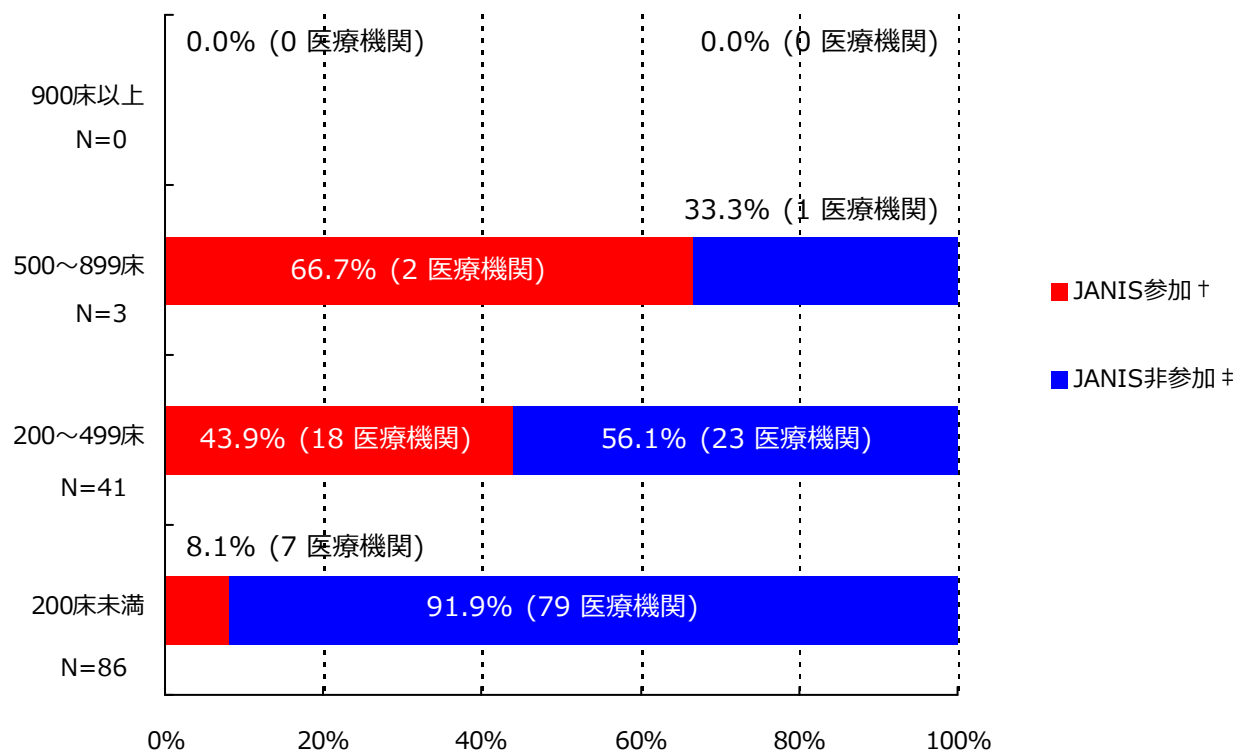
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	MPIPC $\leq$ 10mm または CFX $\leq$ 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml +	VCM $\leq$ 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 $\mu$ g/ml +	MPIPC $\leq$ 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 $\leq$ 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml + AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/ml + NFLX $\geq$ 16 $\mu$ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX $\geq$ 8 $\mu$ g/ml CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	IPM・MEPM $\leq$ 13mm + AMK $\leq$ 14mm NFLX・OFLX $\leq$ 12mm LVFX $\leq$ 13mm、LFLX $\leq$ 18mm CPFX $\leq$ 15mm、GFLX $\leq$ 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/ml + LVFX・GFLX $\geq$ 8 $\mu$ g/ml CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	IPM・MEPM $\leq$ 13mm AMK $\leq$ 14mm LVFX $\leq$ 13mm、GFLX $\leq$ 14mm CPFX $\leq$ 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 $\mu$ g/ml + IPM $\geq$ 2 $\mu$ g/ml + かつ CMZ $\geq$ 64 $\mu$ g/ml	MEPM $\leq$ 22mm IPM $\leq$ 22mm、かつ CMZ $\leq$ 12mm

\* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生动向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

## 1. データ提出医療機関\*数(27医療機関)



\*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2017年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2016年 都道府県別医療機関数¶) - (2017年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2016年 都道府県別医療機関数¶	2017年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 ( - )
500～899床	3	2 ( 66.7%)
200～499床	41	18 ( 43.9%)
200床未満	86	7 ( 8.1%)
病床数不明	-	0 ( - )
合計	130	27 ( 20.8%)

¶平成28年医療施設（動態）調査を参照した。

(長野県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

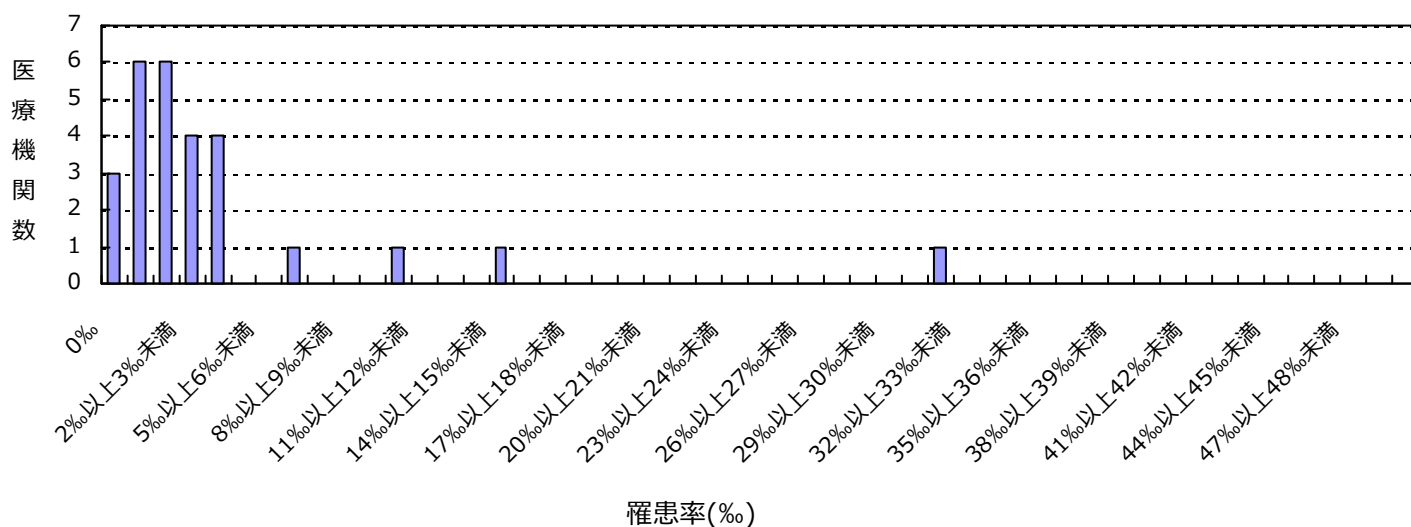


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	156,754	4	353	2.25%	0.00 1.41 31.86

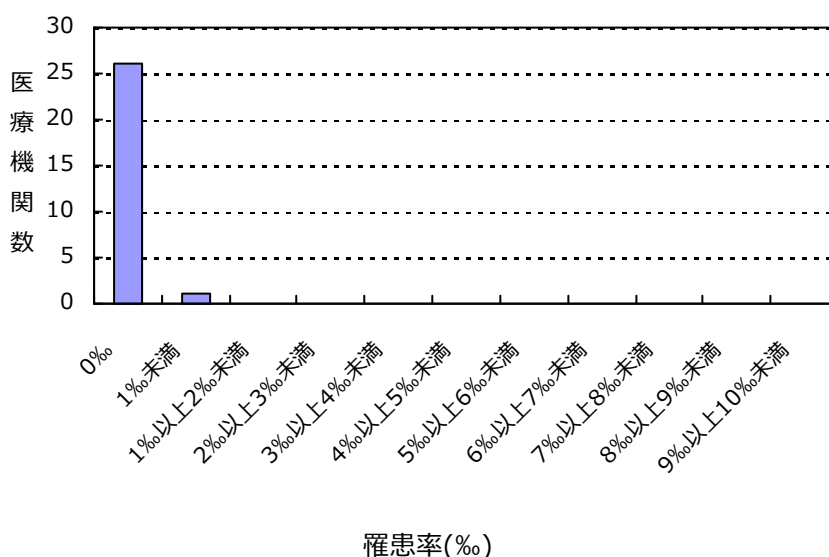
集計対象医療機関の罹患率(N=27)



### ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	156,754	1	11	0.07%	0.00 0.00 0.66

集計対象医療機関の罹患率(N=27)



(長野県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)  
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

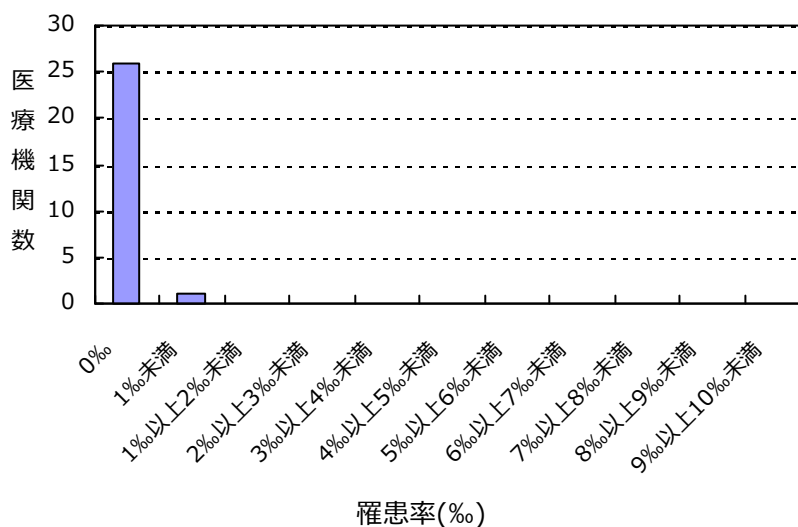


## 2. 新規感染症患者数と罹患率

### 多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
MDRP	156,754	0	1	0.01%	0.00 0.00 0.06

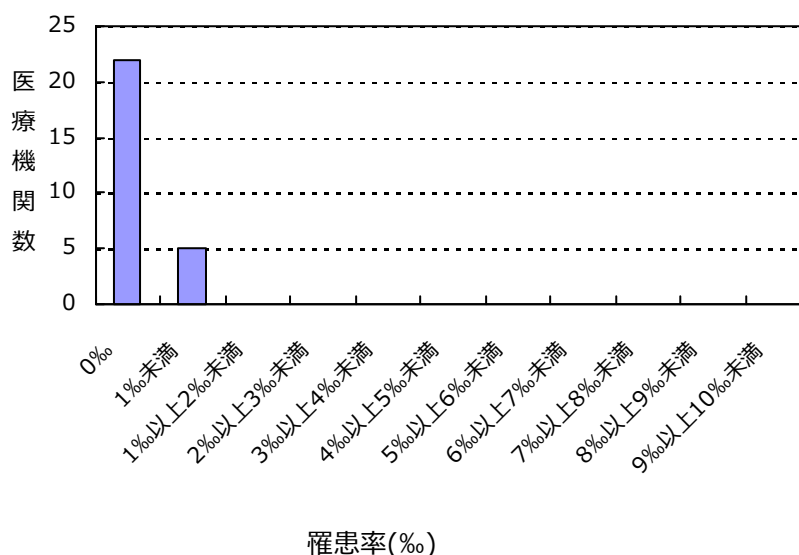
集計対象医療機関の罹患率(N=27)



### カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
CRE	156,754	0	14	0.09%	0.00 0.00 0.57

集計対象医療機関の罹患率(N=27)





(長野県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



## 2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

### 総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

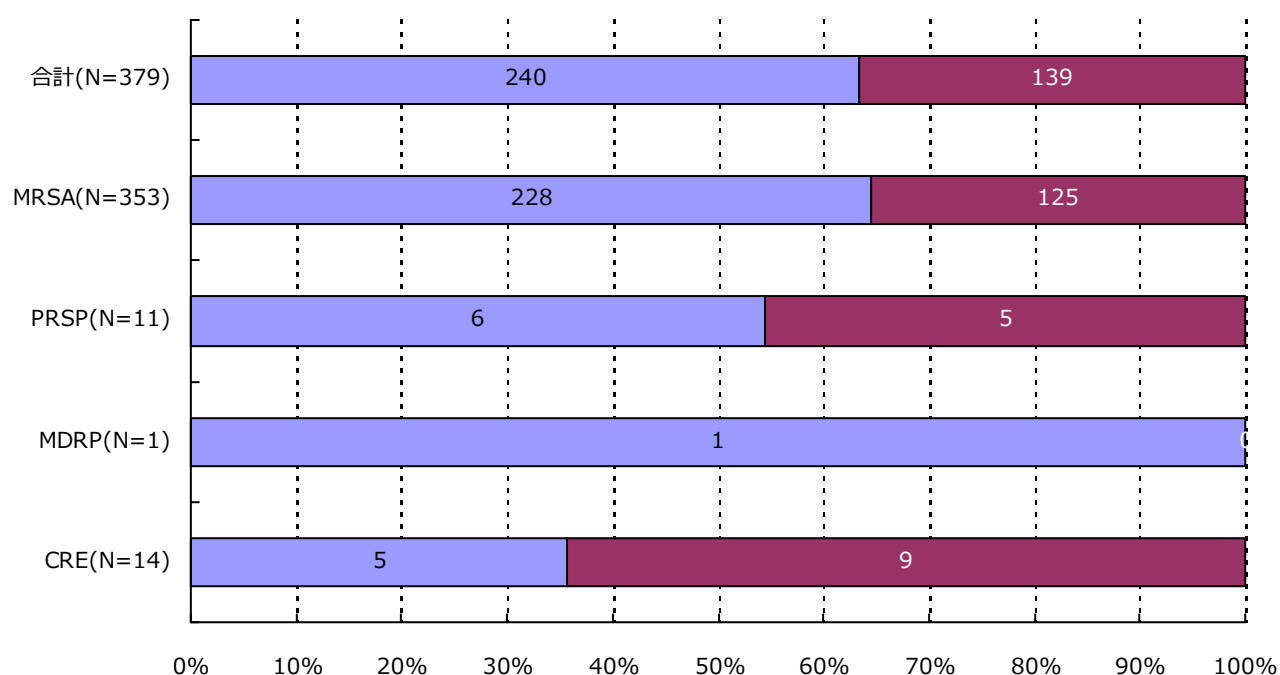
(長野県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



### 3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	240 ( 63.3% )	228 ( 64.6% )	0 ( - )	0 ( - )	6 ( 54.5% )	1 ( 100.0% )	0 ( - )	5 ( 35.7% )
女	139 ( 36.7% )	125 ( 35.4% )	0 ( - )	0 ( - )	5 ( 45.5% )	0 ( - )	0 ( - )	9 ( 64.3% )
合計	379	353	0	0	11	1	0	14

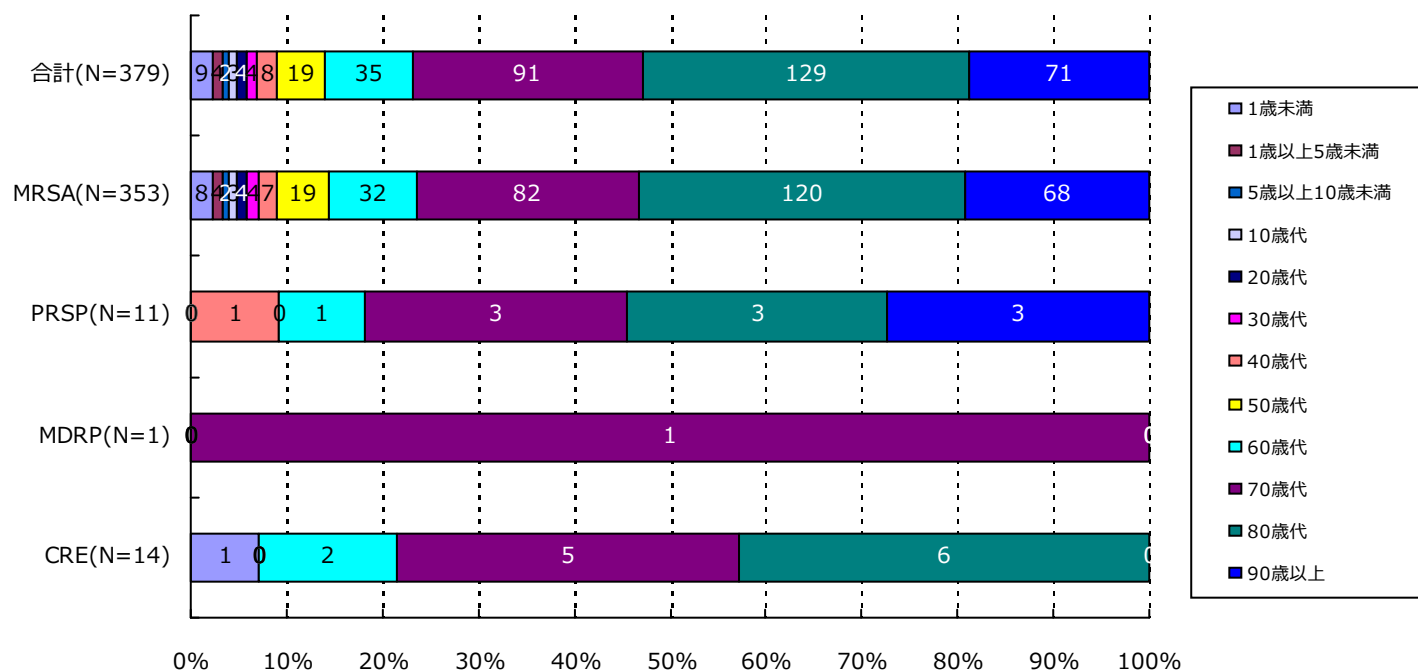
(長野県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

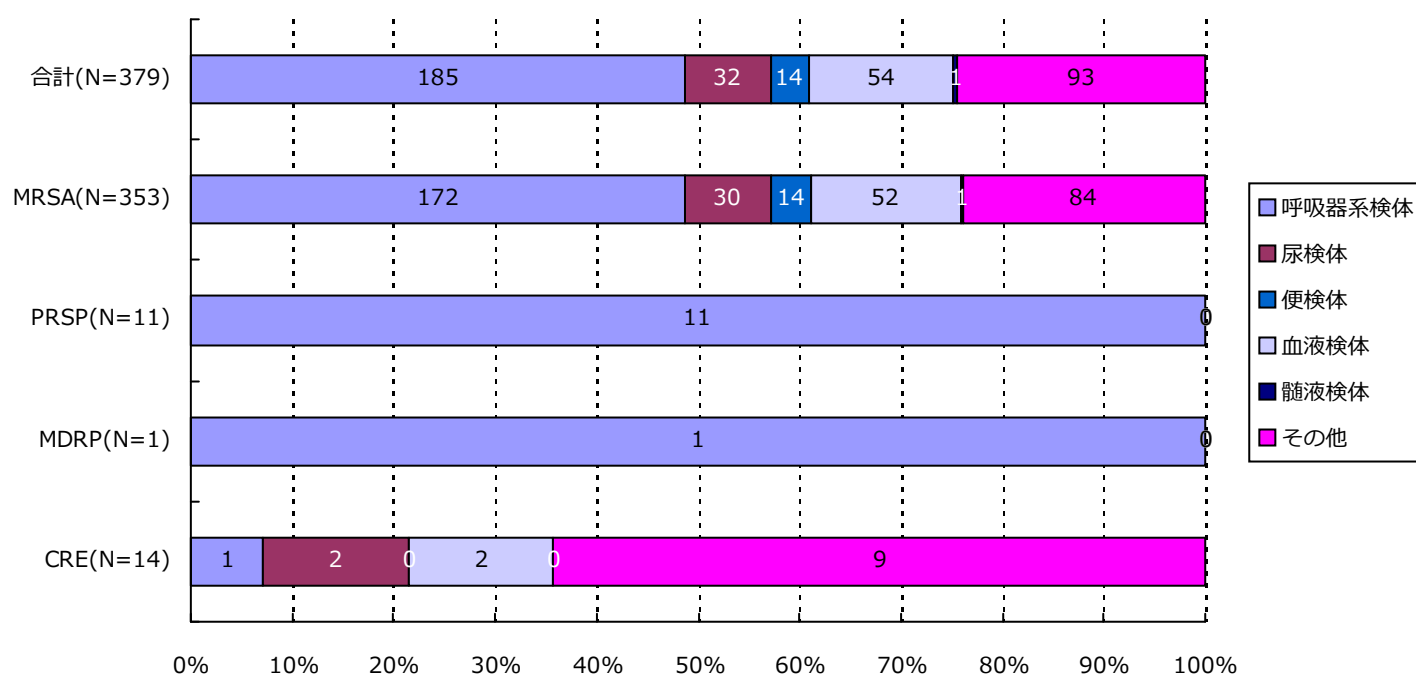


#### 4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	9( 2.4%)	8( 2.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 7.1%)
1歳以上5歳未満	4( 1.1%)	4( 1.1%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
5歳以上10歳未満	2( 0.5%)	2( 0.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
10歳代	3( 0.8%)	3( 0.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
20歳代	4( 1.1%)	4( 1.1%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
30歳代	4( 1.1%)	4( 1.1%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
40歳代	8( 2.1%)	7( 2.0%)	0( -)	0( -)	1( 9.1%)	0( -)	0( -)	0( -)
50歳代	19( 5.0%)	19( 5.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
60歳代	35( 9.2%)	32( 9.1%)	0( -)	0( -)	1( 9.1%)	0( -)	0( -)	2( 14.3%)
70歳代	91( 24.0%)	82( 23.2%)	0( -)	0( -)	3( 27.3%)	1( 100.0%)	0( -)	5( 35.7%)
80歳代	129( 34.0%)	120( 34.0%)	0( -)	0( -)	3( 27.3%)	0( -)	0( -)	6( 42.9%)
90歳以上	71( 18.7%)	68( 19.3%)	0( -)	0( -)	3( 27.3%)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	379	353	0	0	11	1	0	14

## 5. 耐性菌新規感染症患者の検体\*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	185( 48.8%)	172( 48.7%)	0( -)	0( -)	11( 100.0%)	1( 100.0%)	0( -)	1( 7.1%)
尿検体	32( 8.4%)	30( 8.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 14.3%)
便検体	14( 3.7%)	14( 4.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
血液検体	54( 14.2%)	52( 14.7%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 14.3%)
髄液検体	1( 0.3%)	1( 0.3%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	93( 24.5%)	84( 23.8%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	9( 64.3%)
合計	379	353	0	0	11	1	0	14

\*検体区分については巻末の資料 1 を参照

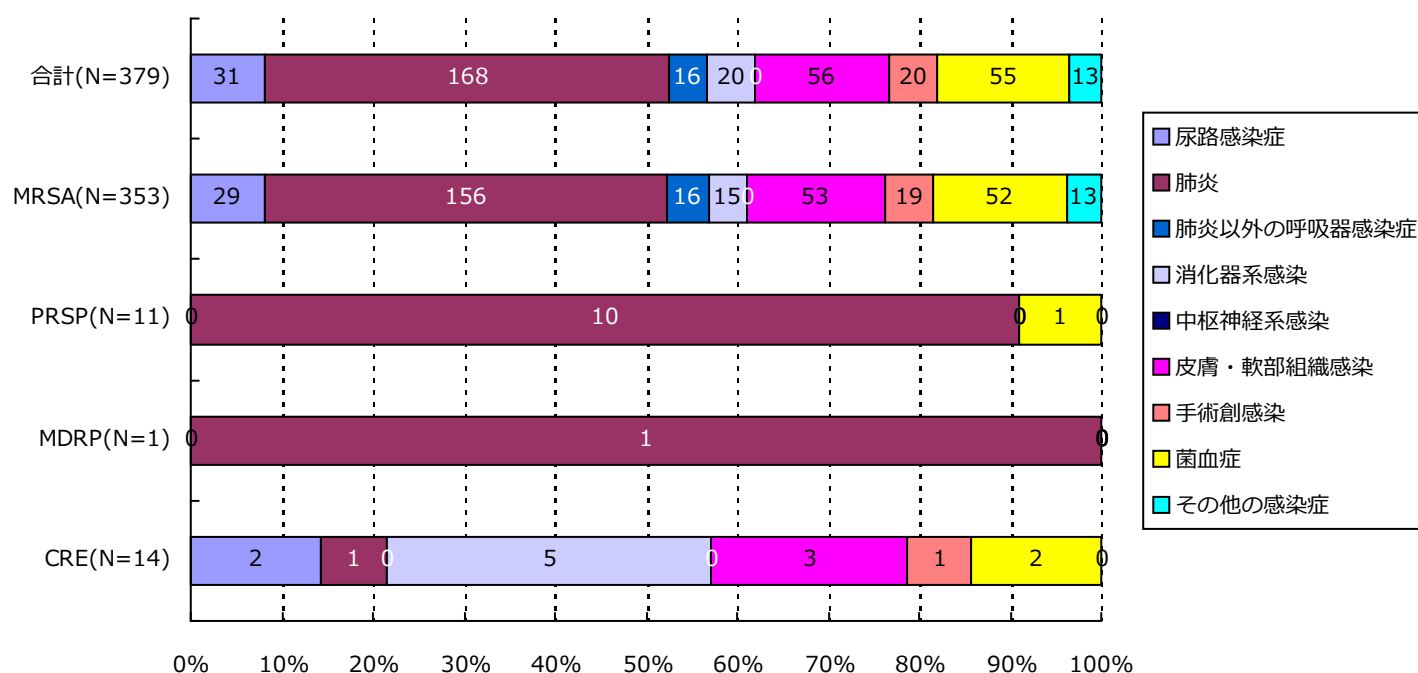
(長野県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



## 6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	31( 8.2%)	29( 8.2%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	2( 14.3%)
肺炎	168( 44.3%)	156( 44.2%)	0( -)	0( -)	10( 90.9%)	1( 100.0%)	0( -)	1( 7.1%)
肺炎以外	16( 4.2%)	16( 4.5%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
消化器系	20( 5.3%)	15( 4.2%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	5( 35.7%)
中枢神経系	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
皮膚・軟部	56( 14.8%)	53( 15.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	3( 21.4%)
手術創	20( 5.3%)	19( 5.4%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	1( 7.1%)
菌血症	55( 14.5%)	52( 14.7%)	0( -)	0( -)	1( 9.1%)	0( -)	0( -)	2( 14.3%)
その他	13( 3.4%)	13( 3.7%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
合計	379	353	0	0	11	1	0	14

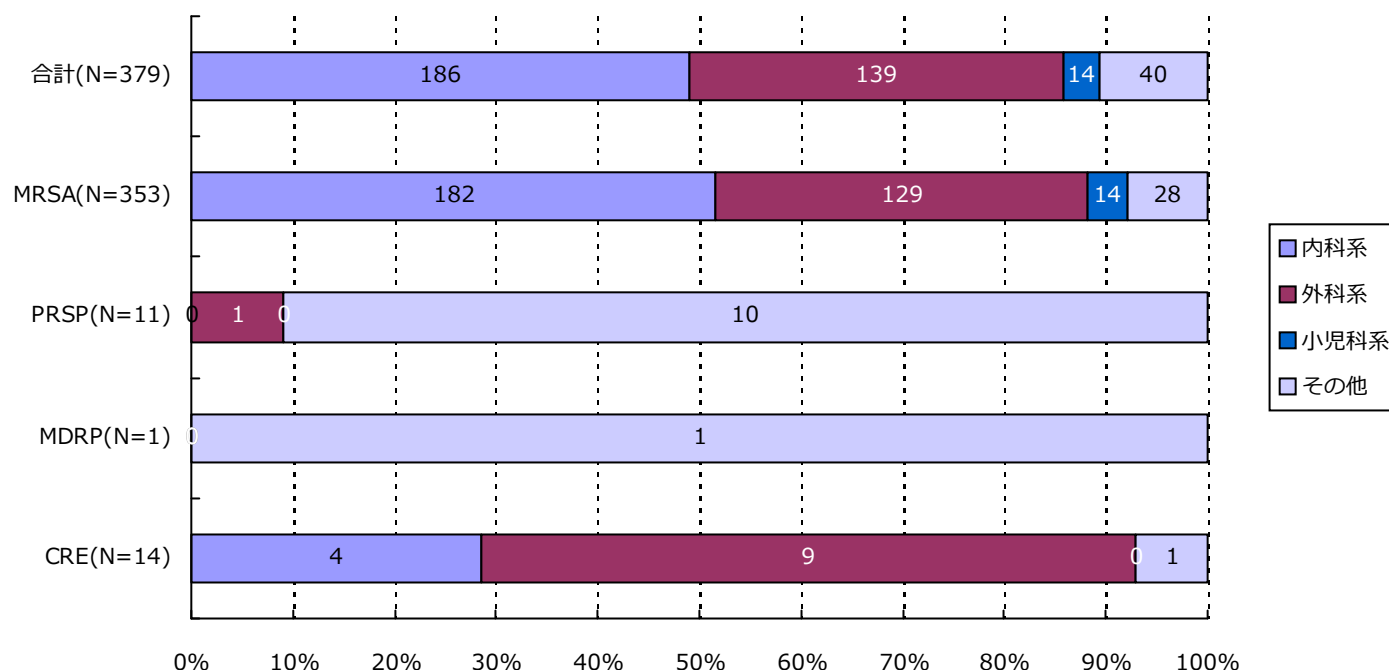
(長野県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



## 7. 耐性菌新規感染症患者の診療科\*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	186( 49.1%)	182( 51.6%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	4( 28.6%)
外科系	139( 36.7%)	129( 36.5%)	0( -)	0( -)	1( 9.1%)	0( -)	0( -)	9( 64.3%)
小児科系	14( 3.7%)	14( 4.0%)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)	0( -)
その他	40( 10.6%)	28( 7.9%)	0( -)	0( -)	10( 90.9%)	1( 100.0%)	0( -)	1( 7.1%)
合計	379	353	0	0	11	1	0	14

\*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科	外科系	外科
	循環器内科		消化器外科
	神経内科		肛門科
	呼吸器内科		肝胆脾外科
	消化器内科		心臓血管外科
	胃腸科		内分泌外科
	内分泌・代謝内科		呼吸器外科
	腎臓内科		小児外科
	糖尿病内科		小児循環器外科
	アレルギー・膠原病内科		小児消化器外科
	膠原病内科		産婦人科
	アレルギー内科		産科
	リウマチ内科		婦人科
	血液内科		整形外科
	感染症内科		美容外科
	その他		老人内科
心療内科		耳鼻咽喉科	
性病科		気管食道科	
神経科		泌尿器科	
精神科		皮膚・泌尿器科	
放射線科		皮膚科	
総合診療部		脳神経外科	
救急部		形成外科	
救急・集中治療部		歯科口腔外科	
集中治療部(ICU)		歯科	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)		小児歯科	
内視鏡科		矯正歯科	
透析科		口腔外科	
理学療法・リハビリテーション科		手術部	
理学療法科		移植・人工臓器科	
		リハビリテーション科	小児科系
	麻酔科	新生児科	
	その他	新生児集中治療部(NICU)	
		周産期センター	

# 資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	MPIPC $\leq$ 10mm または CFX $\leq$ 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml +	VCM $\leq$ 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG $\geq$ 0.125 $\mu$ g/ml +	MPIPC $\leq$ 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 $\leq$ 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml + AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/ml + NFLX $\geq$ 16 $\mu$ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX $\geq$ 8 $\mu$ g/ml CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	IPM・MEPM $\leq$ 13mm + AMK $\leq$ 14mm NFLX・OFLX $\leq$ 12mm LVFX $\leq$ 13mm、LFLX $\leq$ 18mm CPFX $\leq$ 15mm、GFLX $\leq$ 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM $\geq$ 16 $\mu$ g/ml AMK $\geq$ 32 $\mu$ g/ml + LVFX・GFLX $\geq$ 8 $\mu$ g/ml CPFX $\geq$ 4 $\mu$ g/ml	IPM・MEPM $\leq$ 13mm AMK $\leq$ 14mm LVFX $\leq$ 13mm、GFLX $\leq$ 14mm CPFX $\leq$ 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM $\geq$ 2 $\mu$ g/ml + IPM $\geq$ 2 $\mu$ g/ml + かつ CMZ $\geq$ 64 $\mu$ g/ml	MEPM $\leq$ 22mm IPM $\leq$ 22mm、かつ CMZ $\leq$ 12mm

\* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生動向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用